

# 人類み～んな 「十界論」



みなもと太郎

DB COMI CS  
25

## 目次

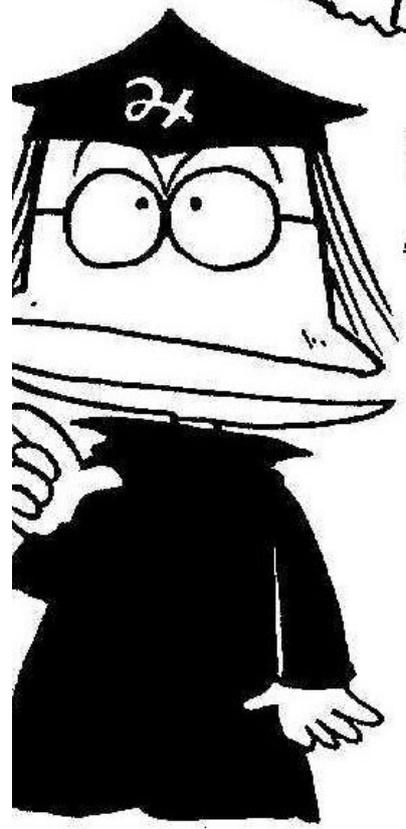
|                      |     |
|----------------------|-----|
| 第一章■仏法ってなに？          | 4   |
| 第二章■幸福の追求            | 21  |
| 第三章■生命の十界論           | 36  |
| 第四章■十界論(1)〈六道の生命〉    | 53  |
| 第五章■十界論(2)〈二乗の生命〉    | 68  |
| 第六章■十界論(3)〈二乗をこえて〉   | 83  |
| 第七章■十界論(4)〈菩薩の生命その①〉 | 98  |
| 第八章■十界論(5)〈菩薩の生命その②〉 | 112 |
| 第九章■十界論(6)〈仏界の生命〉    | 128 |
| 附 章■健康と仏法            | 173 |

やあ

会友に  
なつてから  
毎日  
がんばつて  
るらしいね

豊<sup>ゆたか</sup>くんが  
仏教の基本を  
教えてくれた  
からね

では この二人が  
出会つた時の  
お話から  
はじめましょう



第一章

# 仏法ってなに？

どーも！

私が  
はじめましての  
心財しんざい豊ゆたかです！！

なんか  
元気が  
いいア

お金でも  
ひろったか  
ガールフレンドが  
出来たの？

蔵の財くら、  
身の財みより  
心の財こころ

生きがいある  
信仰を  
つかんだのだ!!

シン  
コー？

ああ  
みんなで  
前へ向かって  
進むコト

それは  
出発  
進行ツ

草木も  
ねむる  
うしみつ  
時……

それは  
深更

なかよく  
なるのが  
親交

栄養のある  
つけモノでも  
食べてる  
のか？

それは  
お新香  
じゃっ



世の中に  
目をつぶる  
現実逃避



霊柩車  
れいきゆうしや

葬式

墓参り

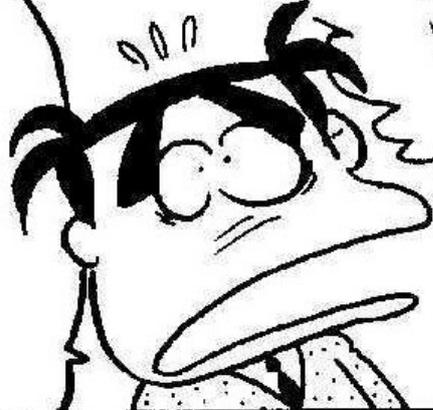


そもそも  
生命力が  
なくなっ  
ちやつたのが  
「仏さま」  
なのだっ

元気と  
正反対じゃ  
ないかつ

ははは  
ははは  
ほろ...

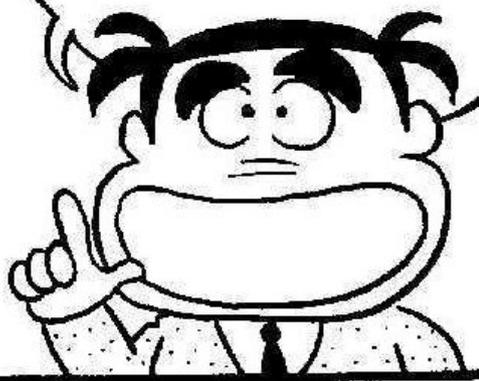
君の  
いわんとする所は  
わかつた...



なんまいだ

仏の教えは  
八万法蔵と  
いうくらい  
たくさん  
あります

コラ  
聞いてん  
のか



その仏典の  
どこを  
探しても  
死者を仏  
なんて  
説いてないんだ  
よね...

え？





だとすると

ぼくらがイメーヂしているあれはなーに？

仏教ではないということになるね

仏教のふりしてるけど...

なんだかわからん変な教えです



それからほかにもいろいろあるでしょ

宗教法人は日本だけで十八万二千以上あるといわれてますよ

キリスト教  
イスラム教  
神道



じゃあホントは仏教は何を説いてるの

八万法蔵をくわしく教えてくれない？

カンタンにいわないでほしいなッ



でもどれもこれも似たよーなコト説いてんでしょ？

とんでもなくはつぷん歩いて十分ころんで十五分



げげー そんなにつ

そう！「二八二」なるほどあるとおぼえましょうね

他の一切の  
宗教と  
仏教の  
違いは  
まず

「因果」を  
説きあかした  
ことです  
!!

# 因果

いん  
が

あーっ  
この言葉  
しってる

やっぱり  
暗いッ

親の  
因果が  
報子に  
い

とか

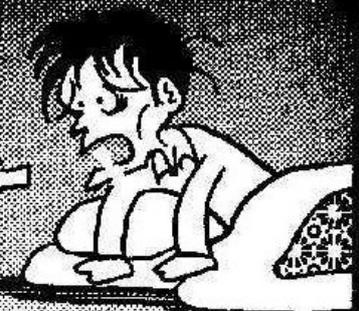
何の  
因果で  
こんな  
めに

だの

ロクな  
イメージで  
ないね

それも  
ちがうん  
だよね……

ふん



この言葉は  
現在やたらと  
使われている  
よね

仏教以外の  
トコロで

たとえば  
医学者が

この病気の  
原因は  
何なのか

因果関係を  
調べて  
みましたら

やはり  
ウイルスが原因で  
起こるとい  
う検査の結果が……



因果って「原因と結果」という意味？

そう暗いとか  
明るいの  
問題じゃ  
ないでしょ

科学  
です

農業の  
品種改良  
などで

どうすれば  
もつとよい  
品種が  
つくれるのか

因果関係を  
もつと  
追究  
しましょう！

事故や  
公害でも  
ひんぱんに

謎の  
事故

# 因果関係

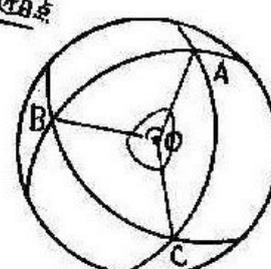
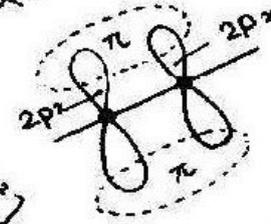
という事が  
新聞に  
出てくるね

そして  
物理学  
天文学は

宇宙の  
因果関係を  
研究し

宇宙の起源から  
しくみまでを  
解きあかそうと  
努力している！！

$$\int \tan \theta d\theta = -\log |\cos \theta|$$



$$e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$$

ひえっ



しんらばんしょう  
森羅万象

すべての働き  
ありとあらゆる  
ものに  
きびしい因果の  
法則がある!!

人類がそのことに  
気付いたとき  
迷信の時代は  
終わりを告げ  
科学の大発展が  
はじまったの  
です!!



西洋科学が

「因果」を

根底に置いたのは

十九世紀に

入ってから

二百年

そこそこ  
です

え…  
え…  
え?

すすす  
すすす  
すると

…!!  
!!

仏法は

三千年前

すでに

宇宙と生命の

いつさいが

因果の法則に

貫かれている

ことを

説ききつっている!!

ええええっ

ぶぶ  
仏法って  
科学なのー？

ちよつと  
ちがいます

科学が  
仏法に  
追いついて  
いないのです  
!!

創価学会  
第二代会長  
戸田城聖先生は



科学が進めば  
進むほど  
仏法の正しさが  
証明されて  
いくだろう

という  
意味のことを  
のべられて  
います  
☆

ひええ〜

科学にくらべて  
仏法は  
どのへんが  
優れているのー？

私たちの  
一番  
大切な  
もの

「生命」を  
完ぺきに  
説きあかしている  
点です!!

科学は  
何らかの形で  
目に見える  
ものを  
研究します

しかし  
私たちが  
感じている  
「自分」という  
生命の  
不思議

また  
個人差とか  
宿命的な  
問題には  
手も足も  
出ないのです

たしかに  
そうです

喜びや悲しみは  
どこから来るのか？

人生の悩み・苦しみに  
どう立ち向かって  
いくのか？

幸  
不幸

これらは  
生命の尊厳を  
説きあかした  
仏法でしか  
解決することは  
できません！！

何のため  
生まれ  
また  
のか？

え  
解決……  
できるの？

宇宙に広がる  
外の世界と  
同じように――

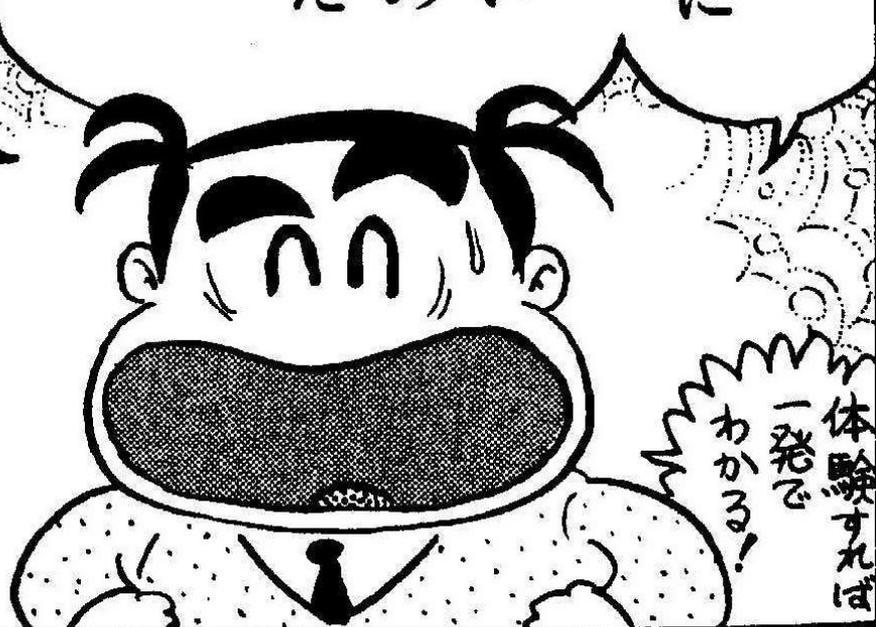
私たちの  
生命の内部にも  
因果の  
法則があります



最初に  
のべたように

迷信ではない  
正しい因果の  
法則を説いた  
教えに  
のっとって  
いけば

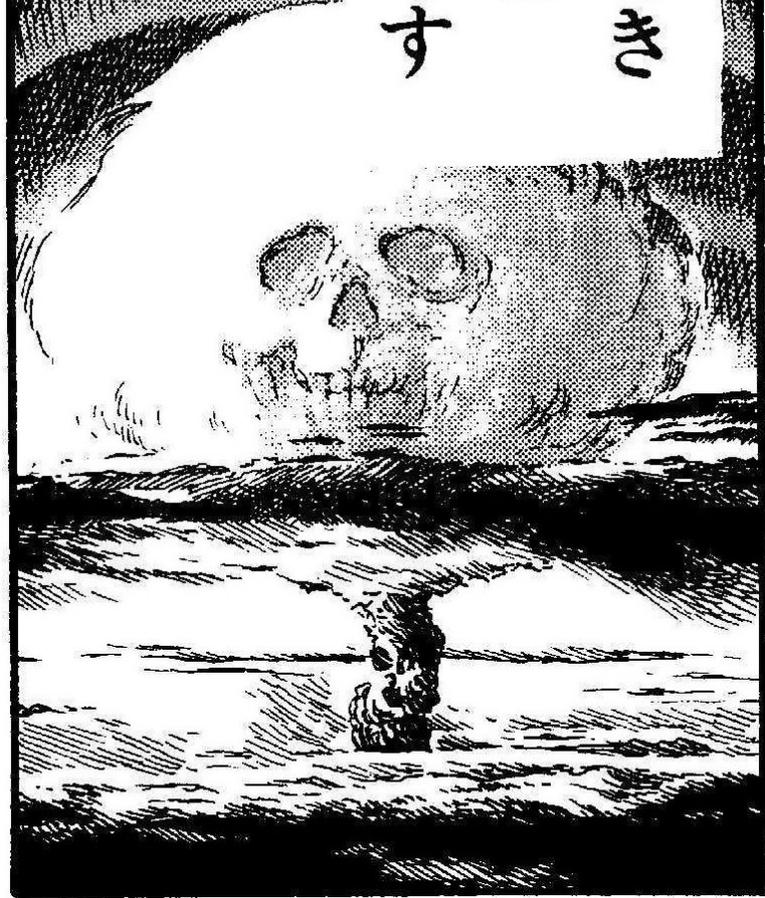
いのち  
生命の奥から  
自分が本来  
持っている  
偉大な生命力が  
わきあがって  
くるのです!!



体験すれば  
一発で  
わかる!

うあ~~~~  
それで  
元気  
だったのか~~~~

宗教なき  
科学は  
盲目です



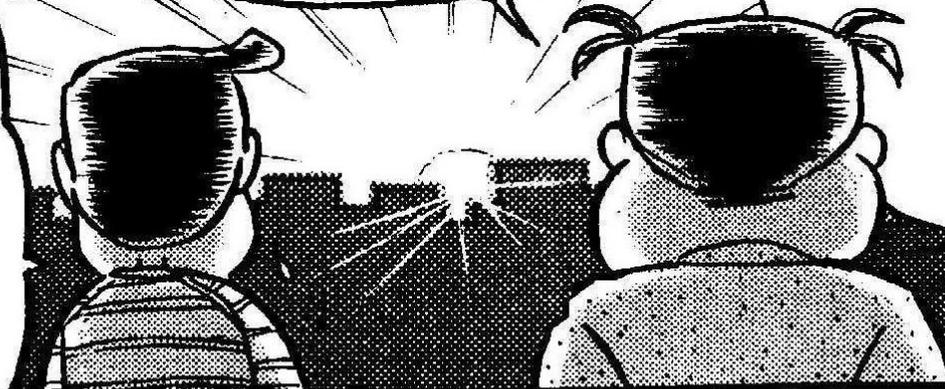
科学なき  
宗教は  
お化けです



どちらも  
真実の  
生命の尊厳が  
あかさされて  
いない……

来るべき  
21世紀の  
人類的課題は  
これを  
つかめるか  
どうかにか  
あるでしょう  
……

たしかにそれが  
今の社会に  
一番欠けている  
ところだよね……





# 人間主義

ひと言で  
いえば

じゃ  
行き詰まって  
しまう  
科学や  
宗教には  
何が欠けて  
いたのだ  
ろう？

といえるんじや  
ないかな



人間が  
科学の  
奴隷に  
されていく



人間を  
幸福に  
するための  
科学だっ  
たはず  
なのに



人間を  
無力な  
神の奴隷  
にしていく...



人間を  
幸福に  
導くはず  
の宗教が

考えて  
みれば  
おそろしい  
ね〜っ

生命の尊厳を  
説いた  
仏法は

必然的に  
人間の尊さを  
説きあかして  
います

神や仏の  
奴隷では  
ない!

あらゆる  
不幸や悩みを  
解決し  
のりこえていく  
力を  
ひきだすこと

すべての人が  
根底に持っている  
無限の  
可能性:

新しい時代の  
「人間復興」です

人間の  
ルネサンス  
!!

生命の  
ルネサンスを  
現実の社会に  
ひらいていくのが  
私たち  
創価学会  
なのです!!

うおお  
すごい  
〜っ

生命の尊厳  
生命の尊厳と  
口で言っても  
解決しません

現実の  
生活に  
あらわして  
いかなば

個人も  
世の中も  
よくなつては  
いかなば  
のです

現実逃避と  
まったく  
逆なんだね

はい！  
君の言う  
通り

悩みから  
目をそらさず  
真正面から  
立ち向かつて  
いけるのです

生きがい  
ある  
人生

不幸や悩みを  
乗り越える  
生命の力を  
強めていくこと  
によって

幸福という結果が  
得られるのです！！

宿命は  
こうして  
変え  
られる  
！！

わあ  
因果の  
法則だ  
ツ

宇宙と生命は  
一体です

自分の幸福  
だけでなく  
全人類を幸福へと  
導いていく

それを  
「仏」と  
いうのです  
!!

わあ~~~~  
死んだ人じゃ  
ないんだ~~~~

生きて  
いる  
宗教  
!

そんな風な  
人間なら  
ほくだって  
なりたいたんだ  
けどな~~~~

なれる  
方法を  
教えているから  
「仏教」と  
いうんだよっ

第二章

# 幸福の追求

仏法って  
幸福を  
追求していく法を  
明かしたもののなの  
ー？

自分自身と  
全人類  
のね

なんか  
ちがうような  
気がするな

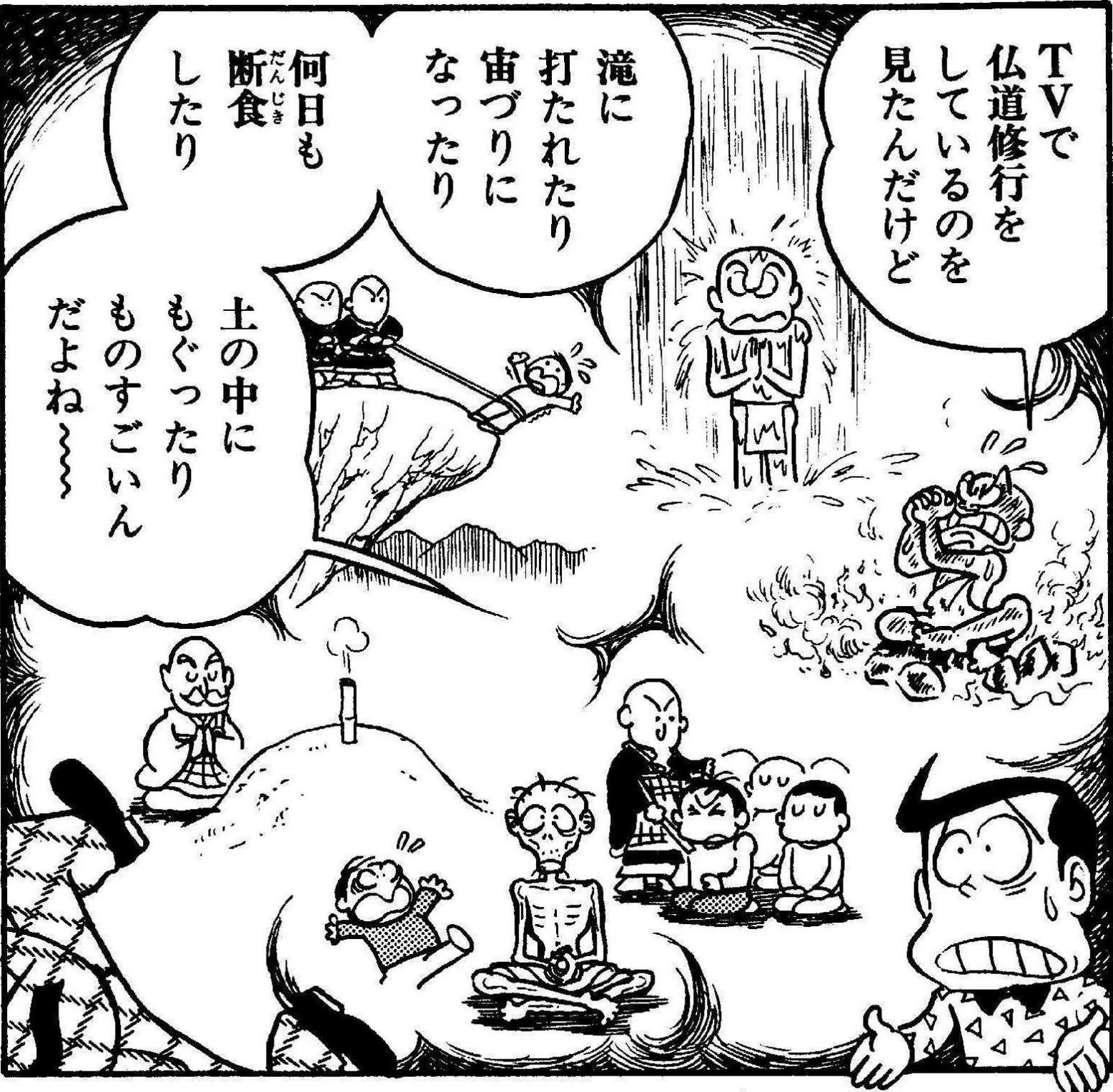
アハハハ？

TVで  
仏道修行を  
しているのを  
見たんだけど

滝に  
打たれたり  
宙づりに  
なったり

何日も  
断食<sup>だんじき</sup>  
したり

土の中に  
もぐったり  
ものすごいん  
だよね〜



ああいうのを  
するのは  
ボク  
いやだな〜

あれも  
死んだ人を  
仏というのと  
おんなじで

仏の教えと  
全然カンケー  
ないんだ  
よね



三千年前

釈尊は王子として

何不自由のない

身だった

生命あるものは  
生死の苦しみから  
のがれることは  
出来ないのか

それらを  
乗り越える  
正しい法は  
ないものか  
.....

真実の法を  
求めて  
出家の道を  
選んだとき



さまざまなる宗派の  
外道たちが  
「苦行」によって  
悟りを得ようと  
していたのです



釈尊も  
彼らと共に  
だれよりも  
徹底して苦行を  
実践しました

この像は  
ガンダーラから  
出土した  
若き日の  
釈尊の姿です

わろっ  
ミイラ  
寸前  
!!

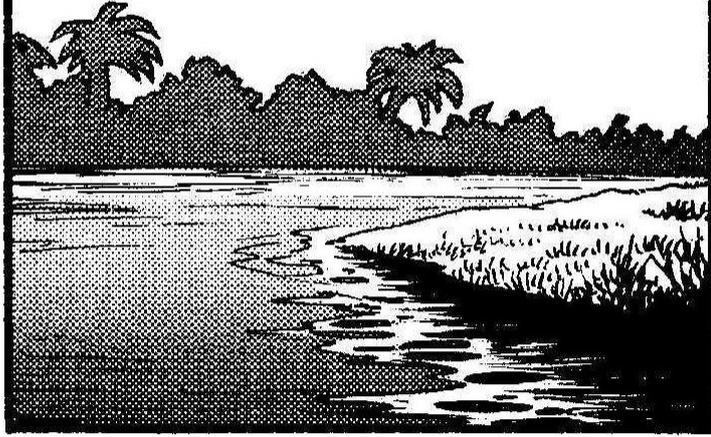
この修行を  
やりぬいた  
釈尊が悟った  
ことは!

え、  
悟った  
の!?

「こんな苦行を  
いくら続けても  
真実の悟りは  
得られない」と  
いうこと  
だったのです

ど  
ど

釈尊は  
近くの河で  
身を洗い  
きよめ



スジャータという  
娘の供養した  
乳粥ちちがゆで  
体力を  
回復します



その娘の  
名前をとった  
コーヒーにいれる  
ミルクが  
あるね

そうね  
余談よだんに  
なるけど

余談  
ついでに  
江戸時代に



長崎の  
オランダ人が  
ミルクを  
飲むのを  
見て

えーっ  
牛の  
乳!!

おえーっ

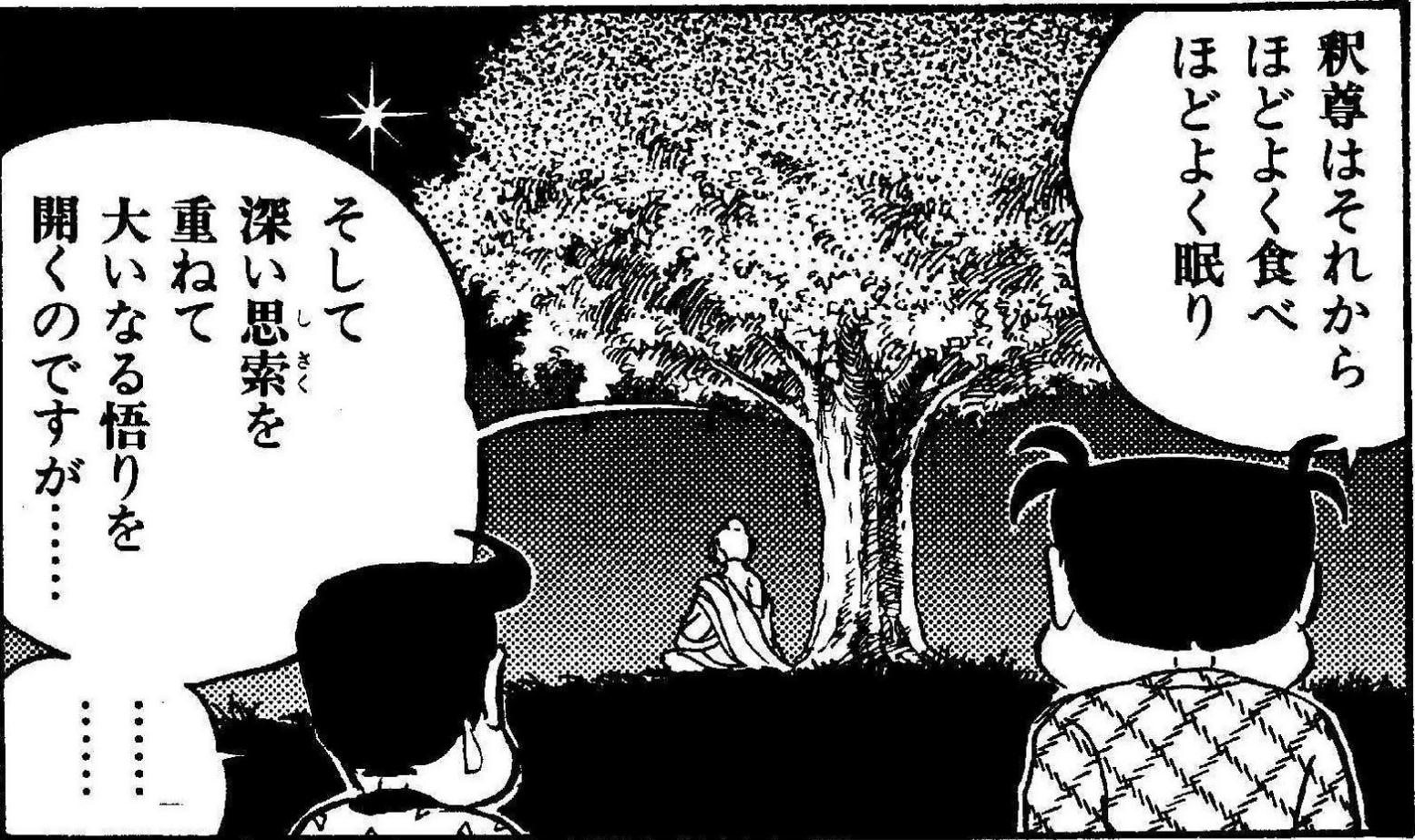
われら  
日本人は  
仏教徒  
だから  
そんな  
汚らわしい  
ものは  
口にしないっ



こんなふう  
に  
仏教を  
まちがえてるん  
だよ...

釈尊はそれから  
ほどよく食べ  
ほどよく眠り

そして  
深い思索しぎくを  
重ねて  
大いなる悟りを  
開くのですが……



君がTVなどで見た  
仏教徒とやらの  
「苦行」は

釈尊自身が  
三千年前に

「無意味である」と  
否定ひていしているのです!!

ひえ

それを  
いまごろ  
立派そうに  
やっているのは……

仏そひに背く  
行おこないであり

幸福に  
つながらない  
外道げどうの法と  
いわねばなりません……



ただし  
一つだけ  
つけ加えて  
おくなら

自己否定と  
いう考えは  
たしかに  
純粋な  
ものでしょう

道を志す<sup>ニミギ</sup>  
人は必ず  
なんらかの  
形で

自己の  
欲望をおさえ  
修行を  
つむ  
必要が  
あります

ただしそれは  
未来にあるべき  
自己の姿を  
見つめての  
現在の自己の  
否定です

決して  
このことを  
忘れては  
なりません!!

自己否定を  
目的にした  
苦行には  
何の建設も  
ありません

# なんのため

なる  
ほど……

これを忘れた  
単なる  
自己満足の  
観念的な  
思索や苦行を  
釈尊は厳しく  
いましめています

どんな問答にも  
スラスラ答える  
ある宗派の  
大僧正が

仏法は  
かくかく  
しかじか……

では  
何のために  
仏はこの世に  
出現したの  
ですか？

と聞かれて

ううう  
それは  
わから  
ないな

といた  
といた  
話があり  
ます☆

これまで  
ずいっと  
言っている  
ように

仏法は  
全世界の  
人々を  
幸福に  
するために  
あるの  
ですっ

どうも  
そうらしい  
ですねっ

その一点を  
忘れて  
理論や観念を  
もてあそんだり

まして  
現実社会を  
離れて  
ひっそりと

自分だけの  
悟りや幸福を  
求めて  
修行するのは



何の  
解決にも  
ならない  
でしょう

現実を離れた  
幸福など  
ありません

前章にも  
言ったように  
悩みから  
目をそらさず  
真っ正面から  
立ち向かって  
いけるのです!!

仏法は  
そんな  
力のない  
ものでは  
ありません

うーん  
そう  
カンタンに  
言うけど  
さア



人生って  
ホントに  
きびしい  
もんだよ

人の

一生は、

重き荷を

負うて

遠き道を

ゆくがごとし

徳川家康も

こういつてる

でしょ！

たしかに

豊くんの言う  
正しい仏法を  
実践すれば

そういう  
苦しみが  
なくなるん  
ですか？

信心

したからと

いつて

手品

みたい

に  
悩みが

消えたりは

しません

きんぱり

それじゃ  
いったい  
何の  
ために

まあ  
まあ

それじゃ

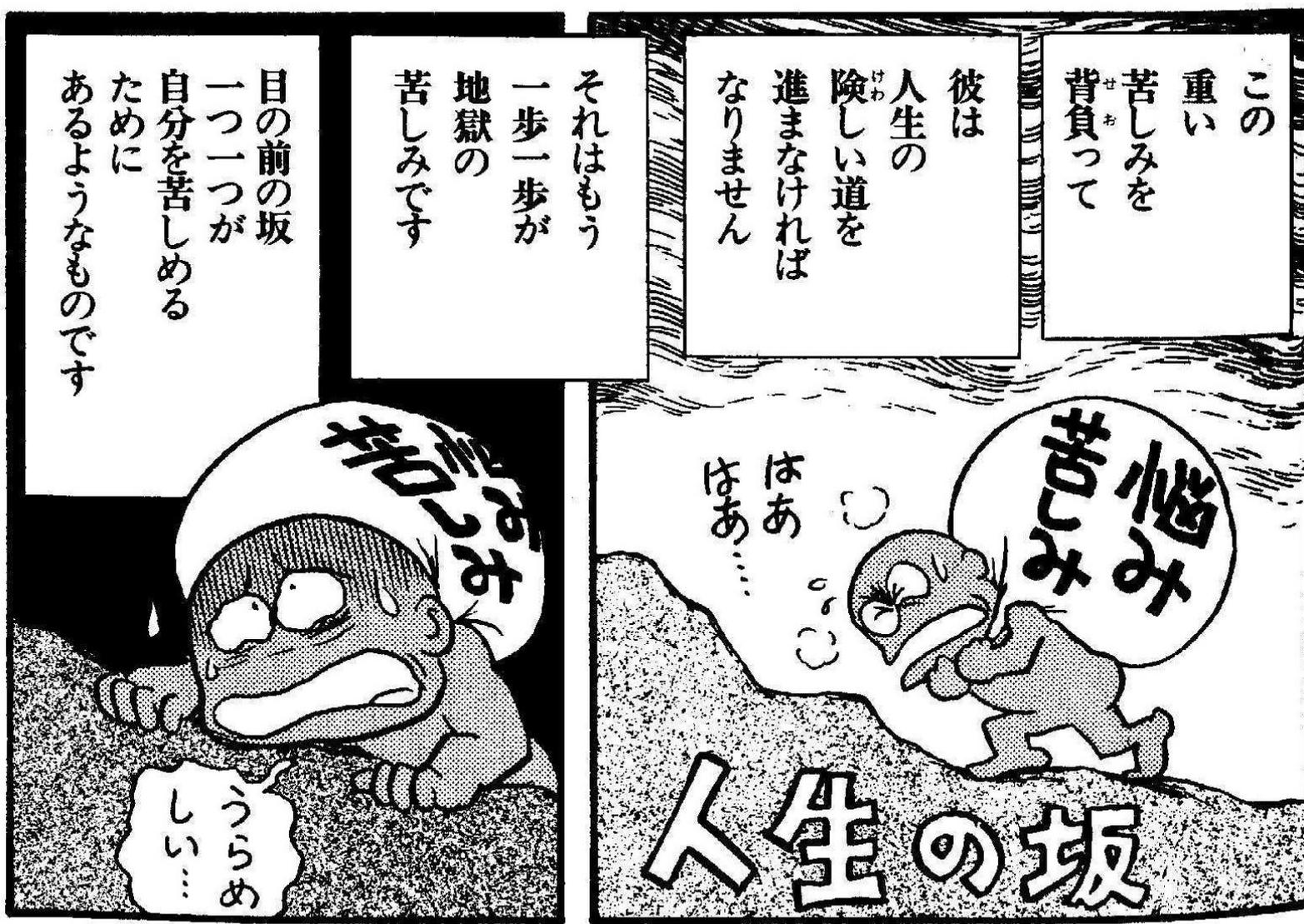
人生を

徳川家康の

言ってるように

たとえて

みようか



この重い苦しみを背負って

彼は人生の険しい道を進まなければなりません

それはもう一歩一歩が地獄の苦しみです

目の前の坂一つ一つが自分を苦しめるためにあるようなものです

はあ... はあ... はあ...

悩み 苦しむ

人生の坂

うらめしい...

悩み 苦しむ

こういう人は  
人生を  
どう考える  
でしょう

いいこと  
なんか  
ひとつも  
ないっ

もう  
死んだ方が  
ましだ

人生なんて  
苦しみの  
連続だ

そりゃ  
そうだよ  
ね……



では  
まったく  
同じ  
コースを

おすもうさん  
みたいに  
力のある  
人が歩けば  
どうなる  
でしょう？

どす  
どす



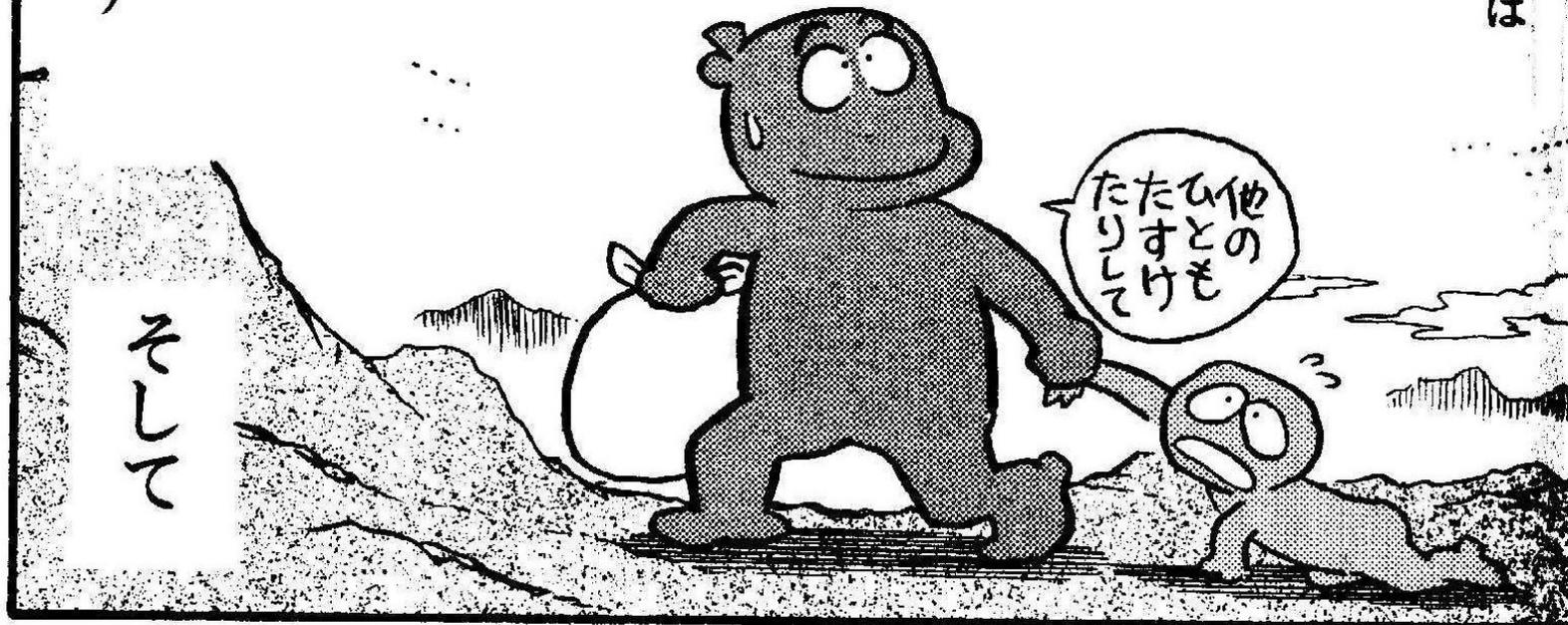
こんな悩みの  
一つや二つ  
どうってこと  
ないでござんす



彼にとつては  
起伏ある  
険しい坂も  
人生の  
楽しみに  
すぎません

ときには  
周りの  
景色などを  
ながめつつ

ゆうゆうと  
人生山脈を  
乗り越えて  
いくでしょう



やあ〜  
人生は  
楽しいことが  
いっぱい!

生きてて  
ホントに  
よかった!!



どちらも  
悩み苦しみを  
もち

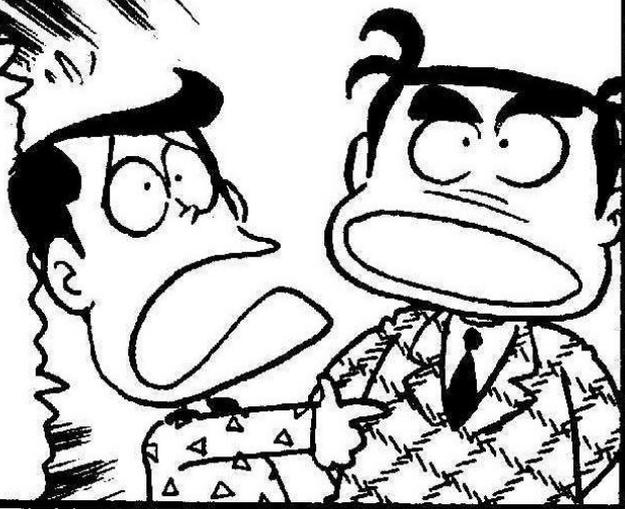
同じ人生を  
歩んで  
いるのに

一方は  
苦しみになり  
もう一方は  
楽しみを感じています

体力の違いで

正反対の

結果が出るんだ〜



でも 正しい人生を

歩む力ギは  
体力では  
ありません

あら

私たちの  
生命の  
奥底には

実は  
いかなる困難も  
切り拓いて  
いくことの  
できる

無限大の

生命力が  
具わって

いるのです

えっ

その偉大な  
生命力を  
ぞんぶんに  
引き出して  
いけるのが

この  
正しい  
因果の法に  
のつとつた  
信心  
なのです

わあ  
体力じゃ  
なくて  
生命力なんだ

宇宙と  
私たちの生命に  
厳然と具わっている  
清浄な生命力——

生死をも  
超えて  
存在する  
もの

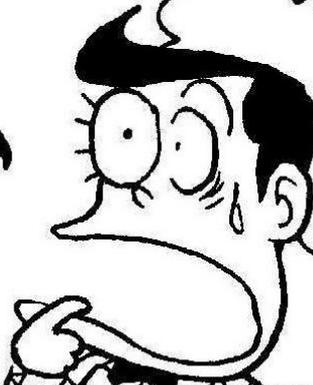
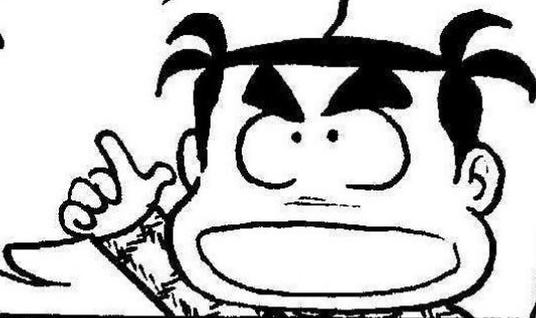
それを  
ぶっかい  
仏界といい  
南無妙法蓮華経と  
いうのです!!

ひえ〜



そんな  
ものスゴイ  
生命が  
ホントに  
ボクの中にも  
あるの  
〜?

それを  
引き出す  
のは  
この正しい  
信仰による以外  
ないのだよ



第三章

# 生命の十界論

超能力か  
何かを持った  
特別の人間だけ  
じゃないの？

誰にでも  
ちやんと  
あるんだよ

仏界という  
偉大な生命が  
ぼくの中にも  
あるんだって  
？

特別な人間なんて  
仏法は  
認めません

特別な  
神!とか

特別な  
仏!とか

人間には  
手の届かない  
別のもの  
!!



こういった思想が  
人間の尊厳を否定し  
職業や人種による  
差別を  
生みつけて  
きたことは  
歴史が証明  
しています



あらゆる  
すべてのの  
人々を

私と  
何ら違いのない  
等しく尊い  
境涯へ  
高めていくことが  
私の願いである!!

地球さいしよの  
仏といわれる  
釈尊の言葉です



えっ

全世界  
すべての人が

人種や  
能力や  
性別に  
関係なく

一切の差別なく  
「仏性」という  
尊い生命を  
持っています！

あらゆる  
人が  
等しく  
尊い：

そうです  
そのことが  
実感  
できれば

他人は  
他人  
だい

俺は俺だ  
カンケー  
ねえや

自分だけ  
幸せに  
なりや  
いいんだい

こういう  
殺伐とした  
人間では  
なくなる  
でしょ

うーん  
だけど  
だけど  
だけども

自分に  
仏界が  
あるなんて  
ぜんぜん実感  
できない  
よ

いまは  
別の生命が  
表面に  
出ちゃってるからね

理屈は  
さうでも

別の生命？

生命って  
そんな  
いろいろ  
あるの？

ぼくのは  
一つしか  
ないよ

そりや  
いくつも  
あつたら  
困つちやう  
よね

だけど

その一つの

生命が

いろいろ

変化

するでしょ

するかな…

うれしいとか

悲しいとか

さあ

あつ

その二つ

知ってる!!

仏法は

この生命の

働きを

大きく

十種類に

わけて

います

えっ

そんなに

あつたかな

これを  
十界論と  
いいます！

私たちの中に  
この十種類の  
生命状態が  
あるわけです

かい 界  
かい 界

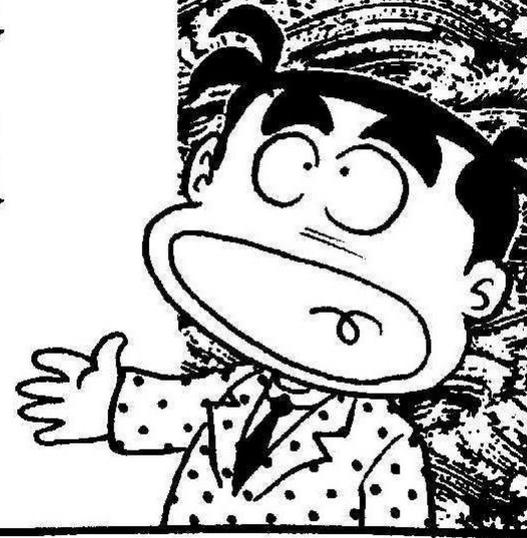
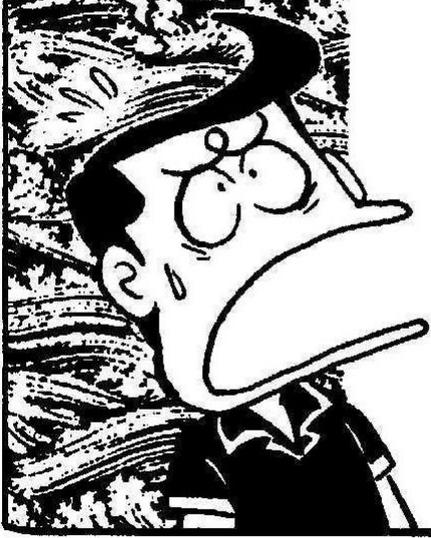
さつ 薩  
がく 覚  
もん 聞  
てん 天  
にん 人  
しゅ 修  
ら 羅  
しょう 生  
き 鬼  
ごく 獄

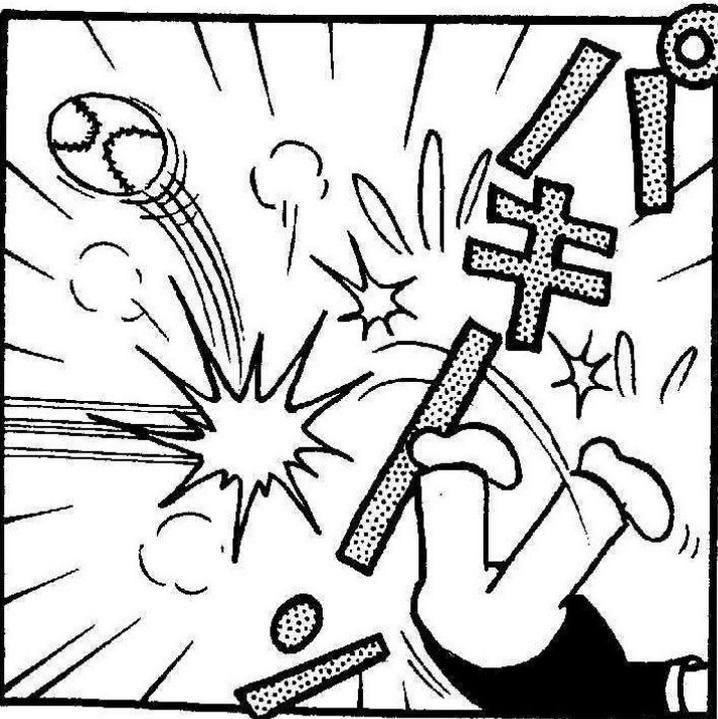
ぶつ 仏  
ぼ 菩  
えん 縁  
しょう 声  
てん 天  
にん 人  
しゅ 修  
ちく 畜  
が 餓  
じ 地

⑩  
⑨  
⑧  
⑦  
⑥  
⑤  
④  
③  
②  
①

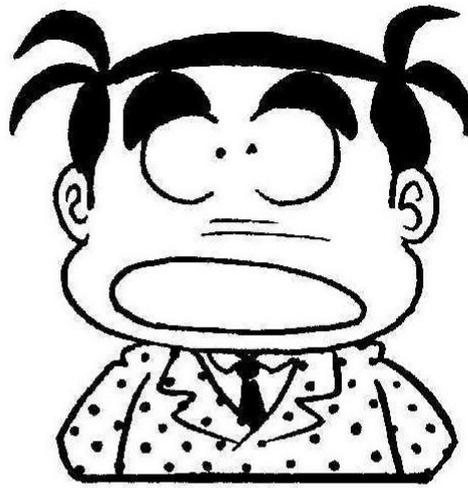
下から順に  
上へ行くほど  
よい生命状態といえます

しらない  
生命ばかり  
だよ~~~~~





それでは  
これから  
彼の生命  
状態が



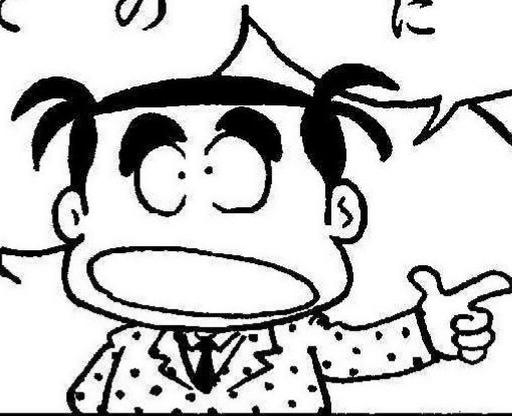
どういう  
ふうに  
変化するか  
みていきたいと  
思います

く……く  
くそーっ



彼はいま  
④の修羅界に  
います

さっきまでの  
人界は  
どこにいつて  
しまったのでしよう

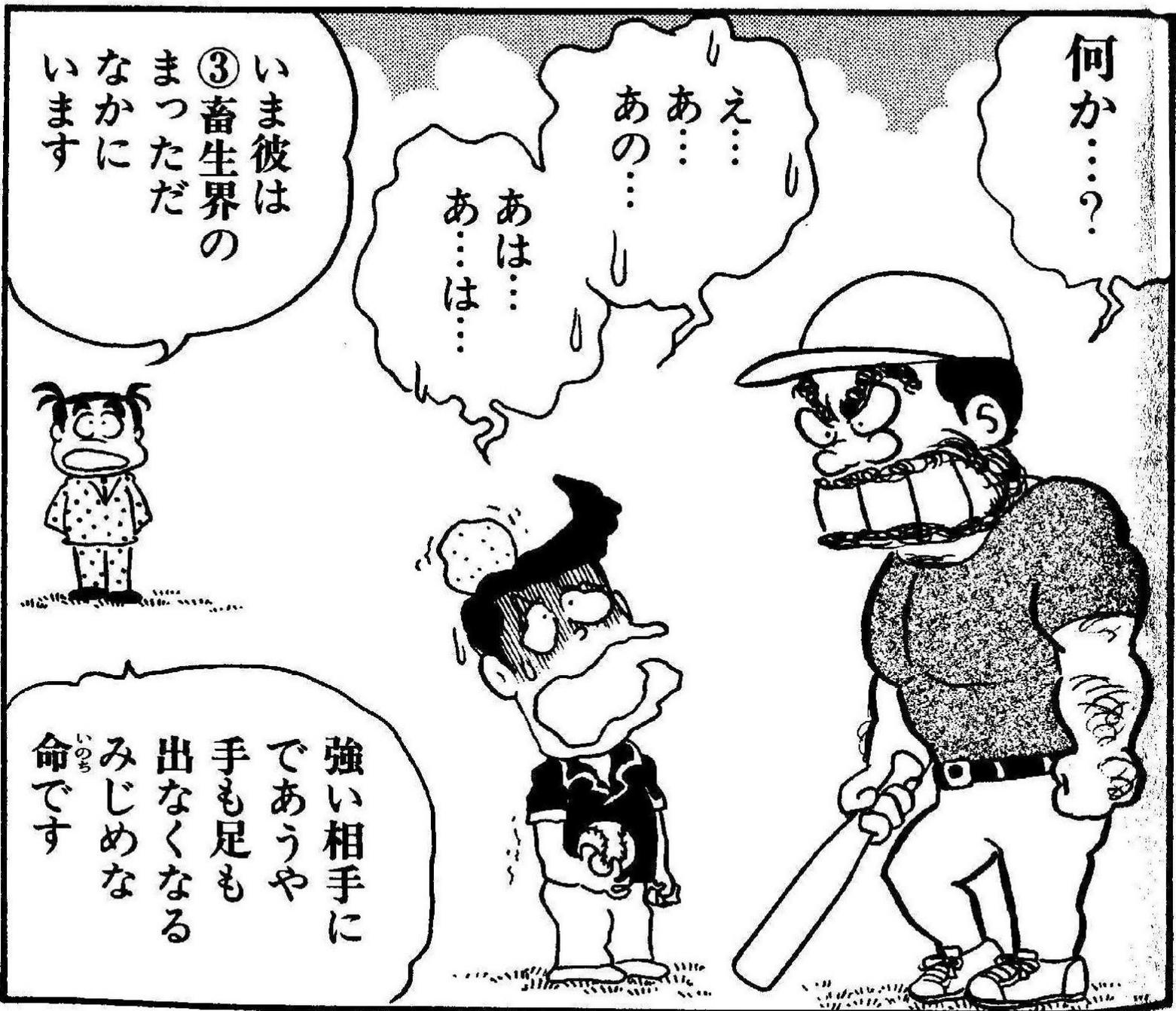


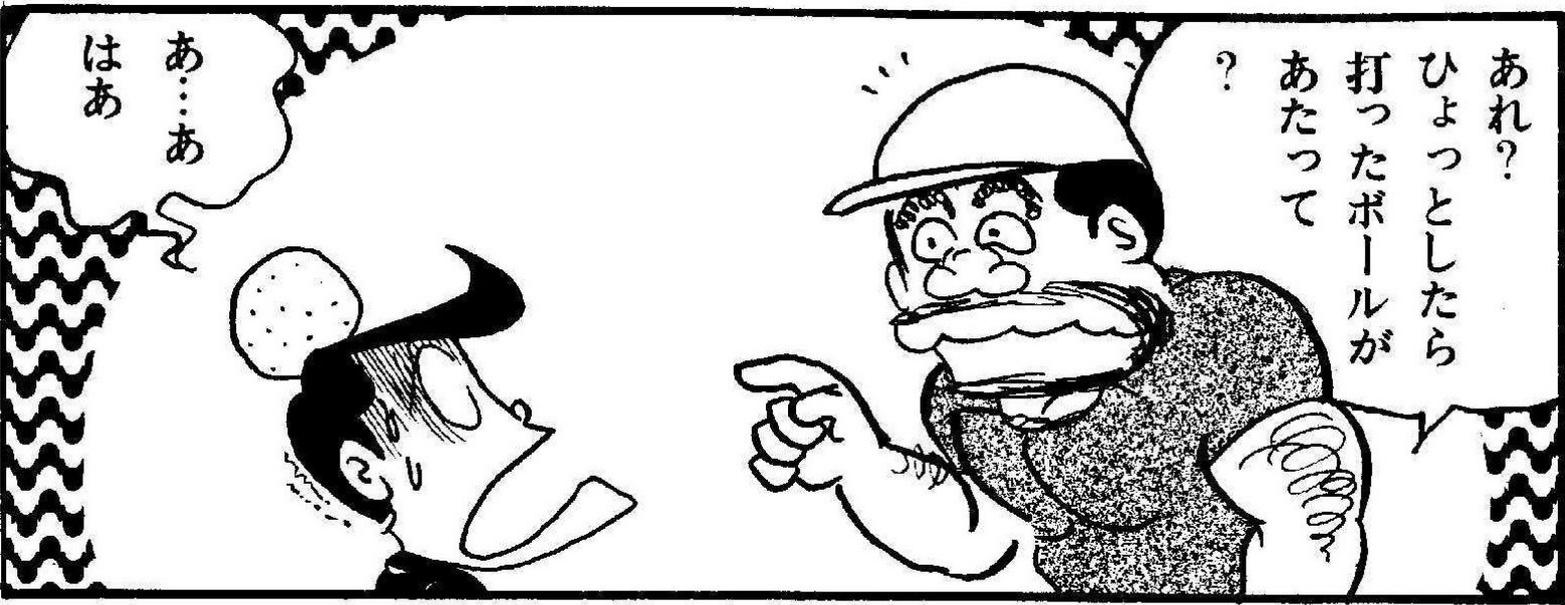
修羅界は  
いままで  
どこに  
あったのでしよう

ともあれ  
いまは  
全生命が  
怒りに支配  
されています

だれだ  
こらーっ  
出てこい  
ーっ







あれ？  
ひよつとしたら  
打ったボールが  
あたって  
？

あ…あ  
はあ



がぼっ

わっつ  
それは  
申しわけ  
ありません

ところが  
相手が  
見かけと  
ちがって  
おりまし  
て……

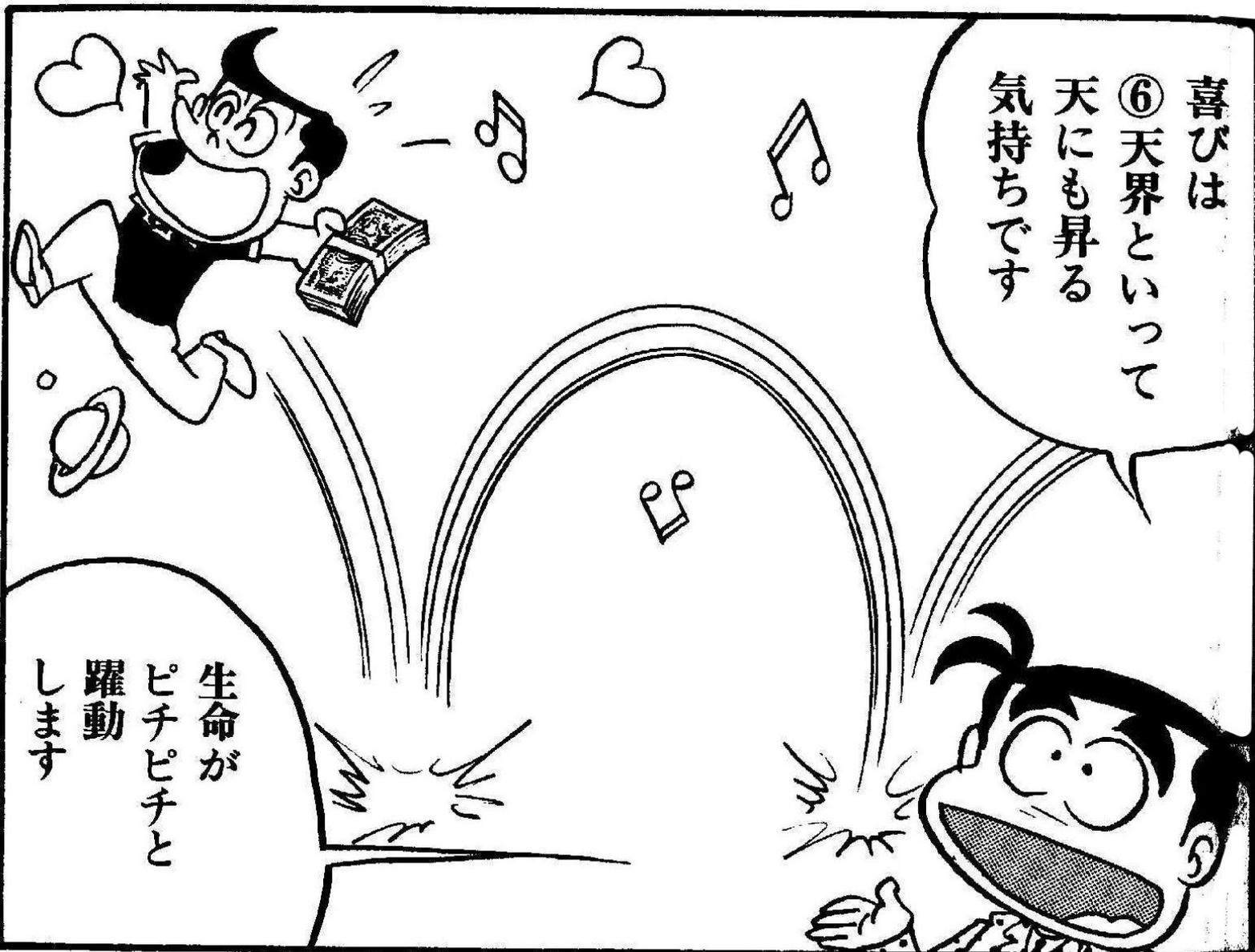


どうぞ  
ちりょうだい  
治療代  
に……

彼の生命は  
ここでまた  
コロリと  
変化します

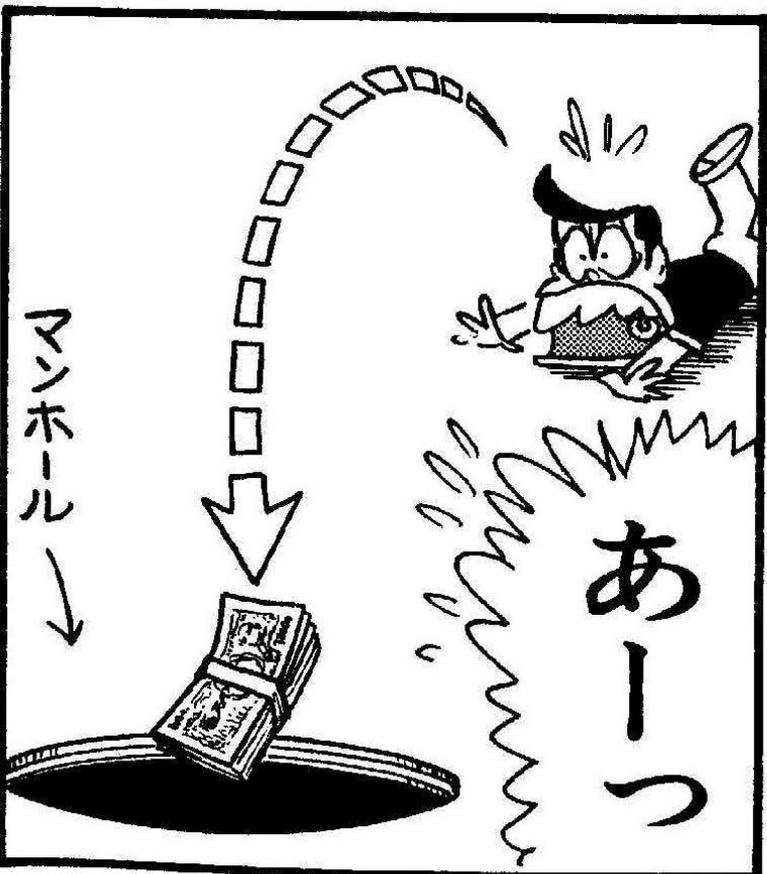
わ

っ



喜びは  
⑥天界とって  
天にも昇る  
気持ちです

生命が  
ピチピチと  
躍動  
します



マンホール

あーっ



いてっ



天界の  
喜びは  
大変もろい  
ものです  
.....

わあ  
わあああ  
あああ

この姿が  
② 餓鬼界の  
生命です

わあ

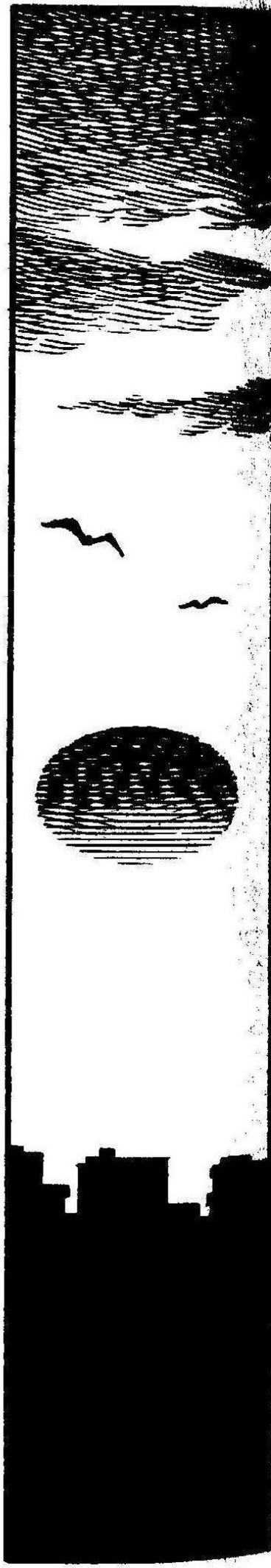
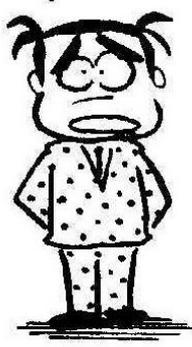
求めて  
得られぬ  
苦しみの  
あがき...

カカカ



とぼ  
とぼ  
とぼ

幽鬼ゆうきの  
ようになつた  
彼が  
歩いて  
います……



彼にはもう  
生命の  
エネルギー  
らしいものは  
感じられません

絶望、苦悩の  
ドン底に  
つきおとされた  
① 地獄界です

というわけで  
どうも  
ご苦労さま  
でした



とつぜん  
実演を  
やらせないで  
くださいっ

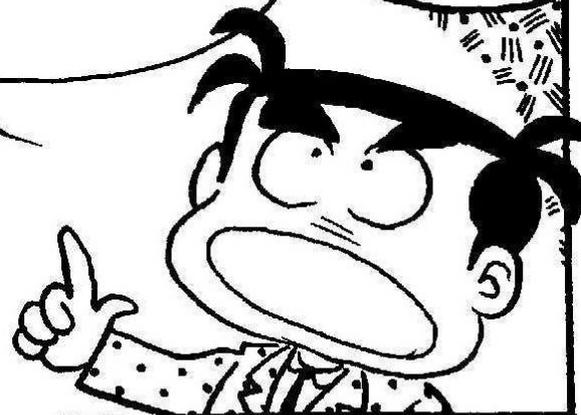
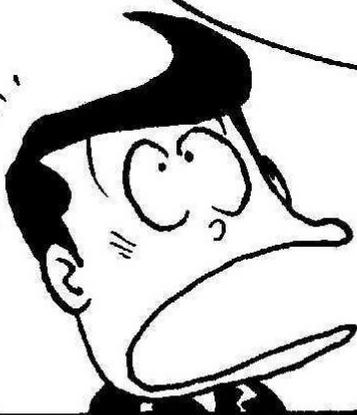
あゝ  
びっくり  
した

でも  
あなたは  
これで

⑥ ⑤ ④ ③ ② ①  
天<sup>てん</sup> 人<sup>にん</sup> 修<sup>しゆ</sup> 畜<sup>ちく</sup> 餓<sup>が</sup> 地<sup>じ</sup>  
羅<sup>ら</sup> 生<sup>しょう</sup> 鬼<sup>き</sup> 獄<sup>ごく</sup>  
界<sup>かい</sup> 界<sup>かい</sup> 界<sup>かい</sup> 界<sup>かい</sup> 界<sup>かい</sup> 界<sup>かい</sup>

の六つを  
もう経験  
したわけ  
です

あー  
そーか





変わるわけ  
ないと  
思ってたけど

実際に  
めまぐるしく  
生命が  
変化  
したなあ  
……

くるくる  
いれかわり  
たちかわり

自分の  
全生命が  
支配されて  
しまうでしょ

喜怒哀楽



これまでに  
一番ましな  
天界の  
生命が  
出れば  
いいねえ

えーつと  
えーつと



なのにこれら  
十界の生命は  
自分で  
好きなのを  
選びだそうと  
思っても  
出てこないの  
だよ

えっ  
自分の  
生命  
なのになにに?

えっだっけ?



ムリだア  
出ない

さつきは  
あんなに  
コロコロ  
出たのに……



だめだあ  
出て  
こないよ

じゃあ  
修羅界か  
餓鬼界を  
出して  
ごらん

すごいのを

ところが  
外から  
何か条件を  
与えると

むか〜

水カ

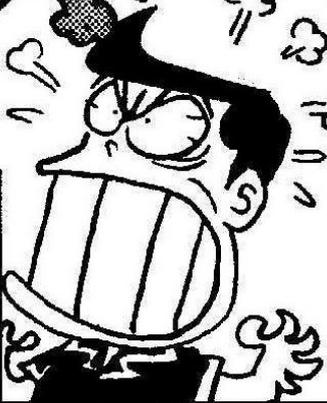
修羅界

わー  
たのしい  
なあ

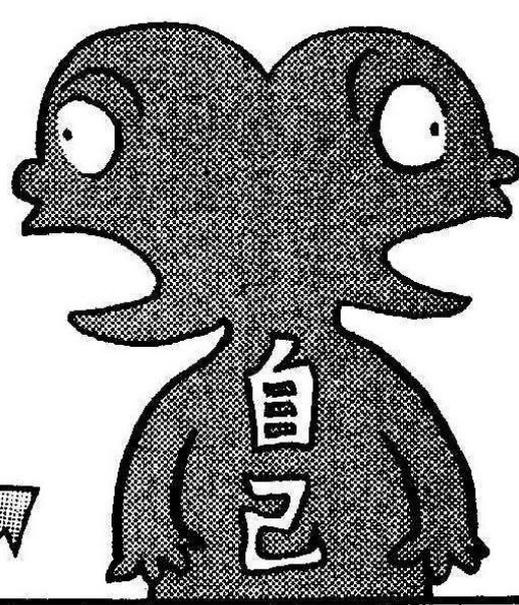
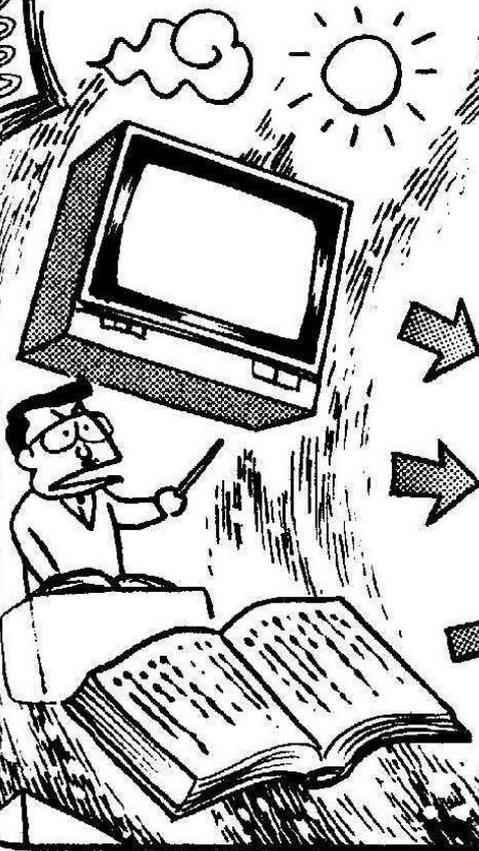
天界

ケラケラ

たちまち  
反応して  
十界のどれかが  
出てきます



いろいろな  
環境や  
条件が  
きっかけに  
なって  
生命が  
変化します  
この  
きっかけを  
仏法用語で  
「縁えん」といいます  
縁えんにふれる  
ことよって  
自分の中から  
思ってもみない  
「生命」が  
出てきます



三乗

六道

かい界かい界かい界かい界かい界かい界かい界かい界かい界

さつ薩がく覚もん聞

ら羅しよ生き鬼ごく獄

ぶつ仏ほ菩えん縁しよ声てんに人しゅ修ちく畜が餓じ地

それでは  
最初の  
君の疑問の  
答えは？

自分の中にある  
偉大な仏界は  
どうやれば  
出てくるか!!

あーっ



自分だけで

出てこい

出てこいって

力んでも

だめなんだ

そう!

これまでの

六つと

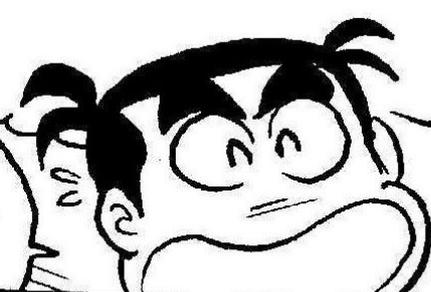
同じように

何かの縁に

ふれれば

出てくるん

だ!!



ポロリン

その縁となるものこそ  
末法の御本仏  
日蓮大聖人の  
あらわされた  
この御本尊です

ここに  
私たちの  
真実最高の生命が  
あかされて  
いるのです！



御本尊に題目を  
唱えゆくとき  
自分の中に眠って  
いた仏の生命が  
あらわれて  
くるのです

生命と  
生命の  
触発に  
よつてのみ  
偉大な  
人間革命が  
可能に  
なるのです  
!!

うーん  
そうだった  
のか〜

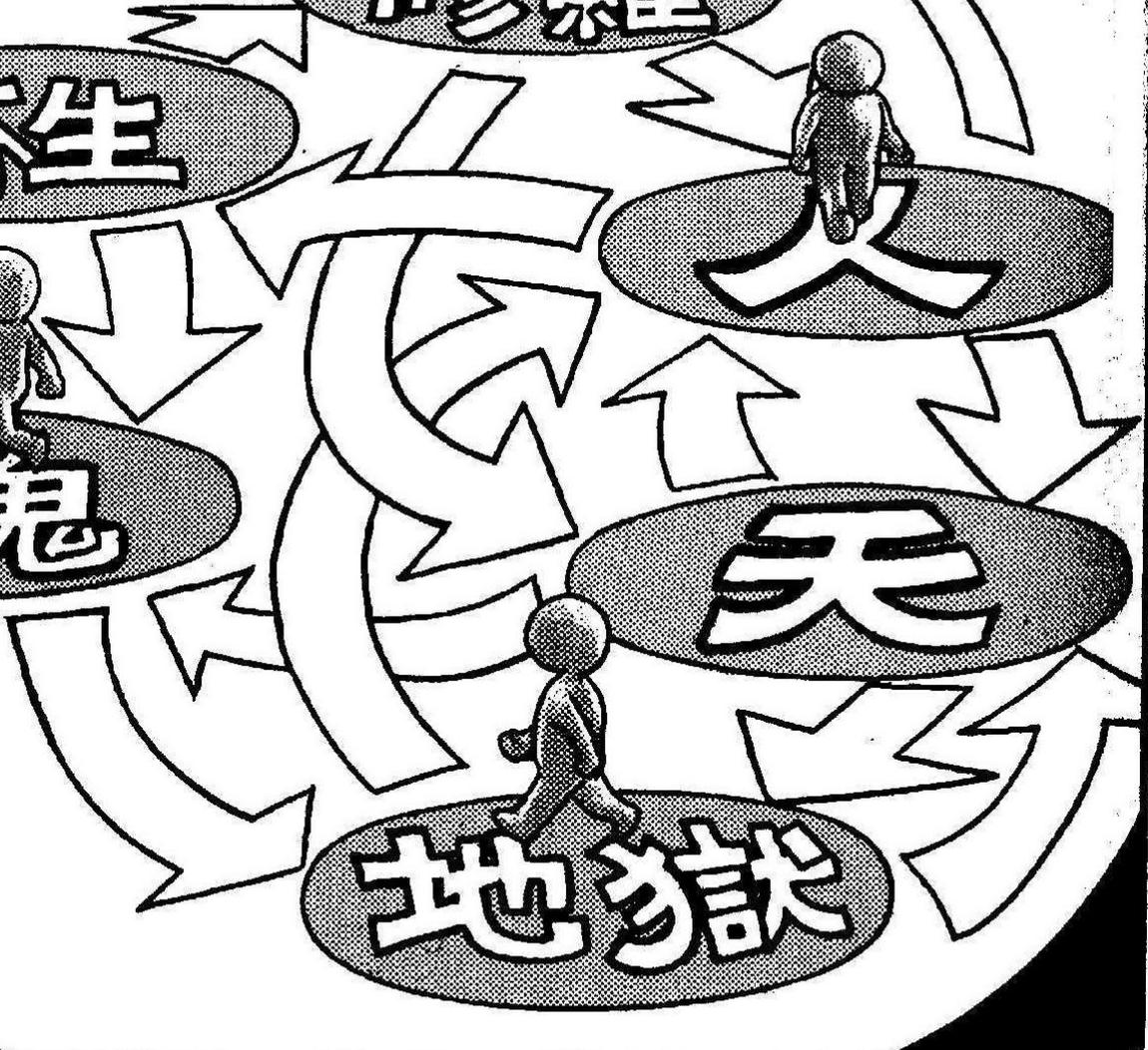


# 第四章 十界論(1)

## 〈六道の生命〉

人は  
しらず  
しらず  
しらずに

この六つの  
境界(六道)を  
ぐるぐると  
さまよひ  
まわって  
いるのです





地獄や仏  
なんてのは  
経文に  
あるだけの  
作り話と  
思ってたけど  
……

私たちの  
生命の中に  
厳然と  
あるんだ  
よね

この六つを  
かんたんに  
おさらいして  
みましょう



借金が  
山のように  
ある



うううう  
恋人に  
ふられた



# ① 地獄界

歯が  
いたい



どれひとつ  
とつても  
その人には  
大変な  
苦しみ  
なんだ……

不治の病  
家庭不和  
いじめ  
公害  
等々

日本中で  
毎日  
地獄が  
生まれています……

戦争は  
この世の  
もつとも大きな  
地獄といって  
いいでしょう

無数の人々が  
限りない  
苦しみの  
どん底に  
つき落とされて  
いきます

核兵器は  
地球全土を  
地獄に変える  
危険さえ  
あるのです

ユネスコ憲章に  
戦争は  
人の心から  
生まれるから  
心の中に  
平和の砦を  
築こうと  
記されてるね

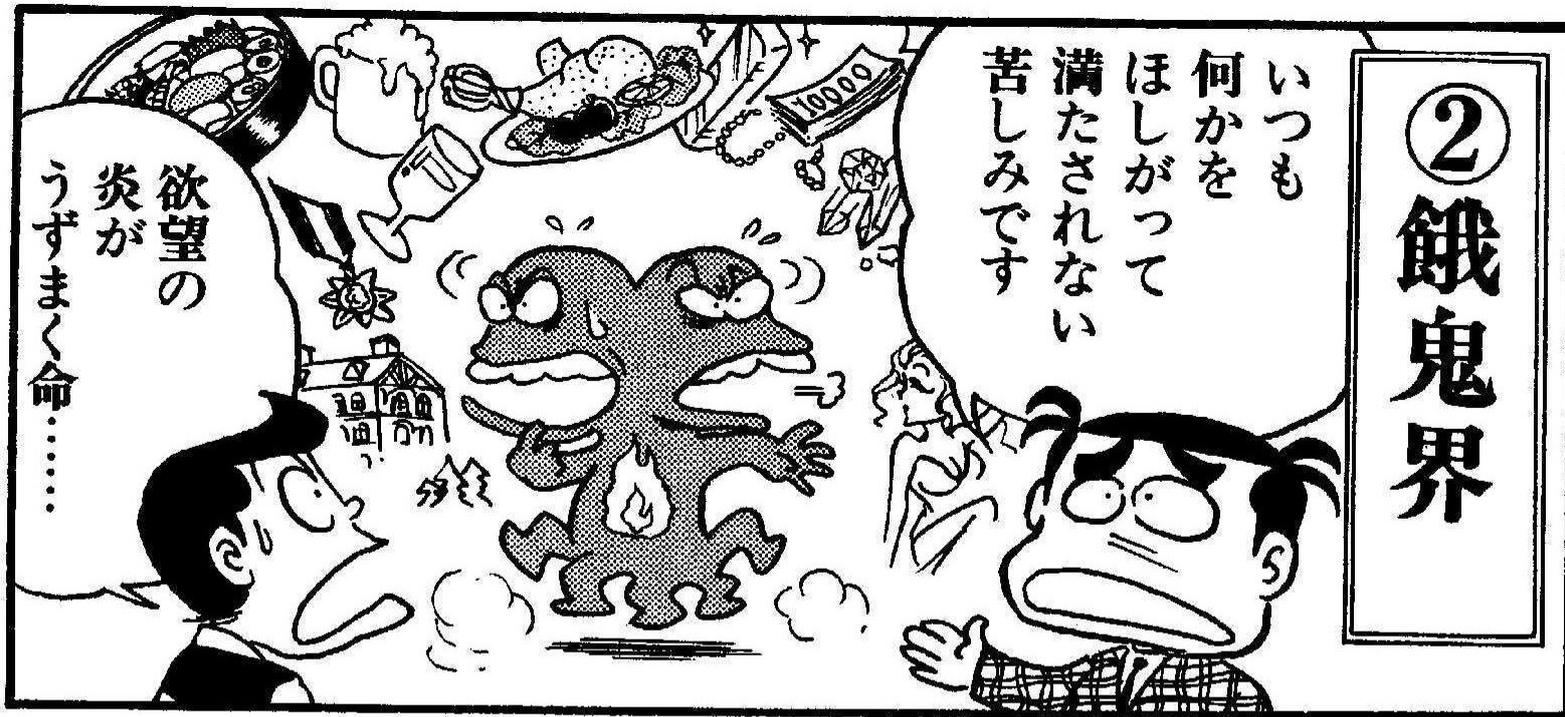
そのための  
具体的な方法を  
仏法は  
ちゃんと  
説いているのです



## ② 餓鬼界

いつも何かをほしがって満たされない苦しみです

欲望の炎がうずまく命……



そう

そして

この生命の恐ろしさは

たとえ

求めたものを

手にいれても

さらに

さらに

限りなく

ほしがるように

なることです

わあ~~~~

おそろ

しい~~~~



その生命の

内部では

いつまでたっても

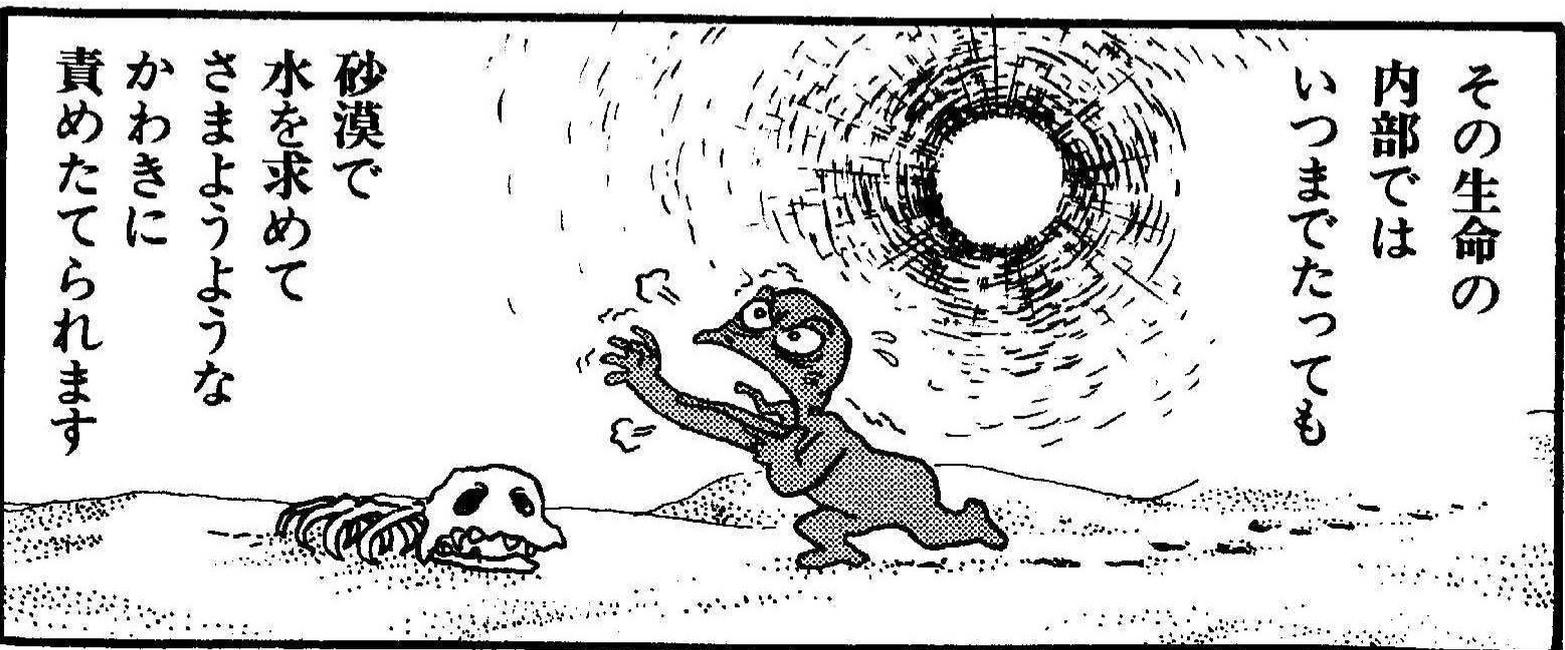
砂漠で

水を求めて

さまようような

かわきに

責めたてられます





欲望に  
支配された  
生命って  
みじめだねえ

それが  
コントロール  
できなくなれば  
犯罪に  
つながる  
よね

利益のみを  
求めてやまぬ  
企業や国家が  
公害や  
戦争を  
ひきおこすの  
もこの例です

日本企業の  
利益追求が  
全世界に  
嫌われてるのも  
そういう  
わけだね

ハンセー  
しなくっちゃ  
エライこと  
なるなあ……

### ③ 畜生界

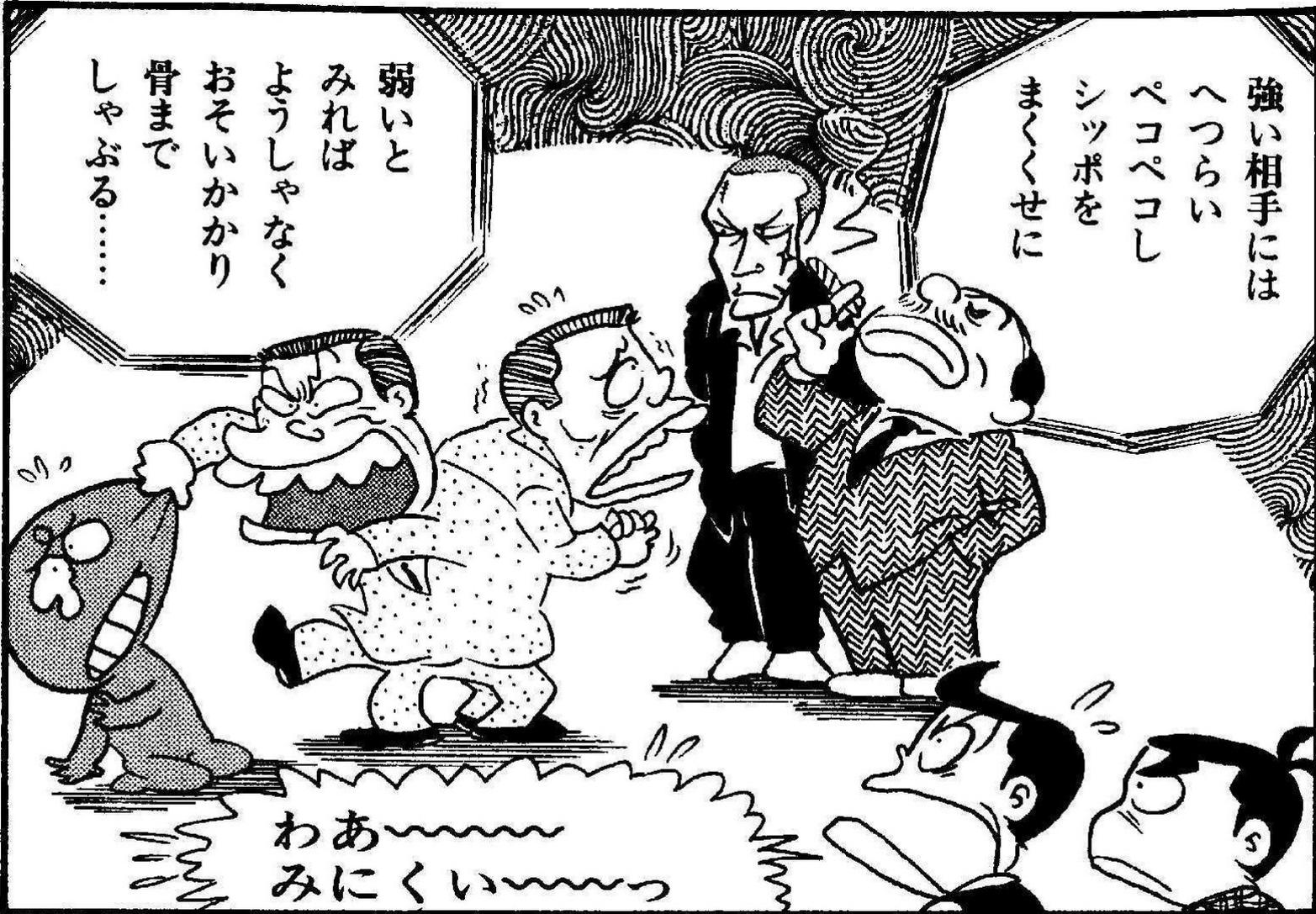
畜生って  
どーぶつの  
ことでしょ

人間としての  
理性も  
良心も  
ない

本能のままに  
行動する  
愚かな  
生命状態です

強い相手には  
へつらい  
ペコペコし  
シツポを  
まくくせに

弱いと  
みれば  
ようしやなく  
おそいかかり  
骨まで  
しゃぶる……



わあ~~~~~  
みにくい~~~~

老人専門に  
だまして  
もうけていた  
企業が

金もうけ

には

不幸な人が

出るのは

当たり前だ

と

言った

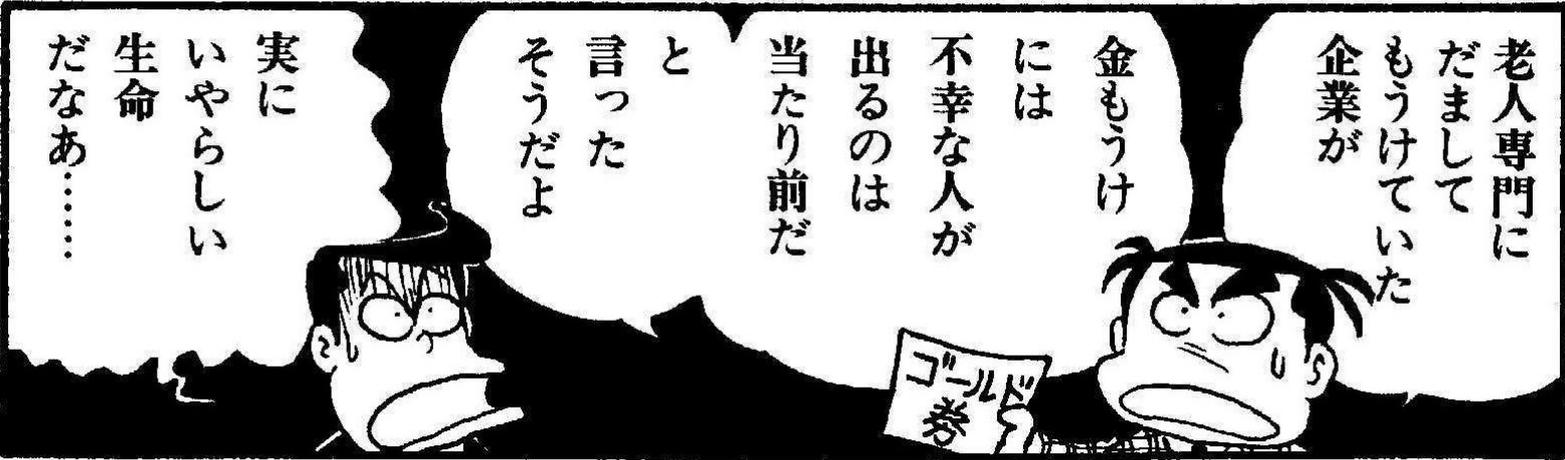
そうだよ

実に

いやらしい

生命

だなあ……



あるいは

今が

たのしければ

それでいいと



目先の

快樂に

おぼれる

生命

……



人間としての  
誇りも  
向上心もなく

本能のままに  
弱肉強食の  
世界に  
生きる愚かな  
境界が  
畜生界です

なるほど  
人間じゃ  
ないなあ  
……



# ④ 修羅界

争いの  
生命  
です



夫婦ゲンカも  
戦争も  
すべて修羅の  
生命です

これは  
わかり  
やすい  
なあ



いつも  
暴力を  
ふるって  
わけじゃ  
ないのよ

人に勝ちたい  
人に勝ちたい  
優位に立ちたい  
——という

絶えまない  
エゴイズムが  
修羅の  
本性です



はあ~~~~

じゃあ  
おとなしく  
していても  
修羅の本性は  
燃えさかって  
いるんだ

正しい  
見

たまた  
たえられ  
ない...

心の中  
では  
人をバカにし  
憎みつづけて  
いるんだから

おとなしく  
している  
時の方が  
あぶない  
くらい  
だね

修羅は  
身の丈八万四千由旬  
大海が  
ひざままでしか  
とどかない  
と説かれている

天台大師は  
他人を軽んじ  
自分がエライと  
思うその姿は

トビが空から  
地上を  
見下すような  
ものだと  
説いている

あつかましい  
生命  
だなあ.....

始末の  
悪いことに  
修羅は  
外見が  
いいんだよ

えっ



自分を  
えらく見せ

修羅の炎は  
ますます  
燃えさかる……

天台大師は  
くわしく  
説明して  
います



さも  
善人の  
ふりをし

やー  
やー  
やー  
やー



小さな  
善行を  
し

はいっ  
プレゼン  
ト!!

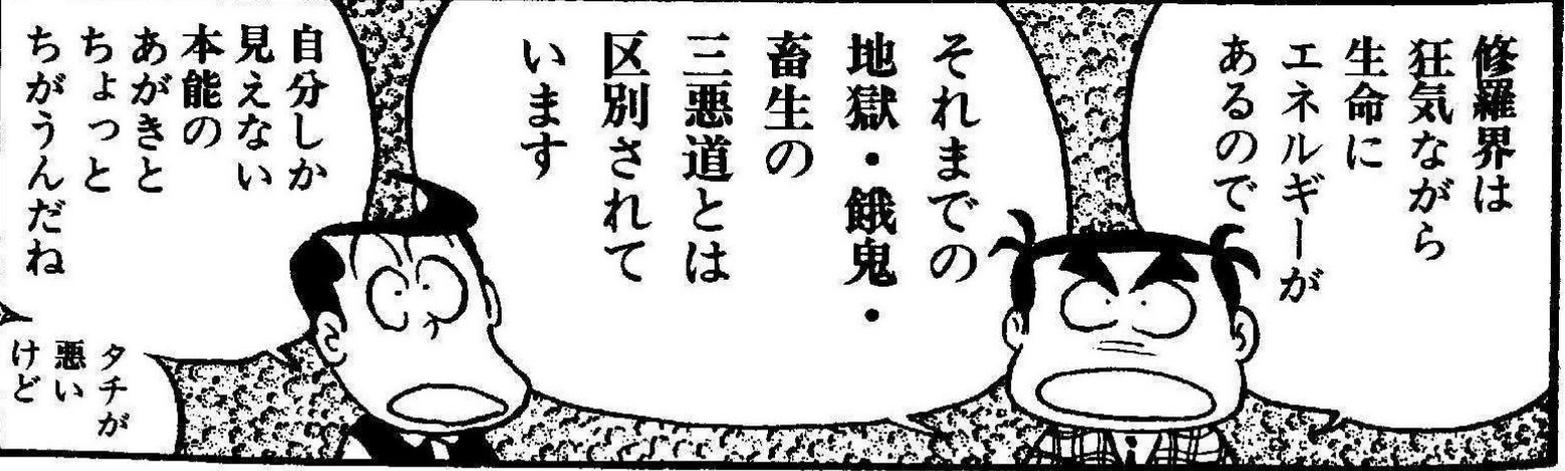
わー



いい人と  
修羅は  
どうやって  
見わければ  
いいの??

ホントに  
人のために  
行動してるか  
メンツで  
自分を  
守りたい  
だけなのか  
わかりそうな  
もんだけど  
……

わかんない  
から  
悪い政治家  
などが  
はびこるの  
かな?



修羅界は  
狂気ながら  
生命に  
エネルギーが  
あるので

それまでの  
地獄・餓鬼・  
畜生の  
三悪道とは  
区別されて  
います

自分しか  
見えない  
本能の  
あがきと  
ちよつと  
ちがうんだね

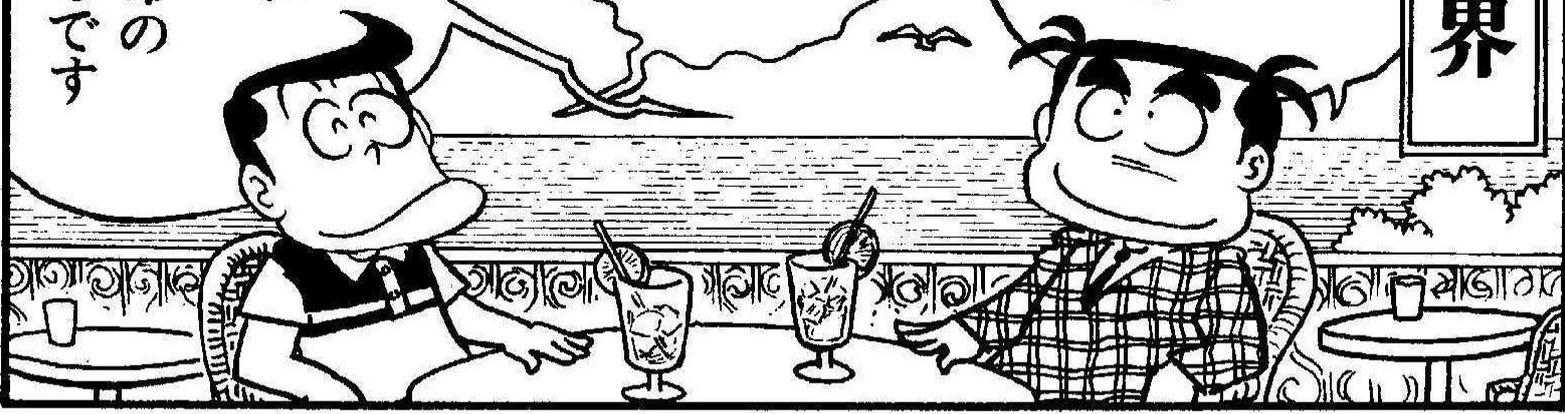
タチが  
悪い  
けど

# ⑤ 人界

平常な  
人間の  
おちついた  
心です

おだやか  
だなあ  
……

十界の  
ほぼ中央に  
あるのも  
これが生命の  
基本だからです



でもこれは  
環境しだいで  
すぐ変わって  
しまうんだよ

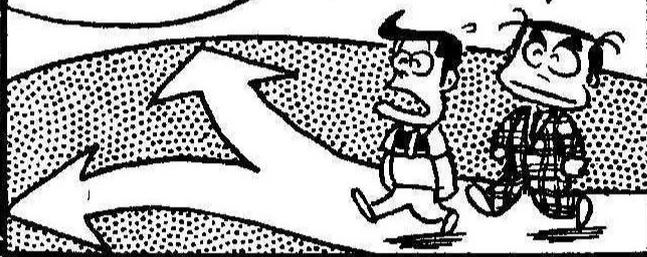
ケラケラ

カッ

あ  
そう  
だった

よくなる  
可能性も  
悪くなる  
可能性も  
ある人界……

私たちは  
よい方向を  
めざして  
進みたいですね



# ⑥ 天界

よーするに  
楽しいことが  
あつて  
天にも昇る  
気持ち  
だね

合格

欲望の  
満たされた  
めぐまれた  
状態です





しかし  
「魔は天界に  
住む」という  
言葉が  
あります

ばいばい

わて  
くらそう

わー  
天界の  
喜びは  
いっしゅんで

たちまち  
おとろえて  
いくんだ……

癒人  
どうよう



天界の  
喜びは  
決して  
長つづき  
しません

あと  
いうま

それを  
失った  
ときの  
悲しみ  
苦しみは

得る前より  
はるかに  
つらく空しい  
ものです



また人類は  
天界を理想として  
多くの発明を  
するなど

幸福の  
青い鳥を  
追い求めて  
きたけれど  
……

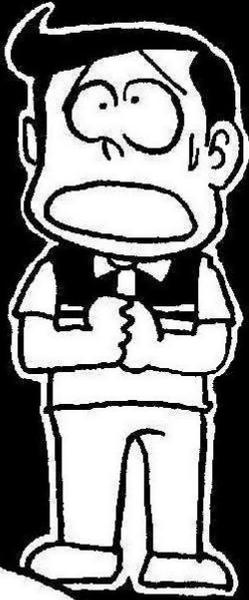
うん

それらが  
数多くの  
不幸の  
原因に  
なったり

ついには  
人類の滅亡すら  
予感させるとは  
一体どういう  
ことでしょうか？



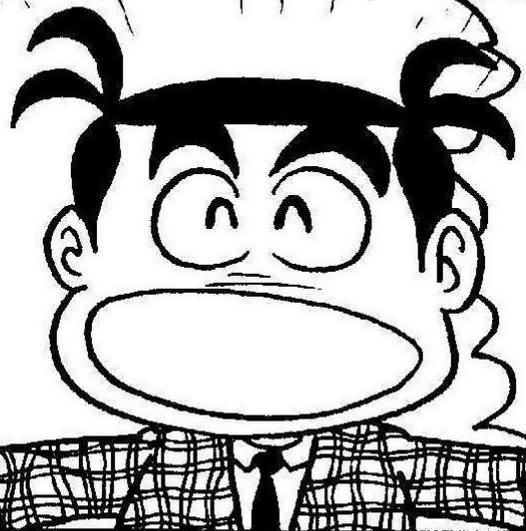
けつきよく  
天界をふくむ  
六道の  
人生の中に



真実の  
幸福は  
ないんだ…

ではいよいよ  
四聖の  
生命を  
みてみましょう  
!!

わっ

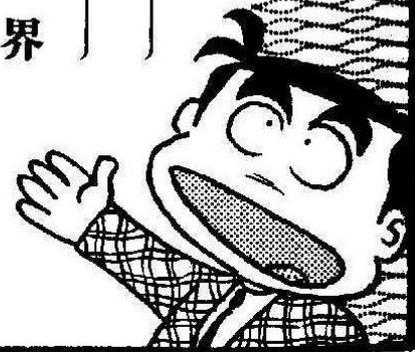


十界を  
もう一度  
見てみようね

- 四聖
- ⑩ 仏界
- ⑨ 菩薩界
- ⑧ 縁覚界
- ⑦ 声聞界
- 六道
- ⑥ 天界
- ⑤ 人界
- ④ 修羅界
- ③ 畜生界
- ② 餓鬼界
- ① 地獄界
- 四惡趣
- 三乘
- 三惡道

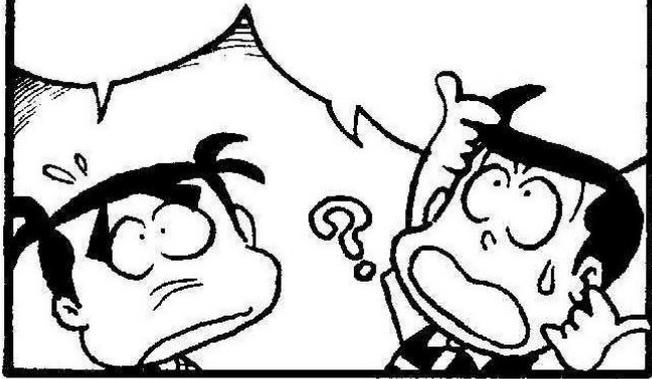
あつ、まだ  
上があるんだ

よかつた



天界の  
喜びより  
上って  
どんなの  
かな

経験  
してない  
みたいね



六道の  
生活に  
つかれ……



あるとき  
人は  
自分の  
人生を  
しずかに  
見つめます

そこに  
きこえてくる  
魂のひびきは  
一体何でしょう



目先の欲望や  
環境にばかり  
ふり回されてきた  
自分の心……

自分自身  
とは  
何だったのか  
……

たしかなもの  
をつかみたい!!

君は  
未来に向かって  
ふみ出した!!

君は真剣に  
人生について  
思索して  
いく

わきあがる  
生命の  
充足感……

それは  
これまで  
決して  
得ることの  
できなかつた  
もの……

たった  
一行の文章  
一枚の絵が

魂を  
ゆり動かし  
人生をかえてゆく  
ことだって  
ある

それは  
自己の内面を  
みつめる  
作業なのだ

そのとき  
君の心は  
たしかに  
何かを  
聞いている!!



何かに  
打ちこんでいる  
人は  
美しい

これが  
⑦番目の  
声聞界  
です

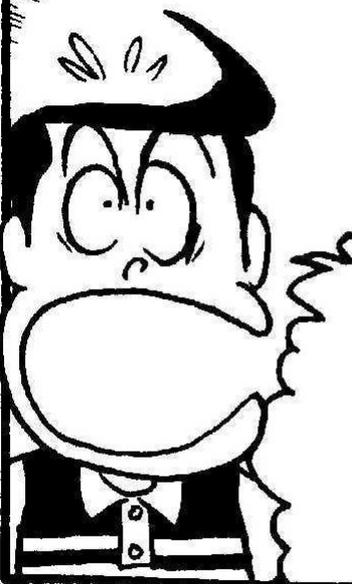
わあ~~~~  
これが  
ホントの  
幸福だ



いやいや  
⑧縁覚界  
⑨菩薩界や

ましてや  
⑩仏界の  
絶対くずれぬ  
幸福とは  
くらべものに  
ならない

え~~~~  
そんなに  
スゴイ喜びの  
生命が  
あるの~~~~



# 第五章 十界論(2)

## 〈二乗の生命〉

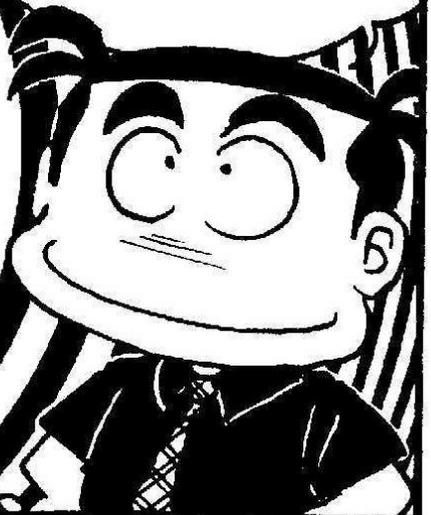
縁 覚

声 聞

声聞、縁覚って  
どういう  
意味なの？

前章では  
環境に  
振り回される  
六道ろくどうの境界から

よりたしかな  
ものを求めて  
一步踏み出した  
ところまでを  
勉強したよね



声聞とは



もともとは  
仏の声を  
聞く人、ぶつでし 仏弟子の  
ことを  
言ったのです

つまり  
すぐれた教えに  
けんきょ 謙虚に  
耳を傾け  
かな 学ぶことに  
よって



自分自身の  
生命が  
豊かに  
なっていく  
……

今までの  
六道では  
得られない  
精神的な  
充足感

自己の  
生命を  
みかくことが  
できる  
状態……

それじゃ  
学生や  
インテリ  
たちが  
声聞なんだ



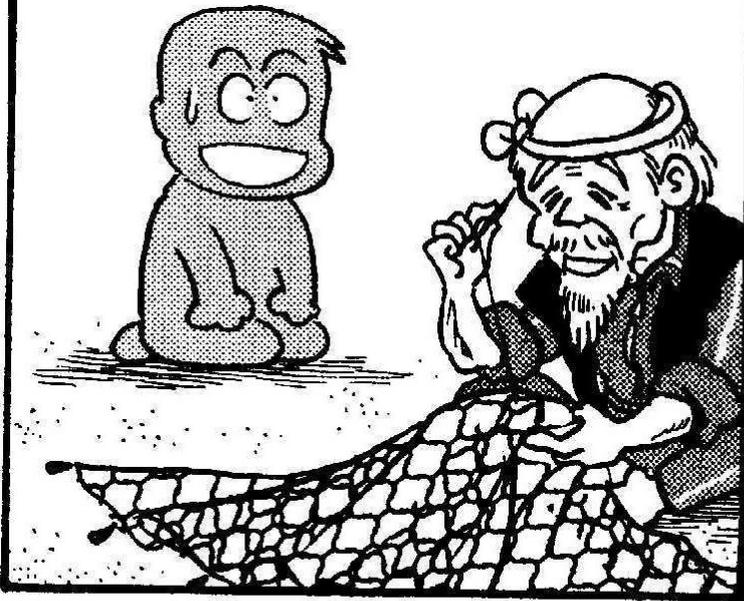
学生や  
知識人は  
たしかに  
声聞の生命を  
起こす可能性は  
高い

しかし  
職業は  
二の次と  
いっていい



たとえば  
十分教育の  
機会にめぐまれ  
なかつた人  
からでも

体験から得た  
深い知恵を  
教えられる例が  
よくあります



だから逆に  
学校で勉強を  
していても

ただ  
試験で  
いい点をとって  
有利な就職を  
したいとか



あるいは  
みんなより  
もの知りに  
なつて  
いばりたい

なんていうのは  
餓鬼界の一種に  
すぎないと  
仏法は  
説いています

なるほど



だから  
どんな  
社会的地位や  
職業の  
人でも

その仕事の  
なかから  
学ぶ姿勢を  
持ち

人間的成長を  
めざしている  
人は  
「声聞界」の  
人だし



給料や  
退社時間を  
気にして  
遊ぶこと  
ばかり  
考えている  
人は

どんなに  
カッコいい  
職業に  
ついていても  
六道の  
人間だね

そーいう  
人は  
よくいる  
なあ



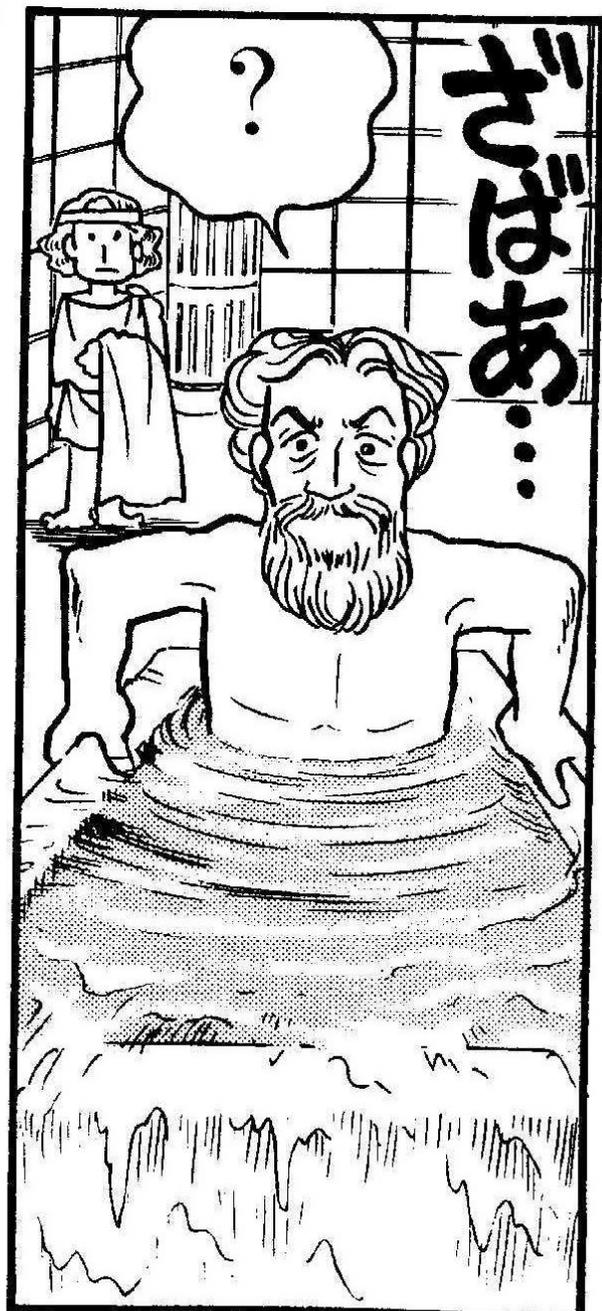
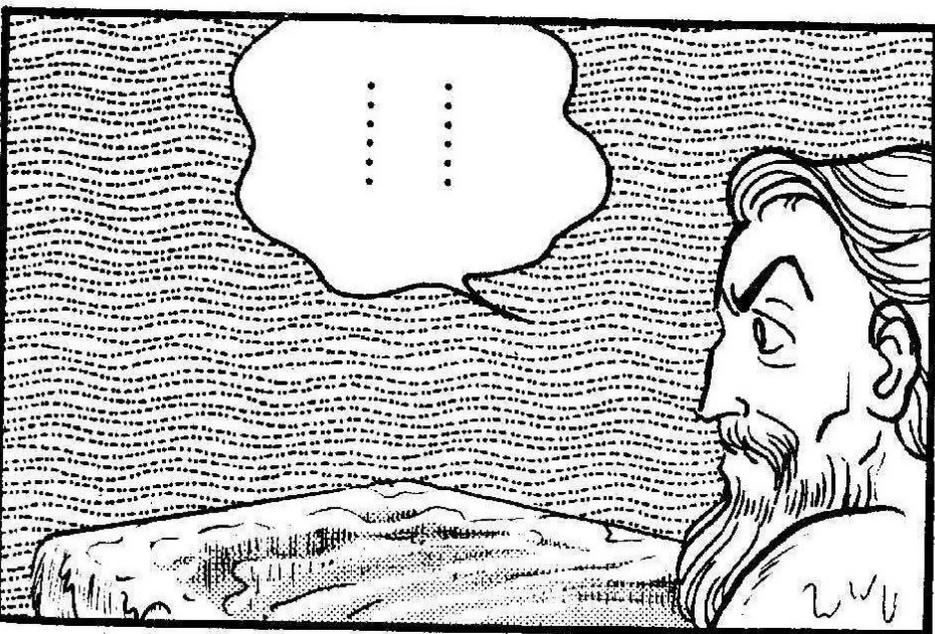
いずれにせよ  
声聞界とは

何らかの  
すぐれた  
ものに  
学ぶことに  
よって

自分を  
みがき  
「自我」を  
輝かせて  
いく  
生命の  
働きです

わあ~~~~  
すばらしい!!





# ユウレカーっ

(みつけた~~~~~)



これを  
縁覚界!!

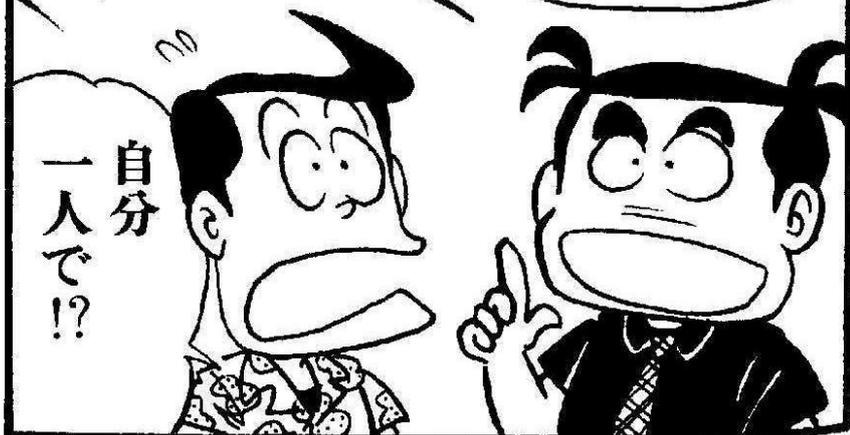
ひとり  
独りで  
何かを縁として  
覚るということ



だから  
「独覚」とも  
いいます

アルキメデスは  
この瞬間  
だれからも  
教えてもらって  
ないのに

宇宙の法則の  
一つを  
つかんだのです  
!!



自分  
一人で!?

深い思索を  
重ねた結果  
ある境涯に  
達した人は

森羅万象しんらばんしょうから  
何かを  
手がかり  
(きっかけ)きつかけにして  
一つの悟りさとを  
得ます

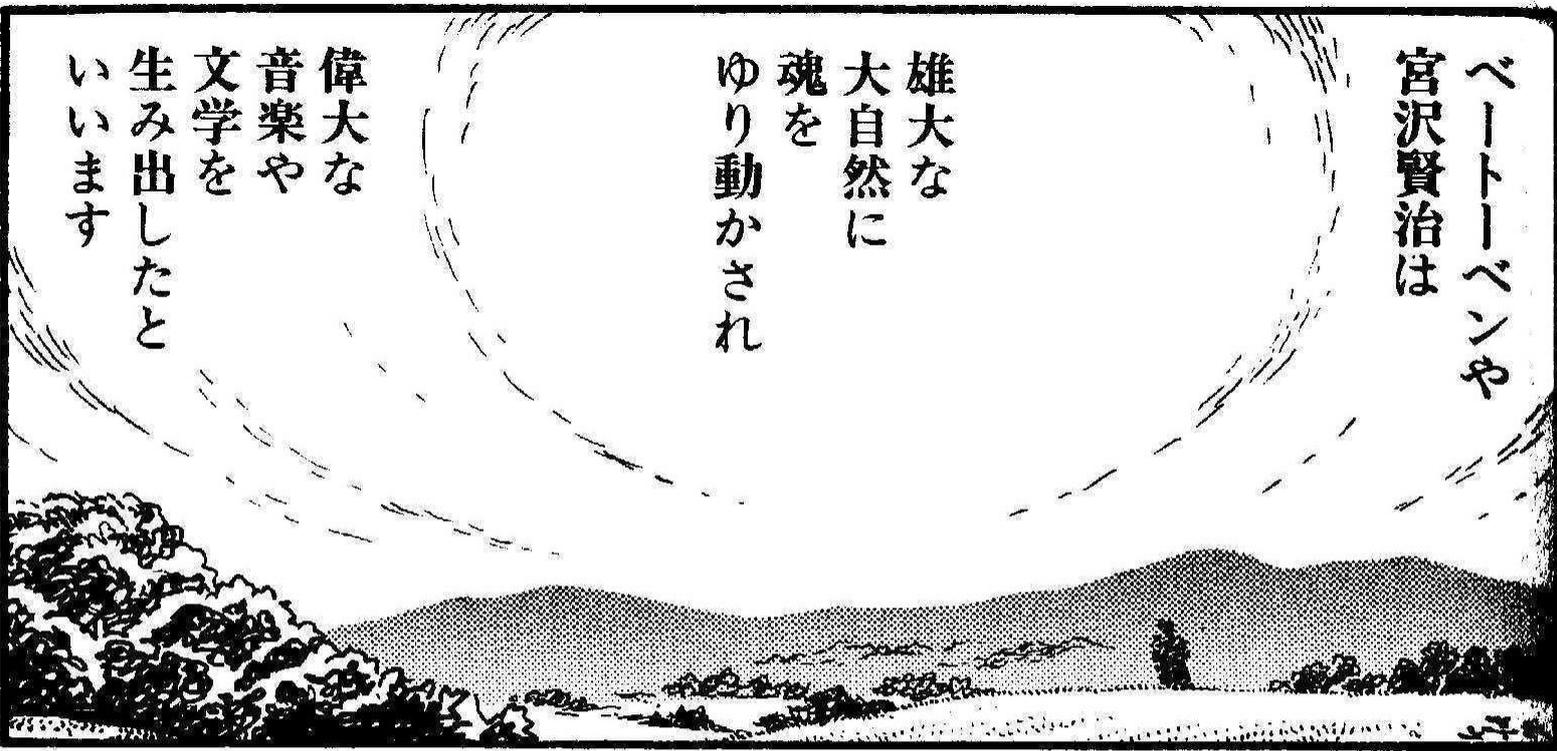
# 縁覚

この  
「きっかけ」を  
「縁えん」と  
いいます

ベートーベンや  
宮沢賢治は

雄大な  
大自然に  
魂を  
ゆり動かされ

偉大な  
音楽や  
文学を  
生み出したと  
いいます



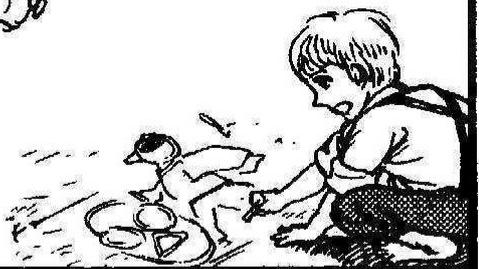
ピカソが  
当時の  
写真画に  
あき足らず

思索を  
重ねて  
いたとき

若い  
ころ



遠近法を  
無視した  
子供の  
ラクガキに  
インスピ  
レーションを  
得て



まったく  
新しい  
絵画の道  
を開く

多くの  
芸術や  
学問は  
縁覚界の  
人々が  
発展させた  
ものだとも  
いえます

それじゃ  
やっぱり  
ふつうの  
人にはない  
境涯でしょ





深い  
思索を  
重ね

自己の  
精神の  
内側へ  
内側へと  
入り込み  
考え……



そして

はっ

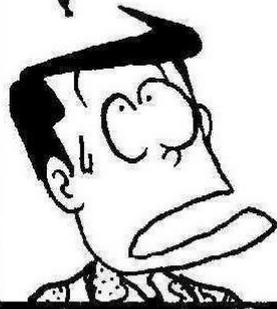
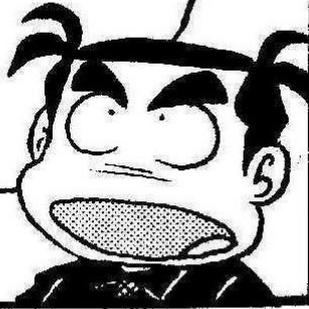
と

自己の  
創造的な  
知恵を見いだすとき

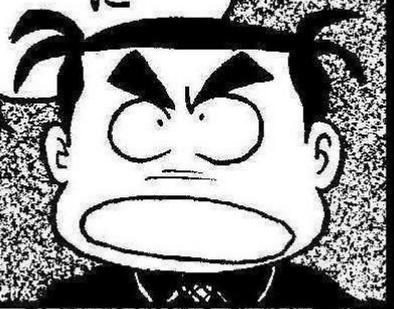


その人は  
立派に縁覚の  
境地にいると  
いえます

なるほど……



いずれに  
せよ

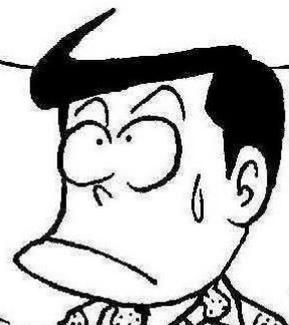
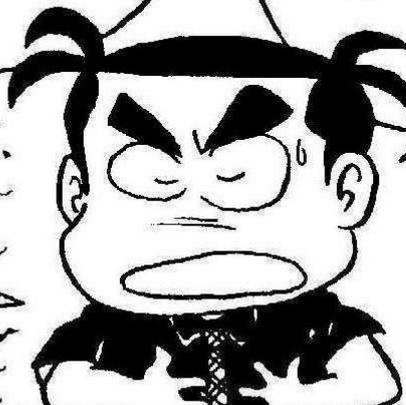


前の  
六道は  
外界との  
接触や  
影響に  
振り回されて  
いたのに対し

声聞と  
縁覚は  
自己の内面に  
深く入って  
いきます

この二つを  
ひっくるめて  
二乗と  
いいます

二乗

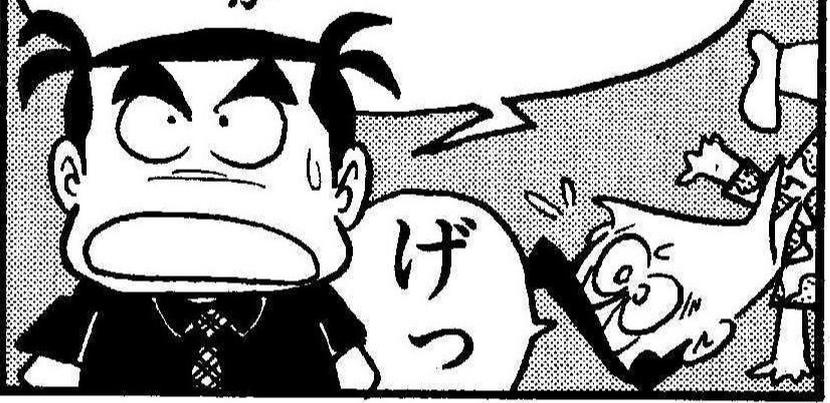




すると  
これが  
人間の  
たどりつく  
最高の  
境涯  
だろうね!!



ところが  
この  
二乗の  
生命には  
恐ろしい  
落とし穴が  
あります  
!!



どどど  
どうして  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



二乗の人は  
自分の  
考えに  
こりかた  
まって  
しまい



自分だけの  
世界に  
おちいって  
しまうのです!!

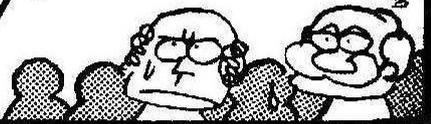
人の  
ことが  
見えなく  
なります

たとえば  
ニーチェは  
精神錯乱  
状態になって  
死んでいます



ひえっ

自分の  
家族さえも  
不幸に巻き込んで  
死んでいった  
芸術家や  
科学者は  
数え  
きれません



さらに  
きびしく  
いえば

原始時代の  
修羅界の  
ケンカは  
せいぜい  
棒つきれで  
すみました



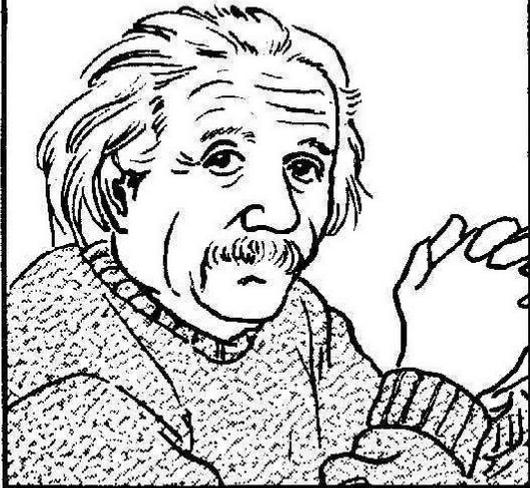
しかし  
ミサイルや  
水爆を  
発明したのは  
二乗というべき  
科学者です

わ~~~~っ  
世界を  
破滅に  
みちびく  
.....

低い思想は  
二乗の生命をも  
誤った  
方向へ  
向けてしまいます



$$E=mc^2$$



アインシュタインは  
たしかに  
宇宙を貫く  
一つの法則を  
発見しました

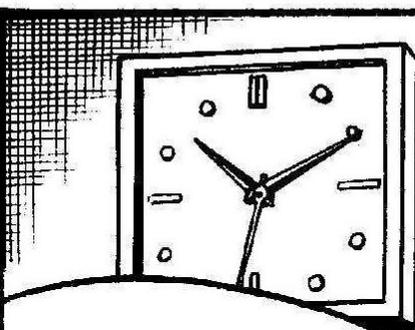
しかしそれが  
原子爆弾を  
生み出す  
きっかけになって  
しまったのです

後年、彼は  
そのことで  
非常に悩み  
平和運動にも  
つくりましたが

それはともかく  
彼の有名な  
言葉に  
こんなのが  
あります

……  
私は  
宇宙の姿すら  
だいたい  
つかんでいます

すごいな



しかしそれは  
たとえて言えば  
時計の文字盤を  
見ることが  
できたような  
もので

何時に  
なれば  
針がどこに  
いくか  
予想できる  
だけ

後ろに  
あるに  
ちがいない  
機械に  
ついては  
分らない

つまりは  
この宇宙に  
脈打っている  
真実の力は  
分からないの  
です



その  
法則は  
科学では  
おそらく  
つかめない  
だろう

……  
もう一つの  
偉大な英知

「東洋の哲学」に  
解答があるに  
ちがいない!!



彼の偉大な  
二乗的直観は  
ここまで  
たどり  
つきましたが

その仏法の  
真髓しんすいである  
この正法に  
出あうことは  
できなかつたのです



わ~~~~っ

# 第六章 十界論(3)

## 〈二乗をこえて〉

さあ  
アインシュタイン  
も求めた  
真実の  
英知とはー？

だんだん  
わかりにくく  
なつていくよー

そうだね  
ちよつと  
むずかしい所に  
さしかかつて  
いたからね

さつと  
おさらい  
してみる？



地獄・餓鬼・  
畜生・修羅・  
人・天の  
六道という

環境や  
目先の欲望に  
ふり回される  
生命を  
のりこえ



先哲の  
教えを学び  
思索していく  
声聞界の  
生命



思索の結果  
何らかの  
きっかけ(縁)で  
自分なりの  
真理を覚る  
縁覚界の  
生命



それら  
自己の内面の  
充実をはかろうと  
する二乗の  
生命は

それなりに  
すぐれた  
もので  
あるにも  
かかわらず

かえって  
袋小路に  
迷いこんで  
しまう  
危険を  
はらんで  
います

何が  
いけないん  
だろ……？



ひとつは

二乗とは

自分だけの

悟りで

満足してしまう

傾向性をもった

生命であるため

ついには

他のことに

関心を

はらわなくなる

恐れが

あるのです



自分の悟り  
だけを  
求めていく  
自己中心的な  
生命

これは  
ひじょうに  
恐ろしい  
ことです

くでも  
自分自身は  
幸福に  
なれるわけ  
？

自分も  
他人も  
おなじ  
人間です

根底は  
おなじ  
生命です

仏法は  
依正不二  
(自分と  
自分以外の  
環境は  
別々でしかも  
根底は一つ)と  
説いています

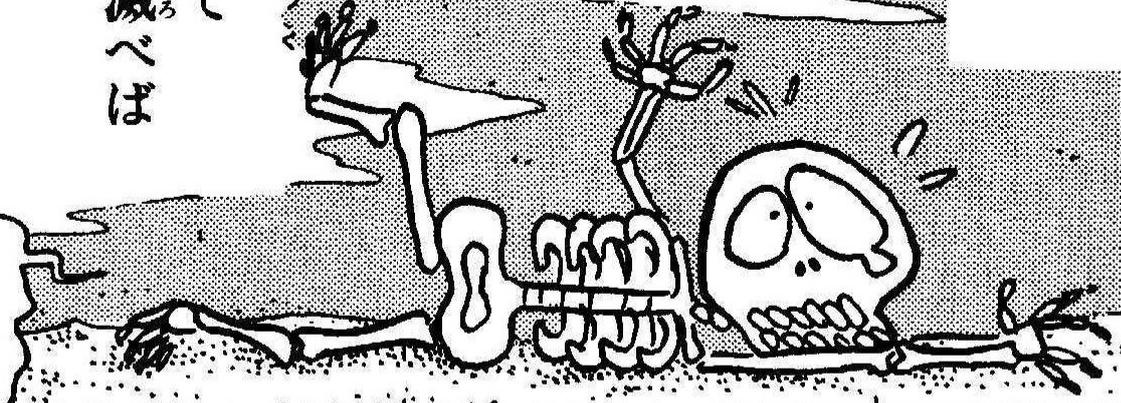
他の人を  
救えぬ  
ものが

自分を  
救うことは  
出来ないの  
です  
!!

あつ

単純に  
いえば

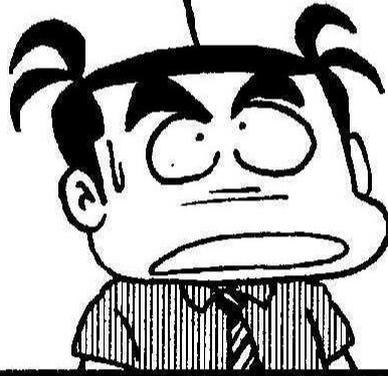
核兵器で  
世界が滅べば  
自分も  
破滅して  
しまうと  
いうこと  
です



わ〜  
あんなもの  
つくんなきゃ  
よかった

しよせん  
自分自身のため  
だけの  
小さな悟りでは  
自分も他人も  
幸福に  
していく  
ことはでき  
ません

なる  
ほど……



二乗、特に  
縁覚の境界は  
たしかに  
宇宙における  
一部分の真理を  
つかんでいます

その小さな  
悟りを  
最高のもの  
のように  
思いこむ

そこに  
大きな  
まちがいが  
あります



仏法は  
森羅万象しんらばんしょうの  
生命の本源であり  
一切の法則が  
ふくまれて  
います

仏の悟りは  
全宇宙を  
つらぬく  
永遠に  
くずれない

すべての  
生命を  
根底から  
救いきる  
法です

自分で  
つかんだ  
一部の  
悟りにとら  
われて

仏の  
悟りを  
軽んじて  
しまえば

それは  
大変なことに  
なるね

ですから  
釈尊は  
法華経という  
最高の教えを  
説く以前の  
さまざまな  
經典で

おまえたち  
二乗は  
餓鬼界や  
畜生界の  
人間より  
しまつが  
悪い  
絶対に  
仏には  
なれない!!



と、きびしく  
叱っている  
そうだよ

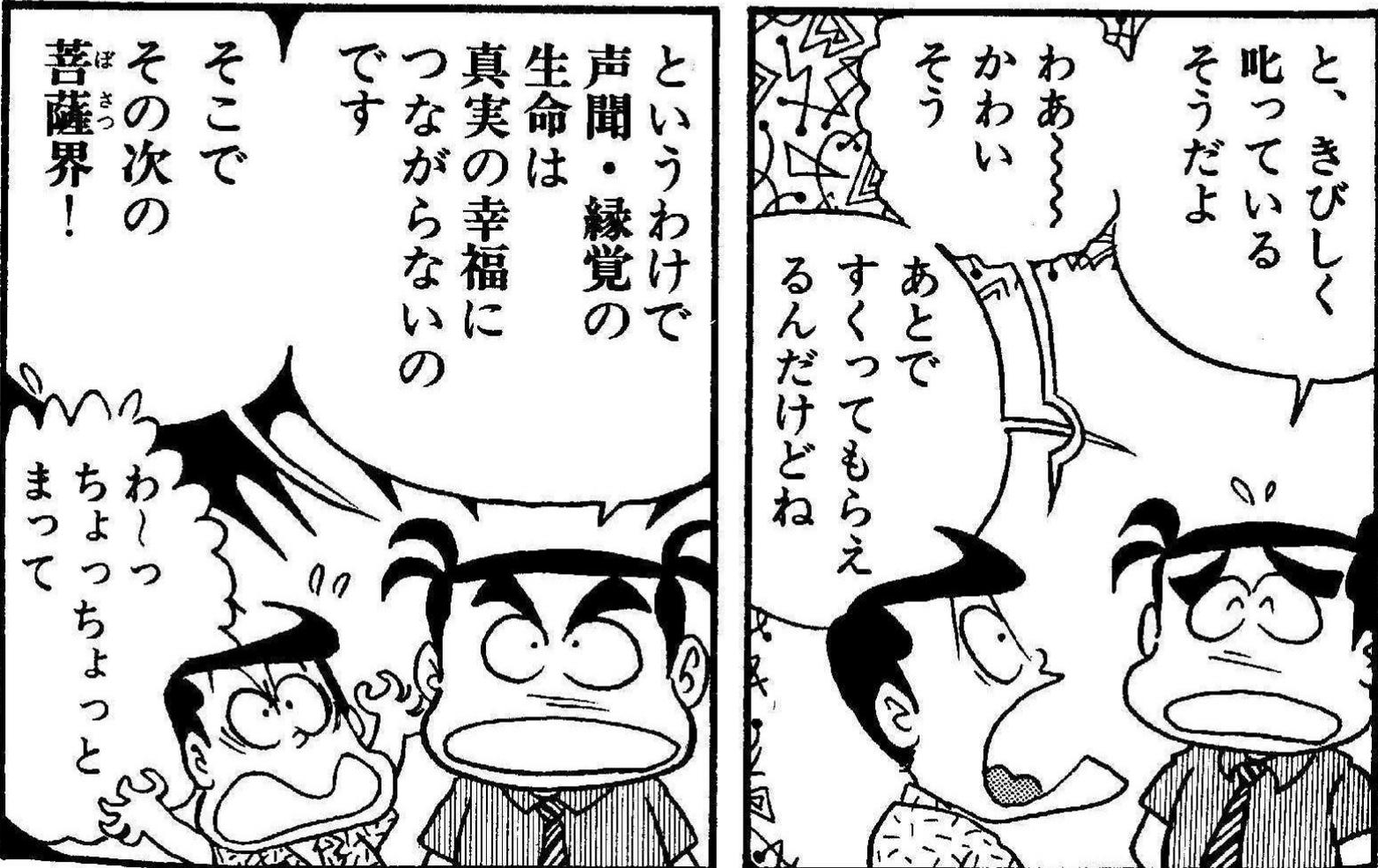
わあ〜  
かわい  
そう

あとで  
すくってもらえ  
るんだけどね

というわけで  
声聞・縁覚の  
生命は  
真実の幸福に  
つながらないの  
です

そこで  
その次の  
菩薩界!

わしっ  
ちよっちよっ  
まって



どうしたの？

たしかに

六道や

二乗の

生命が

最高のもので

ないと

いうのは

わかったよ

でも、二乗まで

行くのだから

大変だよ~~~~

なのにまだこの上を

目指さなきゃ

いけないん

だったら

めったな人は

最高の境界に

たどりつけないじゃ

ないか~~~~

えんえん



あ、

それは

ちがうん

だよ

私達の信心の

すばらしい点は

ここにありますが

「即身成仏」といって

説明が長くなるので

いまは

触れませんが

この信心を

すれば

「仏界」を

涌現して

幸せな

人生に

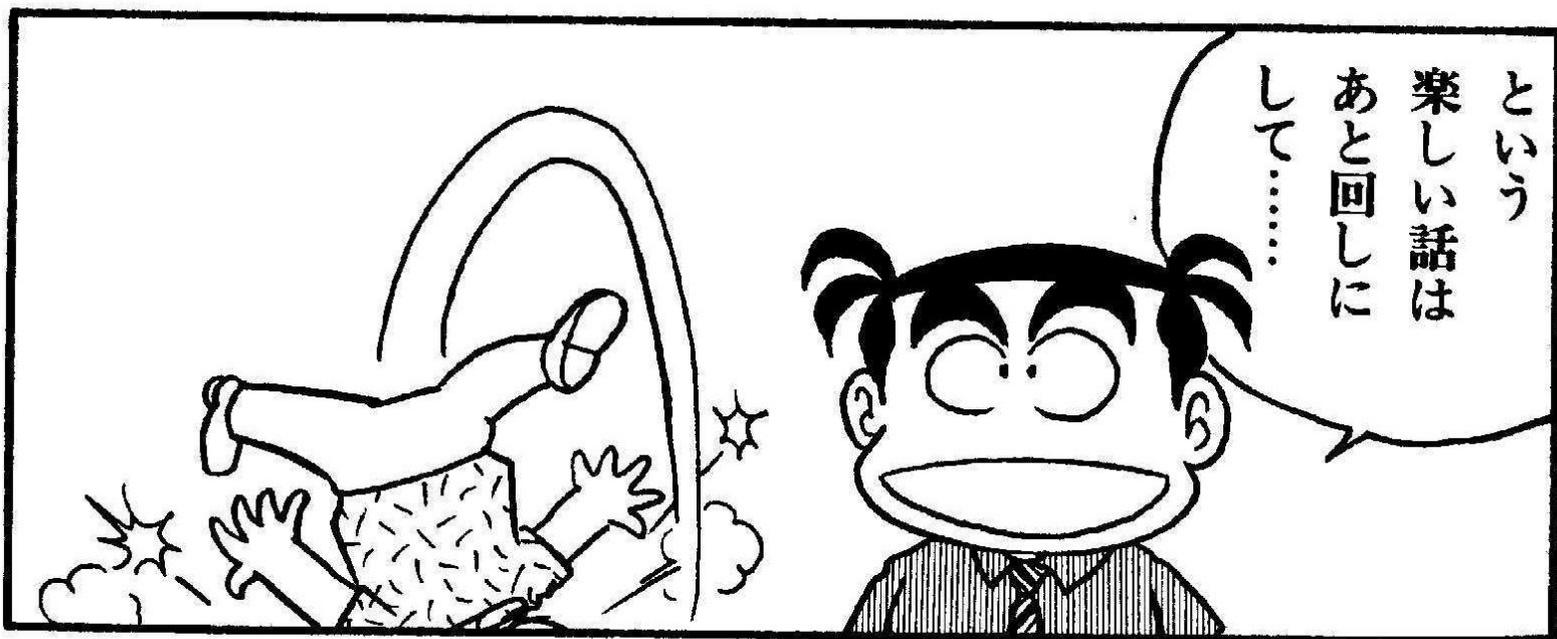
変わるのです



ですから  
これまで  
否定的に  
のべてきた  
六道や  
二乗の  
生命も

プラスの  
方向に  
生かしていける  
ように  
なります

え〜っ  
畜生界や修羅界を  
どう生かすの？



という  
楽しい話は  
あと回しに  
して……



いまは  
これまで通りの  
考え方で  
話を  
進めま  
しょう

はーい  
そう  
しま  
しょう

九番目の  
菩薩界です

菩薩界とは

利他りた

(他を思いやる)

の生命です



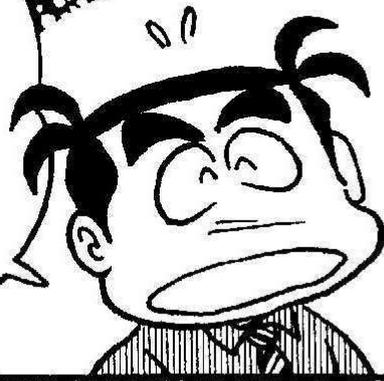
その行動は

「拔苦ばつ与楽よらく」と

いう崇高すうこうな

姿を示します

「ばつく  
よらく」って  
何です



え〜と

身近な

一例を

あげると……

たとえば  
こういう  
ケースが  
あります

自分自身は  
幸福でも  
身近な人が  
不幸に  
なったり  
して



苦しみを  
感じる  
場合です

ここには  
おぼろげ  
ながら  
菩薩の  
生命が  
出ています

え？

肉親の  
病気は  
自分自身の  
肉体的な苦悩と  
直接は関係  
しません

いちおー  
別の生命  
なんだから

しかし  
肉親の  
苦しみは  
たしかに

自分自身の  
しあわせも  
うばって  
しまいます

よほどの  
利己主義  
者で  
ない限り  
そうだ  
よね

人としての  
尊い  
愛情です

自分とは  
べつの生命の  
苦しみで  
あるはず  
なのに

自己の  
生命が  
はっきりと  
苦しみを  
感じている

仏法は  
これを  
「同苦」と  
いいます

話が  
どんどん  
幸福から遠ざかる  
じゃありま  
せんか

だから

そこから  
行動が  
はじまる  
わけです!!

なんとかして  
この苦しみを  
すくって  
あげたいと  
思ったとき

苦をのぞき  
楽を与えよう  
とする  
実践が  
はじまる!

拔苦  
与楽

二乗の自分本位な  
「考える」だけの  
生命をのりこえた

他人の  
しあわせの  
ために  
もつと積極的に  
「行動」しよう  
という生命が  
わき上がって  
くるのです!!

はあっ

たとえば  
こういう話が  
ありました



年老いた  
母が  
不自由な目で  
ぬいものを  
しているのを  
見た少年が

世の中には  
お母さんと  
同じような  
つらい思いを  
している人が  
たくさんいるに  
違いない



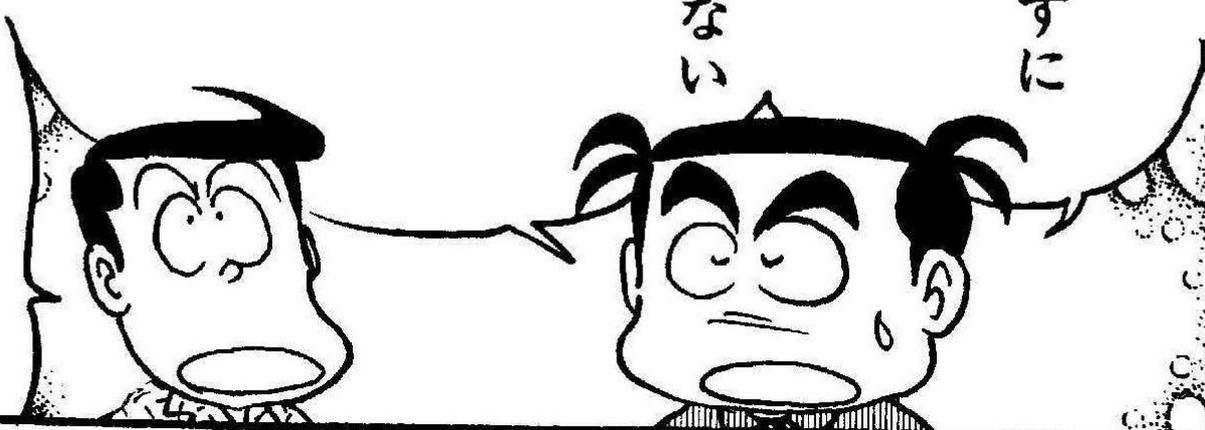
その人たちに  
何とか  
樂をさせて  
あげたい  
.....

ここで  
大事なことは

この少年は  
しらずしらずに  
自分の母親  
だけでなく

あつたこともない  
無数の他人の  
苦しみとまで  
一体となつて

「同苦」  
していると  
いう点です



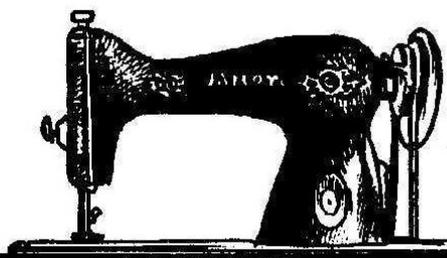
立派な  
生命だなあ.....

この少年が  
大きくなって  
ミシンを  
発明したと

子供の頃  
何かの本で  
読んだことが  
あるけどね

歴史的な  
真偽は  
ともかく

胸を打つ  
美しい  
エピソードです



母の苦勞を  
見たことが「縁」と  
なって

自己の  
人格を  
向上させて  
いったのです

自分の幸福を  
追っかけたわけじゃ  
ないのに

自分の  
英知が  
輝いて  
いったの  
です

あつ

世のため、  
人のために  
したことが

それがすべて  
自分自身を  
磨くことに  
つながり

エゴをのりこえて  
不動の  
自己完成にも  
つながって  
いくのです  
!!

わしっ  
考えてみれば  
不思議だなあ

人々のために  
社会のために  
働くことによつて

みずからの  
人格を  
高めゆく  
気<sup>け</sup>高<sup>たか</sup>い生命

これが  
九番目の  
菩薩界  
です!!

たしかに  
これまでにない  
立派な生命  
だなあ



これが  
最高みたい  
に思える  
けど……

いや  
これもまだ  
菩薩の生命の  
一分<sup>いちぶん</sup>に  
過ぎ  
ないの  
です

やっぱり  
まだ上が  
あるのか……



# 第七章 十界論(4)

## 〈菩薩の生命その①〉



菩薩の生命に  
ついての  
つづきです

他者の苦しみを  
自分の苦しみに  
して  
「同苦」  
したとき

苦を抜き  
樂を  
与えたい  
(抜苦与樂)と  
いう生命が  
ふつふつと  
わきあがり

それが  
そのまま  
「利他」の  
実践に  
つながっていく  
.....

無数の  
人々を  
慈しみ

人々のため  
社会のために  
自分の命を  
使っていく  
尊い生命が

十界の  
九番目  
菩薩界の  
生命です

う~~~~ん  
でもまだよくわから  
ないなあ……

なにが？

しなくても

いい

苦勞まで

しちゃう

わけでしょ

自己犠牲

としか

言いようの

ない

自分を

わざわざ

不幸、苦しみの

なかに

追いこむような

行動が

どうして

自分の幸福に

つながって

いくのさ

うん

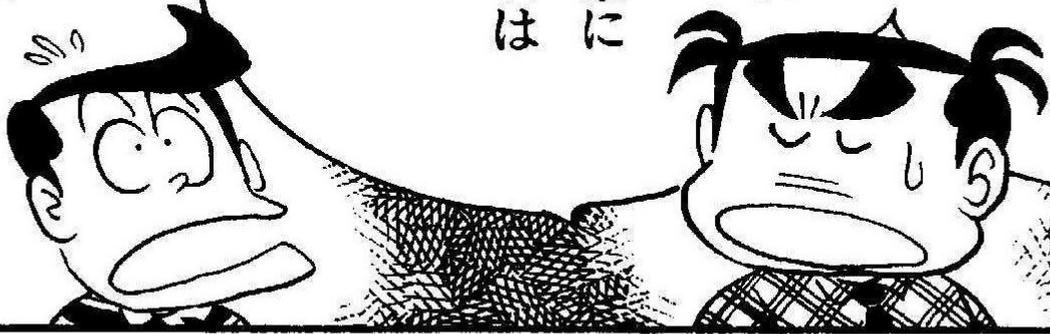
ちよつと考えると

矛盾してるよね

たしかに  
感情のみに  
走った  
根の浅い  
慈悲心は

自己満足に  
過ぎず  
不幸な結果に  
おわることは  
よく  
あります

あ  
やっぱり

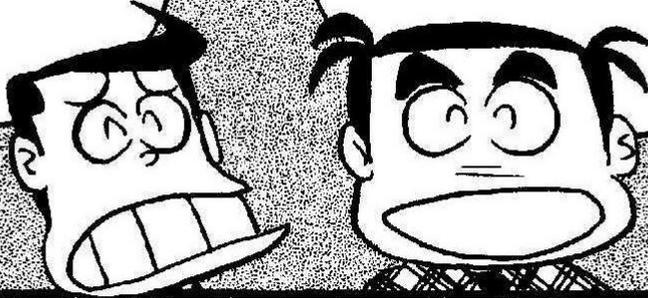


そうならない  
真実の  
菩薩界の  
生命は

この仏法を  
根底にしたとき  
はじめて  
可能に  
なるのですが

それは  
あとで  
くわしく  
述べる  
として

また  
おあずけ  
か

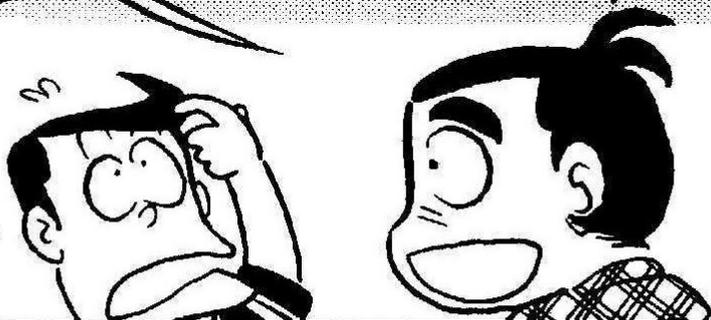


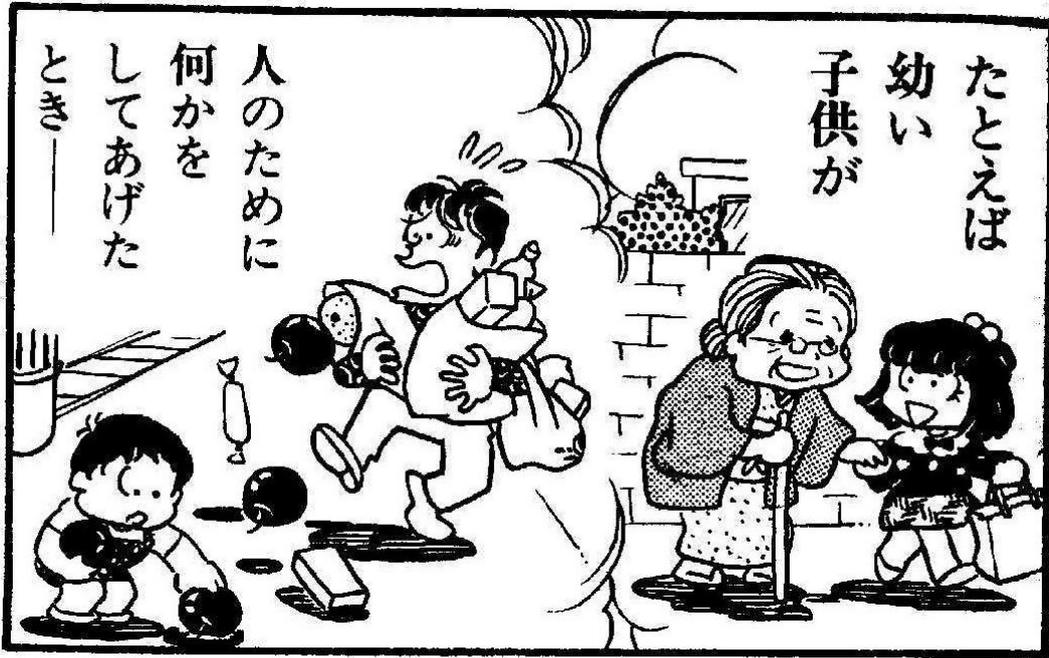
一般的に  
言っても  
「利他」の行動が

生命の  
歡喜に  
つながると  
いうのは

誰にでも  
そなわっている  
自然な  
感情だよ

そう  
だっけ…?





喜んでくれる  
人が  
いるとき

「働きがい」や  
「生きがい」が  
わいてくると  
いうのは

たしかに  
不思議でも  
何でもない  
あたり前の  
感情だね

でしょ

逆に自分の

幸福しか

考えない

「利己主義者」

自分だけの  
富や平安を  
求めている  
人が

はた目にも  
あきららかに  
ちっほけで  
みじめな  
存在だと  
いうことが……

これもたしかに  
よくわかるよ

日頭宗  
とみ

せあ  
くく

あわれ

「利己主義」と  
「みんくいは  
同義語だ  
もんなア

利己主義が  
人間を  
どんどん  
小さくする  
みにくく  
する！

逆に

利他の一念は

生命を磨き

至純しじゆんの喜びを

わき上がらせる

!!

うーん  
たしかに  
そうだけど  
どうして  
なんだ  
ろう？

だって  
この姿は



前に

勉強した

十界の

「がき餓鬼界」

だもの

あ  
そう  
だった

真の幸福を  
得られなかった  
これまでの八界は  
結局

① 地獄界じごく

② 餓鬼界がき

③ 畜生界ちくしょう

④ 修羅界しゆら

⑤ 人界にん

⑥ 天界てん

⑦ 声聞界しょうもん

⑧ 縁覚界えんかく

「自分だけの

幸福」を

追求している

姿じゃ

ないか!!

あーっ

他者を  
救おうとする  
菩薩界の  
生命は

自分の  
利己心への  
真つ正面  
からの  
戦い  
なのです!!

わ  
~~~~  
~~~~

このとき  
自己の生命は  
はじめて

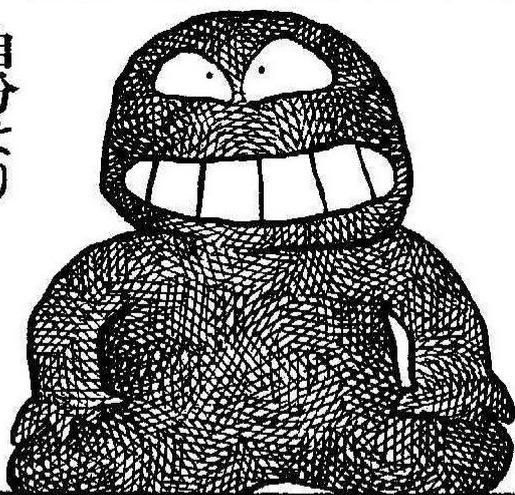
自分という  
小さなカラを  
打ち破って

どこまでも  
行き詰まりのない  
優れた存在と  
なっていくことが  
できるのです!!

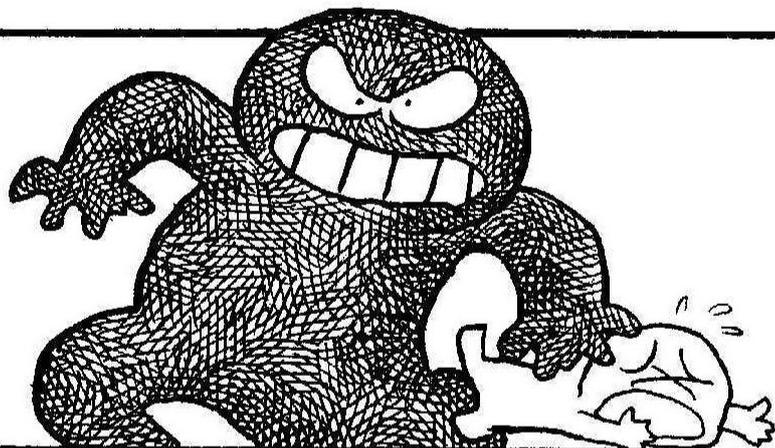
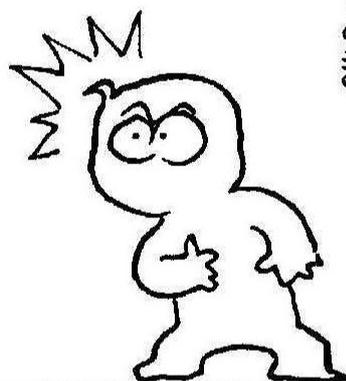
自分が一番  
かわいくて  
守りたい  
あいだは



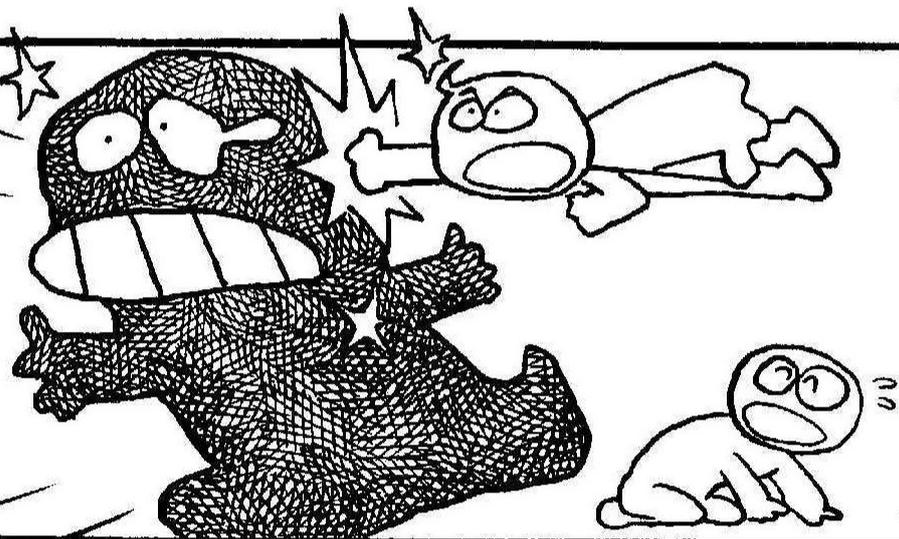
自分より  
強いものに  
打ち勝つことは  
できません



しかし  
利他の一念が  
わき起こった  
とき



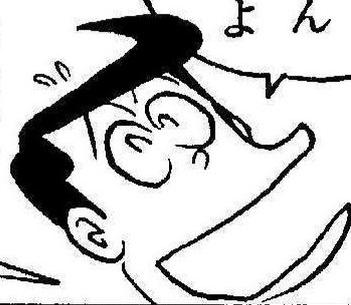
はじめて  
より強い敵に  
立ち向かう  
勇気と力を  
自分の中から  
引き出すことが  
できるのです



こういう絵に  
したからって  
腕力で勝てと  
言ってるんじゃない  
んだよ



それは  
もちろん  
わかるよ



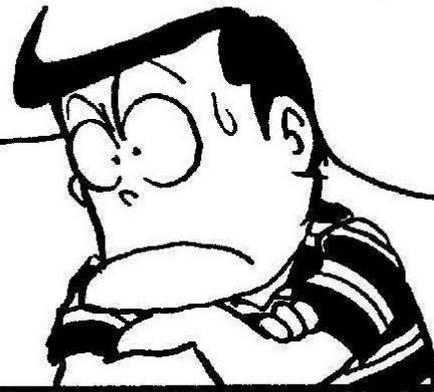
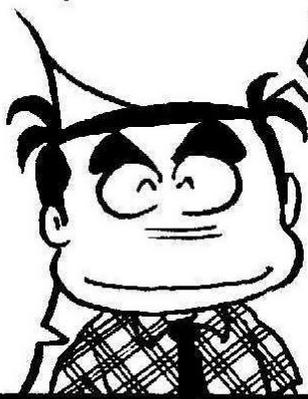
敵に勝つとは  
まず自分に  
打ち勝つこと  
だったんだ

利他の  
実践とは  
自己犠牲  
のように  
とらえがち  
だけど

実は  
自分を  
本当に  
大切に  
している  
ことだと

やっと  
わかって  
きたよ……

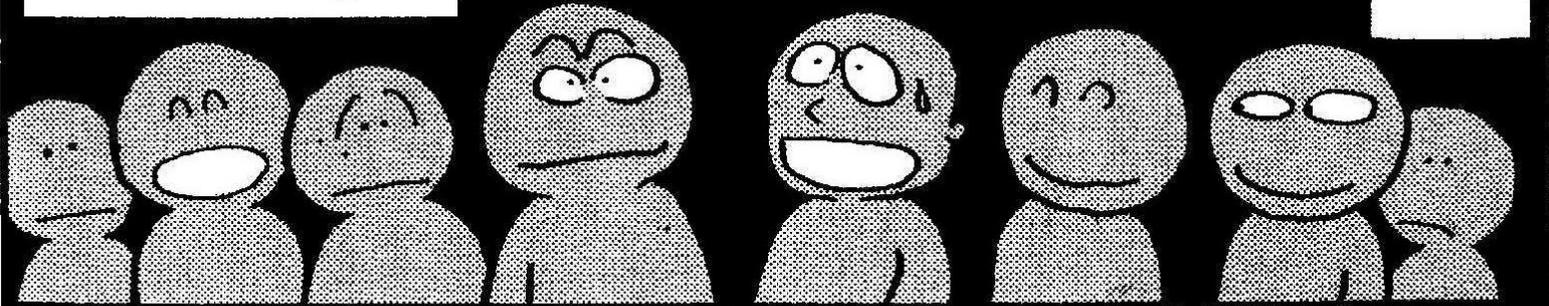
しかもこれは  
相手を尊敬する  
姿なんだよ



日蓮大聖人  
は

他の人の  
成長を  
願わず  
ただ  
表面で  
仲よく  
するのは

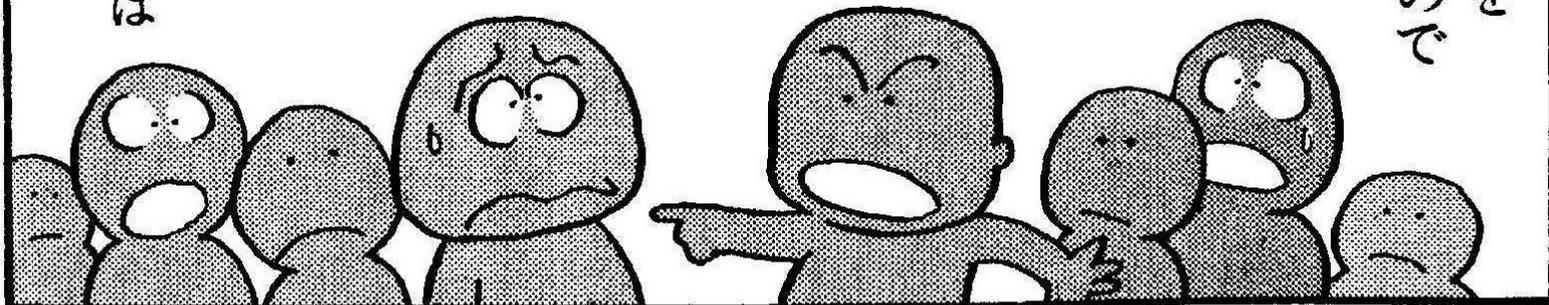
その人の  
敵かたみになるのと  
同じことで  
ある——と  
述べられて  
います



相手の幸福を  
心から願うので  
あれば

たとえ  
自分の  
立場は  
悪く  
なろうと

その人の  
まちがいを  
きちんと  
指摘して  
あげなければ  
無慈悲です





自分の中にも  
他人の中にも  
潜ひそんでいる  
魔性まじょうに挑戦し  
打ち破って  
いける人

それを  
菩薩と  
いいます  
!!

ある仏典に  
菩薩とは  
勇猛ゆうもうなり  
とあります



こうした  
実践を  
通して  
勝ちとった  
知恵は

自身をきたえ  
みがいた  
生命の奥から  
かがやいてくる  
深い思索しそくと  
洞察とうさつで  
あるため

ともすれば  
観念くわんねんに  
溺れおぼがちな  
二乗の知恵より  
はるかに深い  
するどいもので  
あるといえます

戦う人  
だけが  
つかむことの  
できる英知  
!!

どこまでも  
強く  
かしくく  
なれるんだ  
ね〜

別な  
言い方を  
すれば

菩薩の生命が  
二乗にじようの知恵を  
よりよい方向に  
向かわせていく…  
とでもいおうか

仏典に  
文殊菩薩もんじゆ

とか  
薬王菩薩やくおう

と  
いろいろな菩薩が  
出てくるよね

あ  
聞いたこと  
ある

普賢菩薩ふげん  
なんてのも  
いるよ

あれは  
「二人寄れば  
文殊の知恵」と  
いうように

菩薩の知恵を  
擬人化ぎじんかして  
あらわした  
ものだし

薬王とは  
その名の通り  
人を心身の  
病苦から救う力を  
あらわした  
ものです

あ〜〜  
そうなのか!?

普賢とは  
学理の  
ことです

だから  
さつき述べた  
ミシンを  
発明した  
少年などは

普賢菩薩の  
働きが  
あらわれて  
いる——とも  
いえるんじや  
ないかな

わあ~~~~  
そうなの  
か~~~~

このように  
仏典に説かれた  
菩薩たちは

利他の生命の  
いろいろな働きや  
そのあらわれ方を  
擬人化したもの  
です

ですから  
こういう菩薩を  
まつつていける所へ  
拜みに行っても  
ご利益はありません

しらな  
かった……

あ  
やっぱり

ともあれ  
菩薩の生命は  
どんな人でも  
持っています

ですから  
それを  
正しく  
引き出す  
方法を  
知らねば  
なりません

えっっ  
誰でも  
持っているの  
!?

悪人でも?

日蓮大聖人は

生まれて以来

一度も

反省したこと

ないような

極悪人で

あっても

妻子を

愛したり

する

これは  
菩薩の生命の

一分が

あらわれて

いるのであると  
のべられて  
います

はあ

さらにいえば  
こうした類の  
愛情は

自然界には  
さまざまな  
形で  
見ることが  
できます



わ  
人間だけの  
専売特許じゃ  
なかつたんだ

では  
より気高い  
菩薩の  
生命とは？

それに  
ついては  
次章で  
述べたいと  
思います

一体  
どんなの  
だろう……



# 第八章 十界論(5)

## 〈菩薩の生命その②〉

「女は弱し  
されど  
母は強し」  
という

有名な  
言葉が  
あるね

母の愛は  
まったく  
無条件な  
ものだからです

だから  
限りなく  
強くなれるの  
です



昔  
「終身犯」という  
実話を元にした  
アメリカ映画が  
ありました

主人公は  
欲望のままに  
あらゆる  
悪事を  
重ねてきた

心のすさみきつた  
人物です



嵐の夜  
独房に  
傷ついた小鳥が  
迷いこんで  
きます

退屈で  
することのない  
彼は  
この小鳥を  
かまっています



パンを  
与え  
世話を  
続け  
数週間が  
たち



小鳥が  
死にそうに  
なった時  
彼は徹夜で  
看病を続け

俺は  
死んでも  
いいから  
こいつだけは  
助けてやりたい

と  
叫びます



小鳥が  
助かったとき  
彼はこれまで  
味わったことの  
ない喜びに  
ふるえます





やがて彼は  
独房で許される  
限りの  
花や動物を  
育て始め

そのための  
研究書も  
差し入れて  
もらい

同好の人と、  
文通が  
始まり  
相談役にもなり  
動植物に  
ついての  
論文を  
発表します



罪は罪です

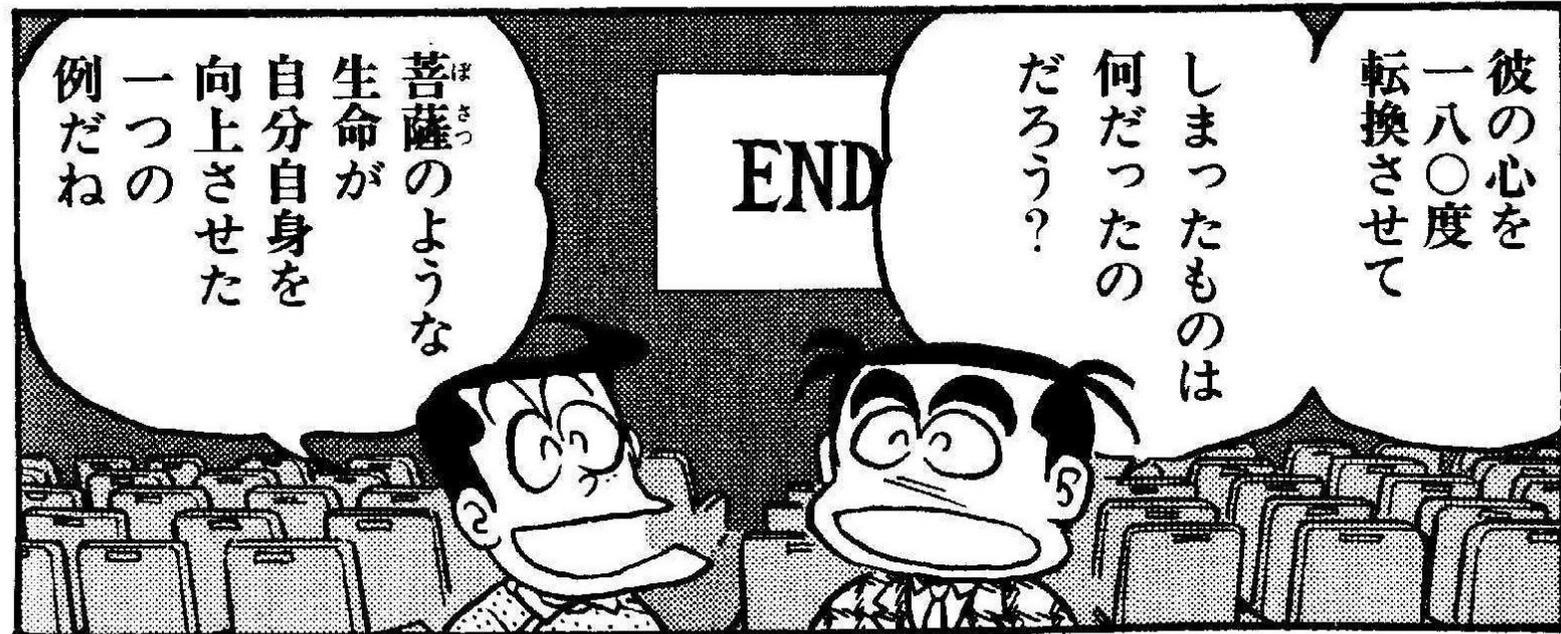
しかし  
今の私は  
この大空の  
ように  
自由です……

そうやって  
他州の刑務所に  
送られる所で  
この映画は  
終わります



牢の外では  
彼の減刑運動が  
始まりますが

主人公は  
さほど  
興味を  
示さない  
ようです



彼の心を  
一八〇度  
転換させて

しまったものは  
何だったの  
だろう？

END

菩薩ぼさつのような  
生命が  
自分自身を  
向上させた  
一つの  
例だね

人のために、  
他の生命のために  
尽くしていこう  
とする

菩薩の生命の  
一分はだれもが  
もっている  
気<sup>けだか</sup>高い生命です

であればこそ  
それを正しく  
用いていく  
法を知らねば  
ならない  
……

という  
所まで  
前章で  
述べました

美しい  
心なら  
それで  
いいんじゃない？

いまの  
物語  
みたいに  
……

悪い点  
なんか  
ないじゃ  
ない

今の映画は  
それが  
良い方向へ  
あらわれた  
例として  
取り上げた  
ものです

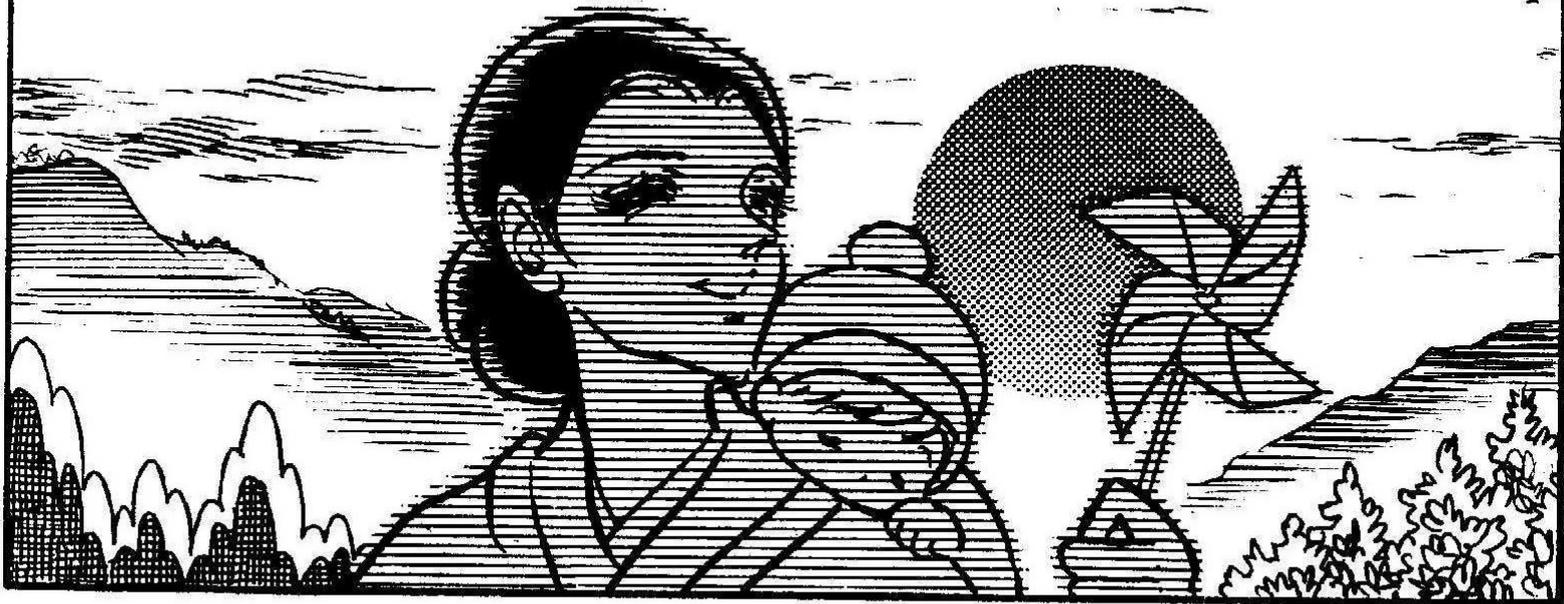
必ずしも  
こうは  
いけない所に  
問題が  
あるのですっ

えーっ  
たとえば  
どんなふうによ？

# 母親の愛

これも  
たしかに  
無条件で  
美しい  
姿です

母は  
子の幸せの  
ためであれば  
どんな労苦も  
いとわない  
ものです



しかし  
仏典  
には

母親が  
自分の子供を  
盲愛するあまり  
他人の子を  
つぎつぎと  
殺していく

恐るべき  
生命の  
魔性

鬼子母神の  
姿も  
説いています



ぎええ

極端な例を  
ひとつ  
あげましょう

太平洋  
戦争のとき  
軍部は  
兵士たちに

お前たちの死が  
祖国を護り  
父母や兄弟の命を  
救うのだ…と説き、  
信じさせて

彼等を  
死地へ  
向かわせて  
いったのです

わーっ

まちがった  
思想や  
権力は

若者の  
純粹な  
菩薩的  
生命  
すらを  
利用し  
ねじ曲げ

修羅界に  
たたきこんで  
いったの  
です

恐ろ  
しい

わずか  
数十年  
前の  
現実  
だよ…

いまでも  
いくらでも  
あるよ

十八世紀  
前後  
ヨーロッパの  
宣教師  
たちは

人々を  
救い導く  
理想に  
もえて

多くの国へ  
旅だつて  
いきました



現地の人に  
誤解されて  
殺されたり  
疫病に  
苦しんだり

あらゆる  
不自由、  
死の危険を  
承知の  
うえで  
宣教師は  
奥地へ  
進んで  
いきました

その精神は  
たしかに  
崇高なものが  
あったのです



しかし  
原住民が心を  
ゆるし安全に  
なったころを  
見計らつて  
軍隊が送られ

人々を  
奴隷にし  
掠奪し  
土地を奪つて  
いったのです



ついには  
これが  
ヨーロッパ人の  
植民地政策の  
パターンに  
なり

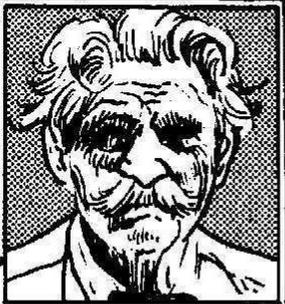
それを  
目的にした  
宣教師を  
送りこむ  
までに  
なったのです

ううう  
許せない  
なあ~~~~

でもそれは  
昔の  
話でしょ？

必ず  
しも  
悪いこと  
ばかりとは  
限ら  
ないんじや

もちろん  
シユバイツァー  
博士などの  
例はあるし



それは  
それで  
なかなかできる  
ことではないで  
しょう

しかし  
こういう  
話があります

ある国で  
人々が  
何もせず

無気力な  
生活を  
送っていて  
そのことを  
聞いただと

昔は  
みんな  
勤勉な  
国民  
だったの  
ですが

宣教師たちが  
食料でも何でも  
与え続けたのです





おかげで皆  
働く意欲を  
失って  
しまったの  
です

恨んでは  
いけない  
ことかもしれ  
ませんが  
しかし  
……

利他<sup>りた</sup>の精神に  
投げかけられた

痛烈な

おとし穴が

あります

……



人を  
墮落<sup>だらく</sup>に  
導くことさえ  
ありうると  
すれば  
……

菩薩の生命  
そのものの  
否定にすら  
つながってしまう……



いったい  
どうすれば  
いいと  
いうのだ  
っ

さらに  
与える  
ものには  
限界が  
あります



人々に幸福を  
与えたい  
人のために  
尽くしたいと  
いうのが

菩薩の生命の  
根本では  
ありませんか!!

そ  
それが  
……

十九世紀はじめ  
大坂奉行で  
大塩平八郎と  
いう  
陽明学者が  
いました

彼の思想を  
ひとことで  
述べれば

正しいと  
思ったことは  
即実行  
しなければ  
意味がないと  
いう学問です



天保の飢饉が  
起こり  
彼は大切な  
蔵書もすべて  
売り払い  
金や米に  
かえて人々に  
与え続けます

しかし  
それは  
たちまち  
底をつき

大塩  
平八郎は  
苦しみ  
ます



幕府の政策も  
あてにできない

豪商は  
米を貯え  
金もうけを  
たくらむ  
ばかり  
……

息子  
行動  
あるのみ  
……





彼は同志とともに

決起し

米間屋などを

襲撃します

万民救助

むろん

暴動は

たちまち

鎮圧され

彼自身も

潜伏先で

火を放ち

自害しました



市街戦で多くの人が死に大阪の人々の五分の一角が焼け出されました

彼の救民行動は逆に おびただしい被害者を出してしま

人々を救うはずだったのに

流血はまず かつた よね



私たちはより確かな解答を求めねばならない

彼は一体何が間違っていたのか?

わ わ わかりませ



暴力はいけない それはそうです しかし 彼の精神には 学ぶべき点多い!!

彼に頭を上げた

人類の歴史は  
よい方向で  
あれ  
悪い方向で  
あれ

大きな  
形であれ  
小さな  
形で  
あれ

常に  
こうした  
ジレンマが  
繰り返されて  
きたのです

それは  
わかる  
……

ホントに  
平和な  
時代なんて  
どこにも  
ありやしない

例外を  
あげるならば

アソカ王  
時代の  
インドは☆

仏法の  
平和思想を  
取り入れ  
戦争を放棄し

いつさいを  
外交使節の  
話し合いで  
解決しています

へえ〜っ

ここで注目  
すべきこととして  
この間  
池田先生が  
識者との対談で  
述べていました  
ように

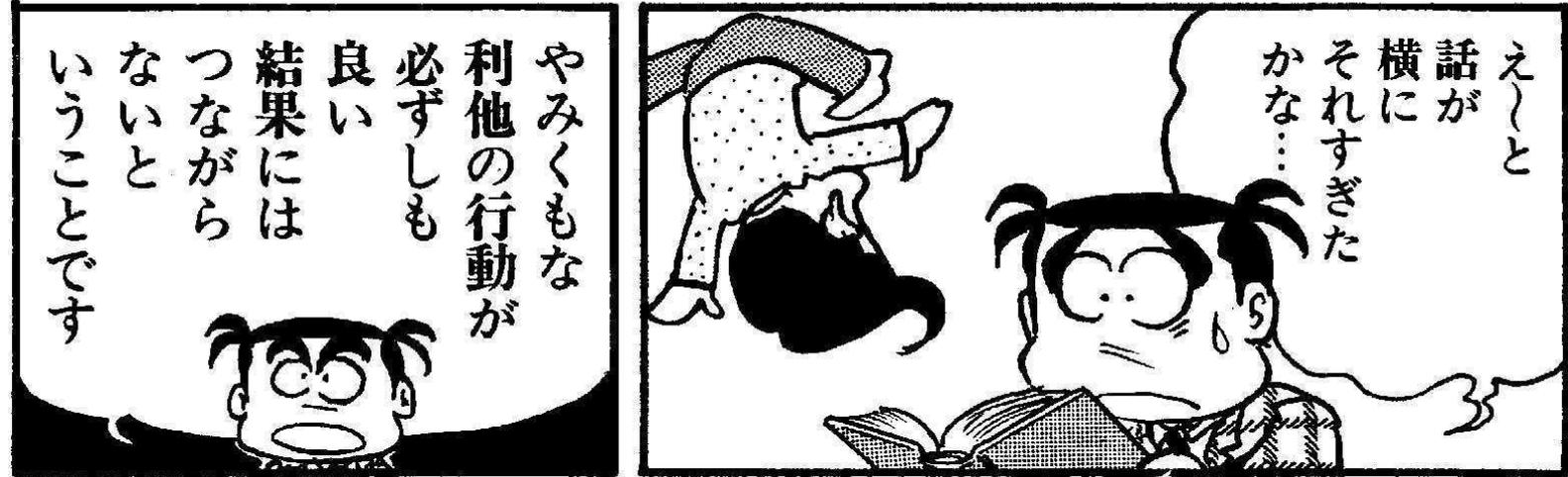
「歴史上  
仏教国が  
宗教戦争を  
起こしたことは  
一度もない」  
ということでは

わ  
わ  
わ  
ホントだ



えーと  
話が  
横に  
それすぎた  
かな...

やみくもな  
利他の行動が  
必ずしも  
良い  
結果には  
つながら  
ないと  
いうことです

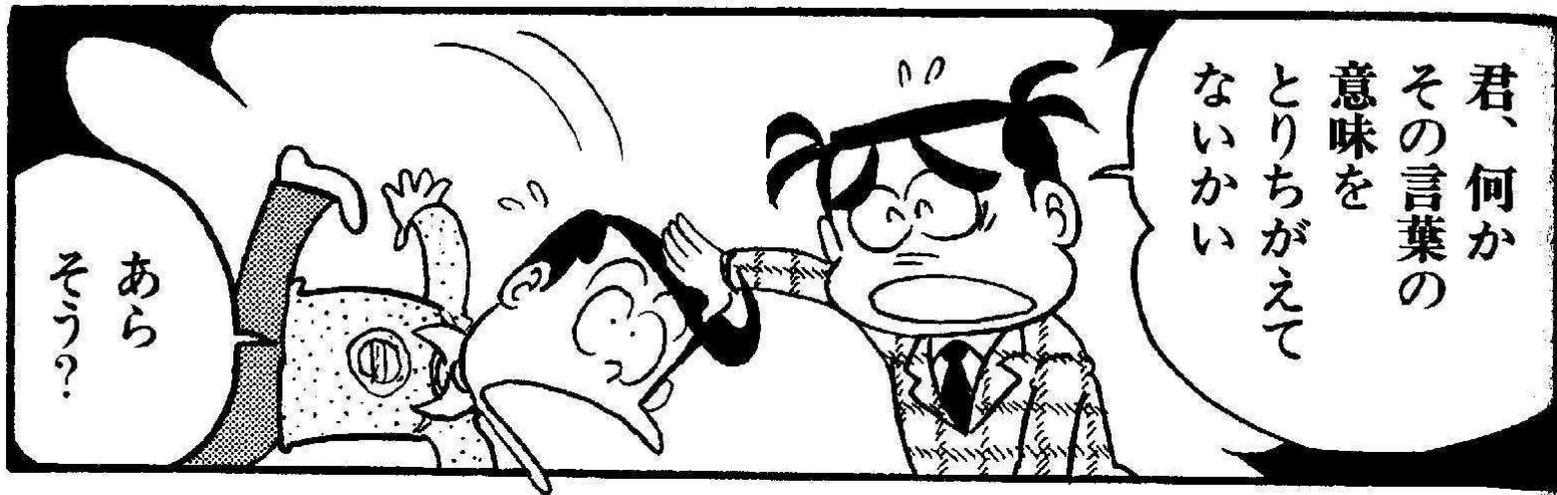


鬼子母神きしもじんの  
物語のように  
特定のものに  
向けられた  
愛情が  
他の不幸を  
招くことも  
あるし

与えつづける  
「もの」には  
限りがあり  
根本的な  
救いに  
ならない……

「情けは人の  
ためならず」  
なんて言うよね





君、何かその言葉の意味をとりちがえてないかい

あらそう?



その人のためにしてあげる行いは

決して他人だけのためになるのではなく

それは自分自身のためもあるのだ

というのが本来の「情けは人のためならず」です



「甘やかすと相手をだめにするから情けをかけるな」と

かんちがいする人が多くて困ったものです

そうだったのか……



さっきの「終身犯」ははじめ前章から主張してきたことだね

そうですそれが最近

創価学会  
自体が  
長年に  
わたって

離島をはじめ  
全国の  
学校への  
図書への贈呈  
運動

国連に協力した  
難民救済  
募金や  
物資援助  
e t c e t c . . .

広範囲な  
福祉活動を  
くりひろげて  
います

わあ~~~~

仏法は  
ボランティアを  
否定してる  
わけじゃ  
ないんだ

あらゆる経典が  
人のために尽くす尊さを  
たたえていますよ

すべての人を根本  
的に救っていくの  
が菩薩の行いで  
あり仏法の行動  
理念です

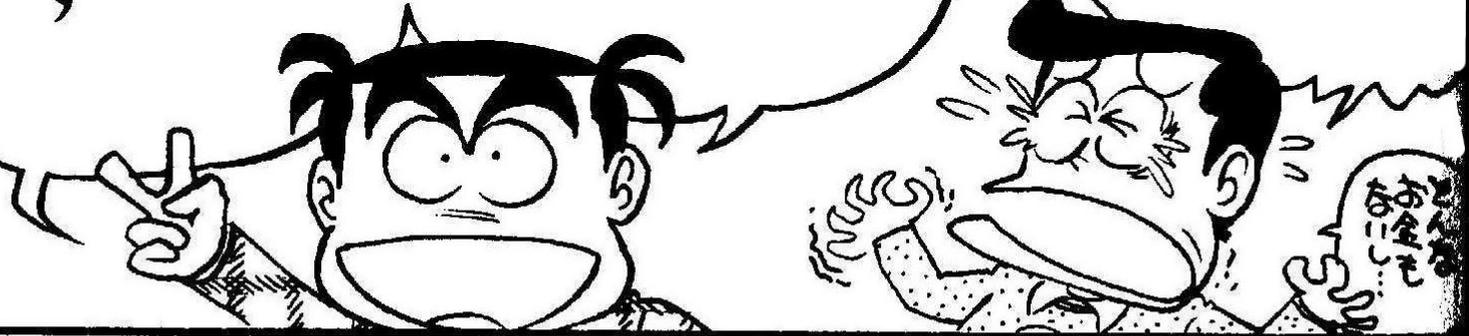
それを当然の  
こととした上で  
さつきから  
いろんなことを  
述べてるのヨ

うん  
そうだった  
のか~~~~

だけと  
つきつめて  
考えると  
大塩平八郎に  
なってしまうよ

物質的な  
財の布施  
には  
限界が  
あるから  
です！

布施には  
財と法の  
二つが  
あるのです  
!!



与えても  
与えても  
永久に  
尽きるものが  
なく

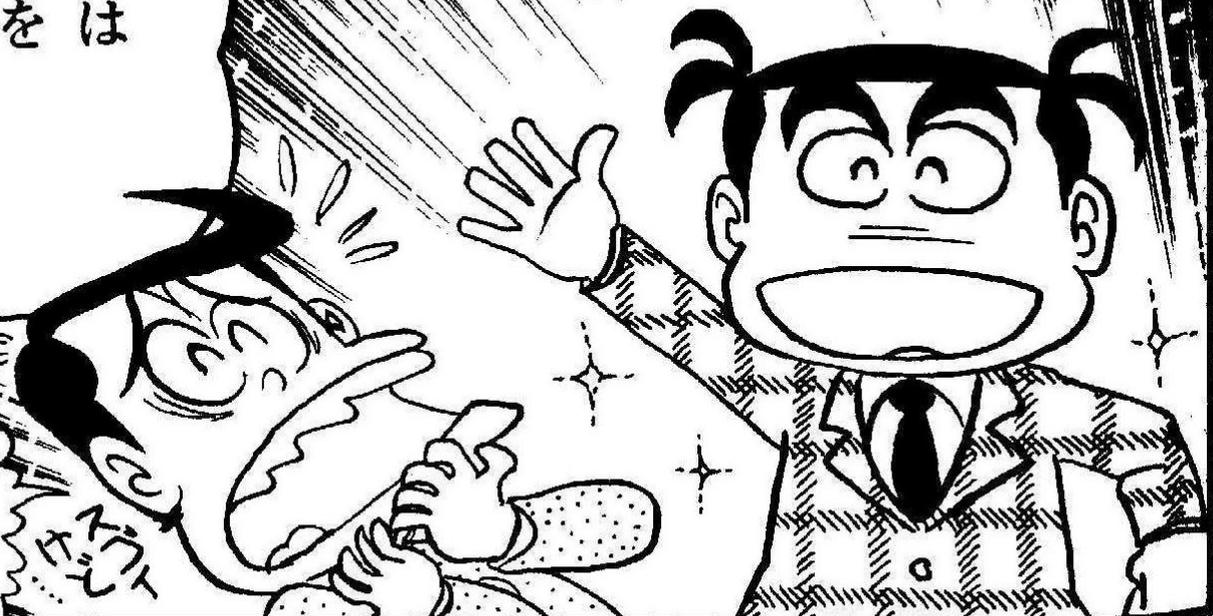
与えた方も  
与えられた  
方もともに  
根底から  
幸福を  
得ることが  
出来るもの!!

それを  
施すことの  
出来る  
菩薩が  
最高真実の  
菩薩です

誰に  
でも  
出来る

仏法は  
これを  
説き明かして  
いるのです!!

ひえ  
何だか  
わから  
ない



# 第九章 十界論(6)

## 〈仏界の生命〉

### 仏界

十界論も  
いよいよ  
結論部分に  
入っていきます

最高の境界  
—— 仏界とは  
いかなる  
ものなのか？

三乗

界界界界  
菩薩  
縁声

二乗

六道

界界界界界界界  
天人  
修羅  
畜生  
餓鬼  
地獄

四悪趣

うーん  
早く  
知りたーい



第一章 (20頁)

生命の奥底には  
無限大の  
生命力が  
具わっているとも  
述べているよ

宇宙と生命は  
一体です

自分の幸福  
だけでなく  
全人類を幸福へと  
導いていく

それを  
「仏」と  
いうのです

うーん  
たしかに

わあ~~~~  
死んだ人じゃ  
ないんだ~~~~

宇宙と私たちの  
生命に厳然と  
具わっている  
清浄な生命力

それを  
「仏界」といい  
南無妙法蓮華經  
というのです  
!!

その偉大な  
生命力を  
ぞんぶんに  
引き出して  
いけるのが  
この信心……

なる  
ほど

ひえ~~~~

生死をも  
超えて  
存在するもの

第二章 (35頁)

仏界を  
ひき出す  
方法も  
第三章で  
このように  
述べたよ



そうだった  
わすれ  
てたなあ



自分だけで  
出てこい  
出てこい  
って  
力んでも  
だめなんだ

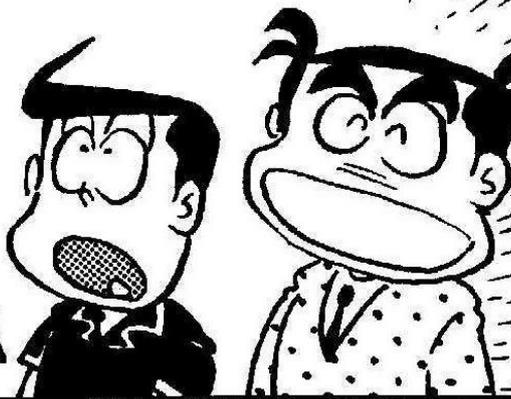


そう!

これまでの  
六つと  
同じように  
何かの縁に  
ふれれば  
出てくるん  
だ!!

その縁と  
なるものこそ  
末法の御本仏  
日蓮大聖人の  
あらわされた

この御本尊  
なのです!!



へえ

この真実最高の  
御本尊に題目を  
唱えゆくとき  
自分の中に  
眠っていた  
仏の生命が  
あらわれて  
くるのです

生命と  
生命の  
触発に  
よつてのみ  
偉大な  
人間革命が  
可能に  
なるのです  
!!

うーん  
そうだった  
のか



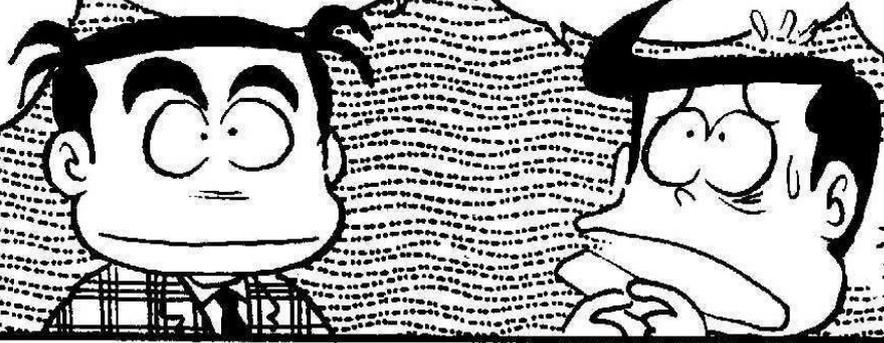


それは  
多かれ  
少なかれ

体験して  
知って  
いたから

声聞  
縁覚  
菩薩も

何らかの  
それに近い  
感情は  
経験は  
している  
からね



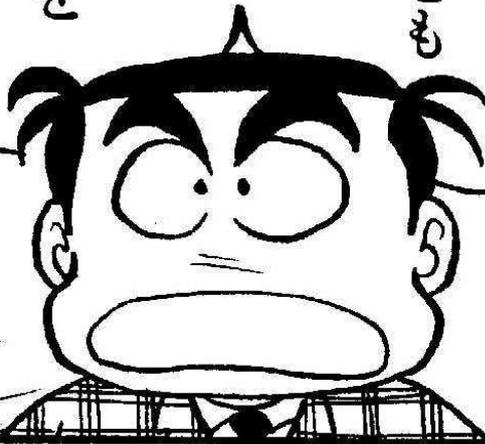
ちえっ

この章の  
最初に君が  
いみじくも  
言ったように

これまで  
見たことも  
感じたことも  
ない

「仏界」を

言葉で  
どうやって  
伝えれば  
いいのだ  
ろう

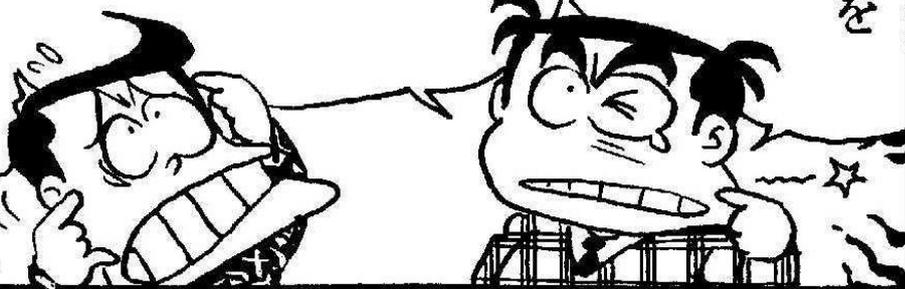


あ…

「痛い」思いを  
一度も  
したこと  
のない人

言葉で  
どうやって  
「痛い」を  
わからせる  
ことが  
できる  
？

えしつと  
えしつと





うーん  
だめだあ

「痛い」を

説明で

理解させる

ことは

できない

体験すれば  
イツパツで  
わかること  
なのにな

イヤな  
気分で  
それがもっと  
直接  
カラダに  
感じることで



南無妙法蓮華經

という

「真実の悟り」

「仏の生命」が

どういうものか

それは

「想像も

およばない

すばらしい

境涯」と

いうほかは

ないのです!!

うーん

凡夫とは仏法用語で「凡人」「ふつうの人」という意味です。

凡夫ほんぶに  
わからない  
からと  
いって

しかし

仏は  
説明なしに  
つっぱねて  
きたでしよつか  
.....

そんな  
ことは  
ありません!!

仏の  
大慈悲じひ心とは  
「いかにして  
人々に  
仏界の  
尊さを  
教えるか」  
という

一言に  
尽きると  
いっても  
過言では  
ありません

ある  
經典では  
釈尊は



自分自身が  
悟りを開いて  
いったときの  
内なる体験を  
ことこまかに  
明かしています

ある經典では  
民衆に  
仏をあこがれ  
のぞむ心(渴仰)を  
おこさせる  
ため

仏の生命を  
擬人化させた  
架空の仏を  
説いています



現実には  
存在しない  
仏さま  
なんだね

のちに  
釈尊自身が  
否定する  
仮の教えの中で  
説かれたものです

ある釈論では  
仏の具えた  
十種の福德を  
示しています

「仏の十号」と  
呼ばれる  
ものです



何だか  
よく  
わから  
ない

ある經典は  
仏の姿を

赤くもない  
白くもない  
あるのでもない  
ないのでもない  
……と



三十四の  
否定文で  
あらわしています

ますます  
何だか  
わから  
ない

法華經には  
地球の大きさ  
ほどもある  
巨大な  
宝で飾った塔が  
出現します

仏界という  
生命の尊さを  
このような形で  
人々に教えようと  
した——とも  
言えます



ある時は  
火宅から  
わが子を救い  
最高の宝物を  
与える  
長者の姿に  
たとえ

ある時は  
莊嚴な  
儀式の形を  
とり

ある時は  
あらゆる  
病を治す  
最高の名医に  
たとえるなど

ようするに  
八万法蔵と  
よばれている  
あらゆる  
仏典は

仏とは  
何かと  
いう

ただ  
その一点を  
説き明かす  
ための  
ものだとも  
いえるのです

わく  
そうだった  
のかく

そんなに  
あるんじゃない  
一生かけても  
勉強できない  
よ~~~~~

だから  
その心配は  
いららないん  
だつて

日蓮大聖人は  
「八万宝蔵も  
我が身一人の  
日記のような  
ものだ」と  
述べられているし

さらに

全宇宙の  
仏が説いた  
おびただしい  
經典も

「南無妙法  
蓮華經」の  
七文字に  
残らず  
ふくまれて  
いる——

という  
意味の  
ご文証もんしやうも  
たくさん  
あります

ひえっ

ですから  
私たちは  
どこででも  
お題目を  
唱えて  
信心すれば

理解する  
しないに  
かわらず  
仏界の生命が  
わきあがって  
くるのです

あゝ  
よかった

八万宝蔵の  
いたれり  
つくせりも

この  
最高の生命  
すなわち  
仏界を  
理論として説明  
したものである  
——という  
ことを

しつかり  
頭にいれた  
うえで

仏界を強いて知る  
ひとつの  
手がかりと  
して

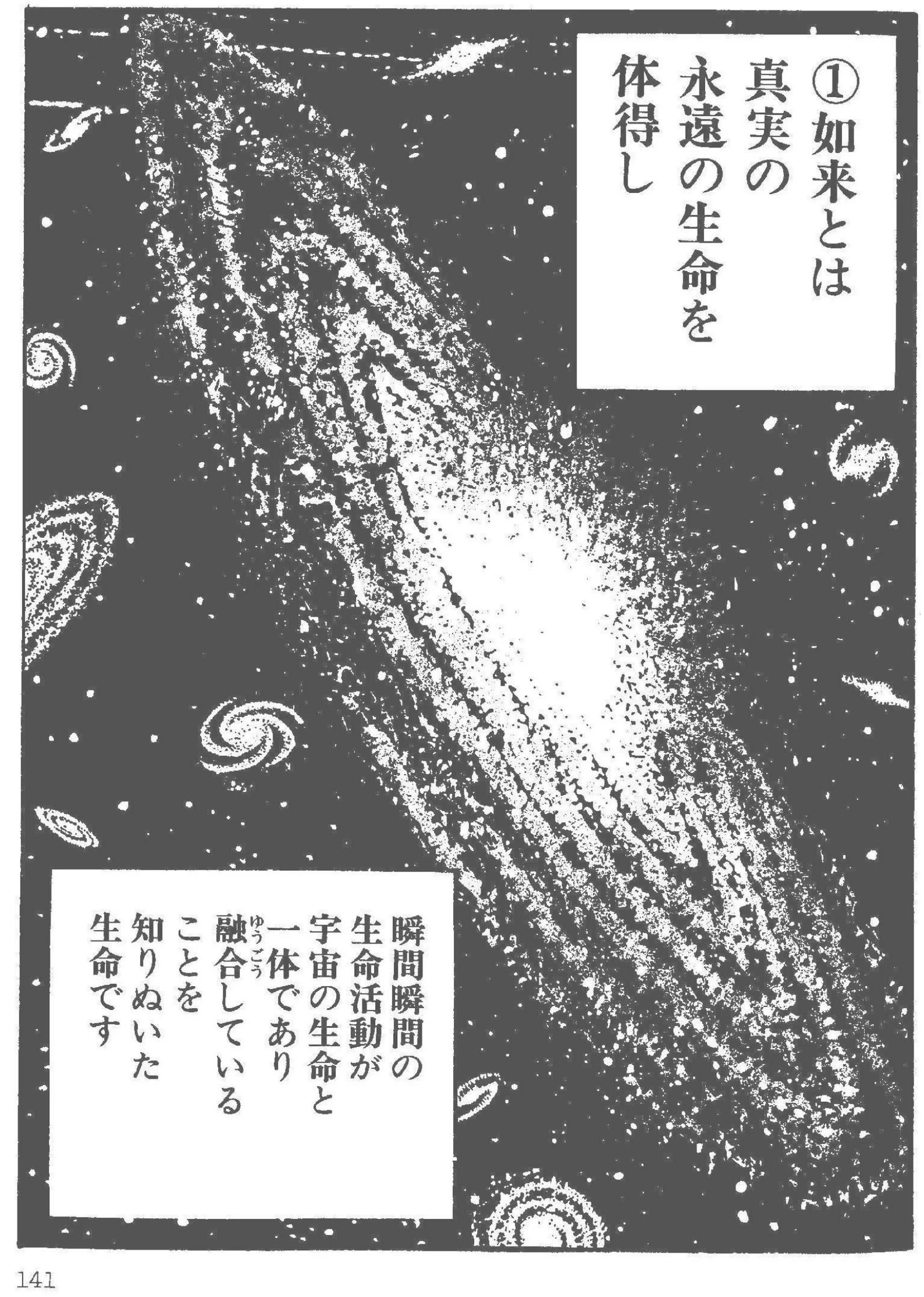
あくまで  
手がかり  
ですね

「仏の十号」を  
少し勉強  
してみましよう

それは  
十種類の  
仏のよび方です

- ① 如来 にょらい
- ② 応供 おうぐ
- ③ 正徧知 しょうへんち
- ④ 明行足 みょうぎょうそく
- ⑤ 善逝 ぜんせい
- ⑥ 世間解 せけんげ
- ⑦ 調御丈夫 じょうごじょうぶ
- ⑧ 天人師 てんにんし
- ⑨ 仏 ほとけ
- ⑩ 世尊 せそん

わ  
さつき  
の  
わかん  
ない  
やつだ



① 如来とは  
真実の  
永遠の生命を  
体得し

瞬間瞬間の  
生命活動が  
宇宙の生命と  
一体であり  
融合ゆうごうしている  
ことを  
知りぬいた  
生命です

② 応供おうぐ  
おうじゆくよう  
(応受供養)

人界、天界の  
人々の供養くようを  
うける資格が  
ある—という  
意味ですが

これは仏が  
人々の賛同さんどうを  
あつめ  
しぜんのうち  
に  
庶民の心に  
ささえられていく  
姿ともいえます

③ 正徧知しょうへんち  
は

このすべての  
衆生を  
平等に  
照らしゆく  
知恵です

一切を  
知りぬいた  
英知は  
あらゆる人を  
最高の境涯きやうがいに  
導くことが  
できます!

たつた三つ  
聞いても  
スゴいなあ〜





仏の生命の

④ 番目の特長

みょうぎょうそく  
明行足

明とは

あきらか

三世の因果を

あきらかに

見通すことが

できる——!!



三世  
って……？

過去世  
現在世  
未来世  
！！

わ~~~~っ  
それじゃ  
全部だーっ



仏とは  
三世を知って  
とりすまして  
いるものでは  
ありません

あらゆる  
善行を  
やりぬいて  
満足しきるのが  
仏なのです！！

わ~~~~っ  
そうだっ  
たの  
か~~~~



そのあとの  
行足は？

行動  
実践  
です  
です！！

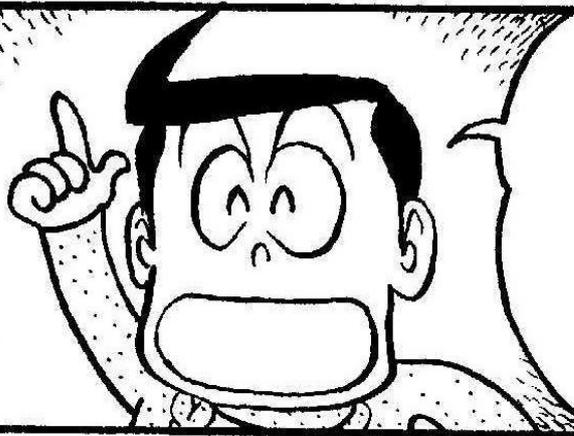
⑤ 番目

善逝 ぜんせい

無量の智慧 ちえ で  
煩悩 ぼんのう を断ち  
仏の境界に  
到達する  
生命です



煩悩を断つって聞いたコトあるよ



一切の欲望を捨てさることでしょ

それはとんでもないまちがいです



捨てるのではなく欲望を良い方向に向ける

アウフヘーベンと言つてもいいか



わ〜ドイツ語がこまった〜



欲望が  
なんにも  
なくなったら  
生ける  
屍しかばねです

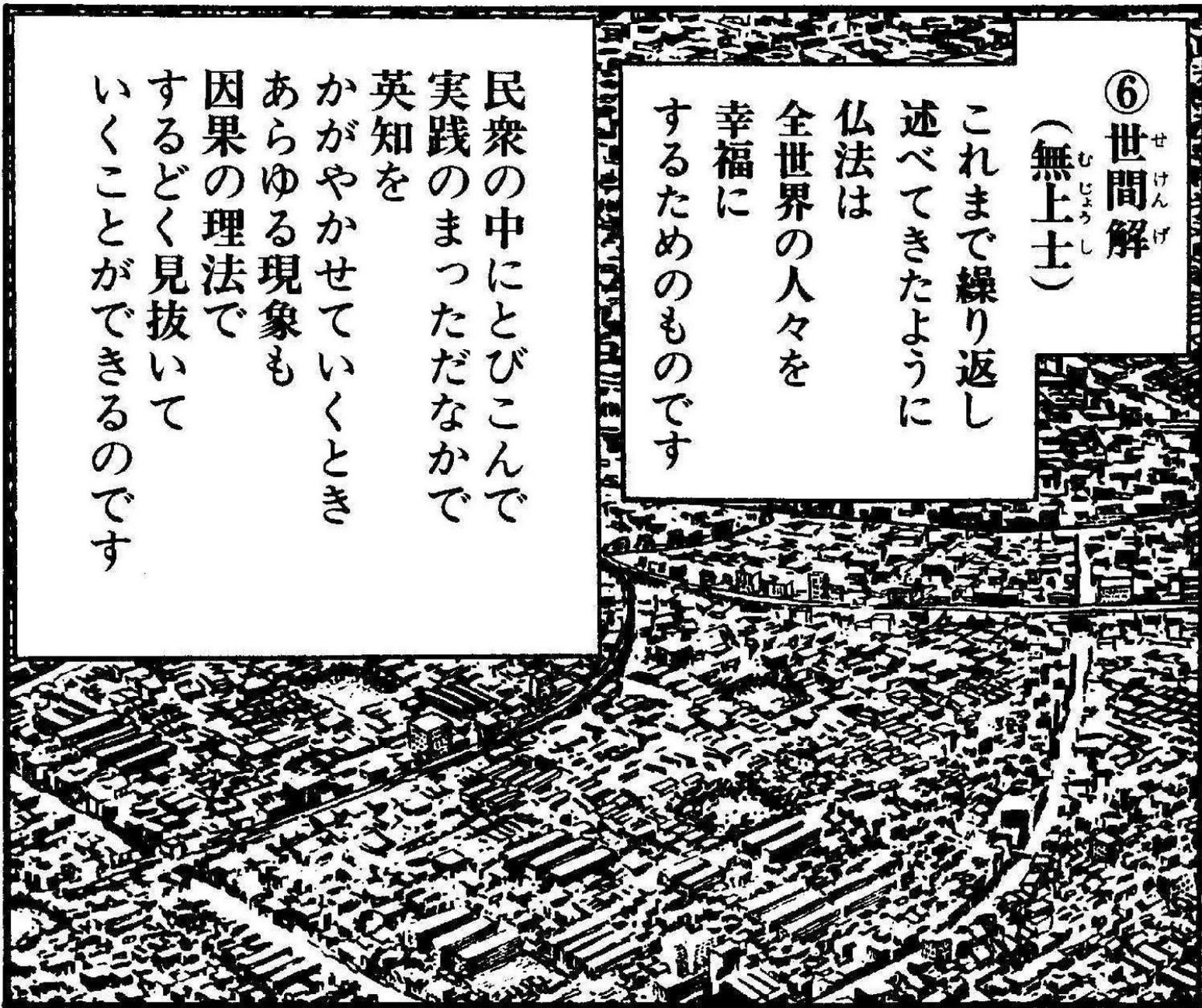
仏が  
心から  
ねがうことは  
すべての人が  
最高の境涯に  
達することです

わあ〜  
利己主義の  
欲望じゃ  
ないんだ〜

⑥ 世間解  
せけんげ  
(無上士)  
むじょうし

これまで繰り返し  
述べてきたように  
仏法は  
全世界の人々を  
幸福に  
するためのものです

民衆の中にとびこんで  
実践のまっただなかで  
英知を  
かがやかせていくとき  
あらゆる現象も  
因果の理法で  
するどく見抜いて  
いくことができるのです



大きくは  
宇宙も  
生命も  
森羅万象しんらばんしやうの  
すべてを

こまかくは  
世の中の  
あらゆる  
動き

政治・経済  
学問・教育  
などなど  
いつさい  
です



ひえ〜  
あらゆる問題を  
解決  
できそう〜

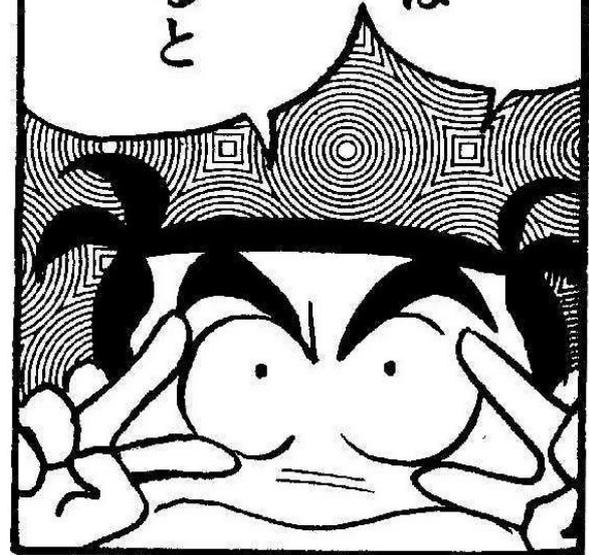
見抜く智慧ちえが  
あるということとは

解決していく  
力そなも具わっていると  
いうことですね

だから  
最も強い  
人

衆生しゆじやうのなかで  
この上なく  
すぐれていると  
いう意味で

無上士とも  
いうのです



なる  
ほど……

⑦ 調御丈夫 じょうご じょうぶ

大丈夫の  
力を  
そな具えている

大丈夫  
って  
いうと……

ダイジョーブ  
ダイジョーブ  
っていう  
あれのこと？

「安心  
しなさい」  
くらの  
意味の

今は  
そういう  
使われかたを  
している  
けれど  
本来は

大いなる  
丈夫の  
力!!

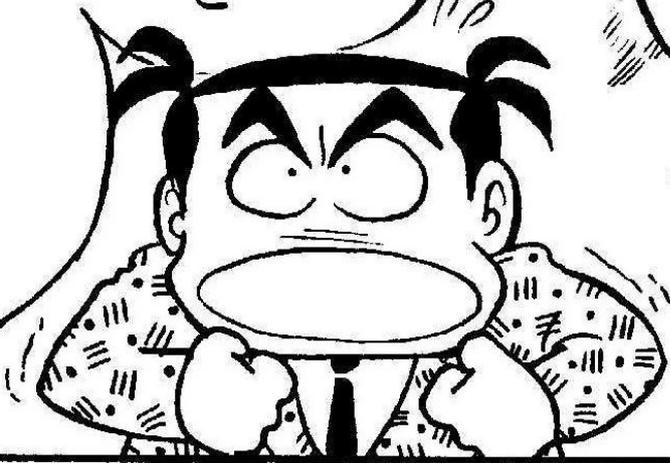
仏の丈夫の力は  
一切衆生を  
幸福へと  
みちび導いていく  
力です

大きな  
力だ  
なあ~~~~

私は智慧と  
勇気を  
もって

利他の  
実践を  
していくと  
同時に

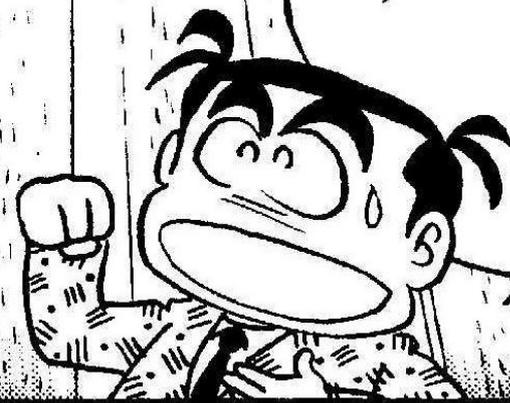
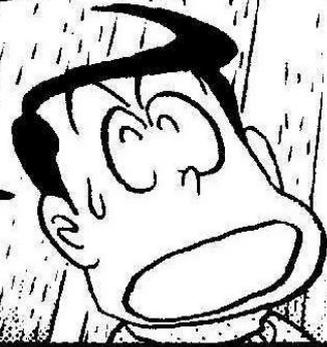
自分自身の  
中に存在する  
魔性の生命をも  
打ち破る力を  
発揮して



自己の生命を  
限りなく  
清らかなものへ  
高めて  
いくのです

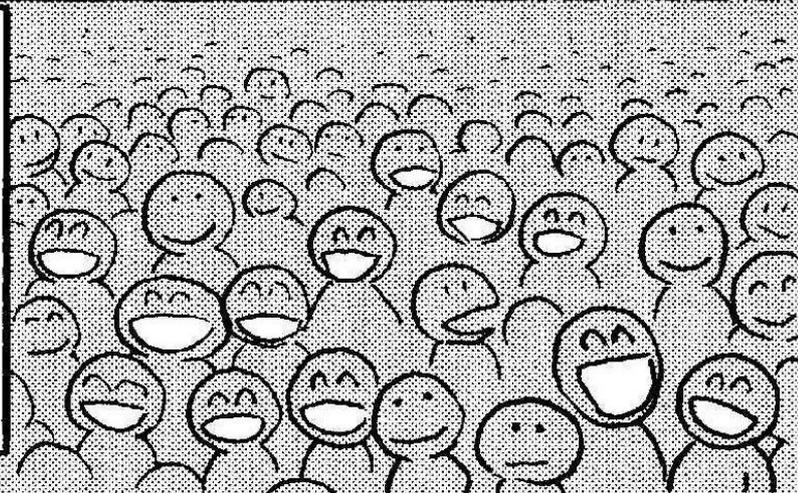
あらゆる  
生命を  
変革  
していく  
エネルギー

ものすごく  
丈夫だ  
なあ……



# ⑧ 天人師

天界や  
人界の人々を  
導いていく  
指導者



天界とは  
指導者たちとか

人界は  
庶民という  
とらえ方も  
できます

指導者を  
指導していく  
ことが  
できる  
わけか……

世界の  
指導者  
たちの  
立場的  
な……

もちろん  
生命として  
とらえて  
いくとき

指導者や  
庶民が  
別々に  
わかれている  
わけでは  
ありません

ですから  
あらゆる  
立場の人々と  
考えることも  
できます

ですから  
天人師とは

あらゆる  
すべての  
人々を  
リード  
していける  
人と  
いうことに  
なります

一人  
のこらず  
なのか

ただし  
このように  
指導者  
とか  
師と  
いっても



なにか  
特別な  
宗教的身分に  
ついていると  
いうわけでは  
ありません



その人の  
人格、  
個性、  
能力が



自然の  
うちに  
人々の心を  
とらえて  
いくのです

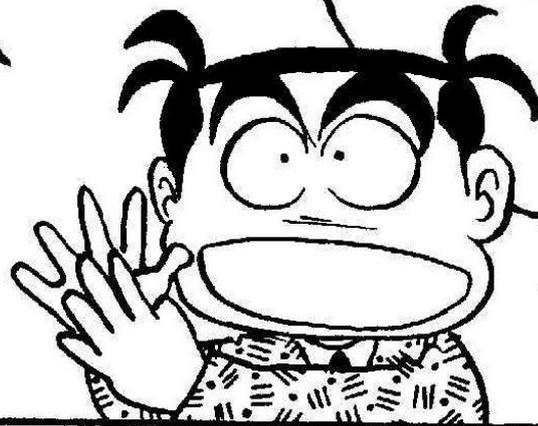
カリスマ的な  
ものでもない  
自然に  
その人の  
生命から  
わき出る  
魅力です!!

わあ~~~~  
身分や  
なにかがあるより  
その方が  
よっぽど  
尊いっつ



⑨番目が

「ほとけ仏」!!



仏の  
十種類の  
呼び方の  
なかに  
「仏」と  
いうのが  
あるの〜?」



仏とは

ぶつだ仏陀という

言葉から

きたもので

智者ともいい

かくしゃ覚者とも

いいます

智徳

円満で

あるゆえに

さきほども

述べた通り

その人の行いが

すべての人の

賛同をあつめ

人々の心に

ささえられます

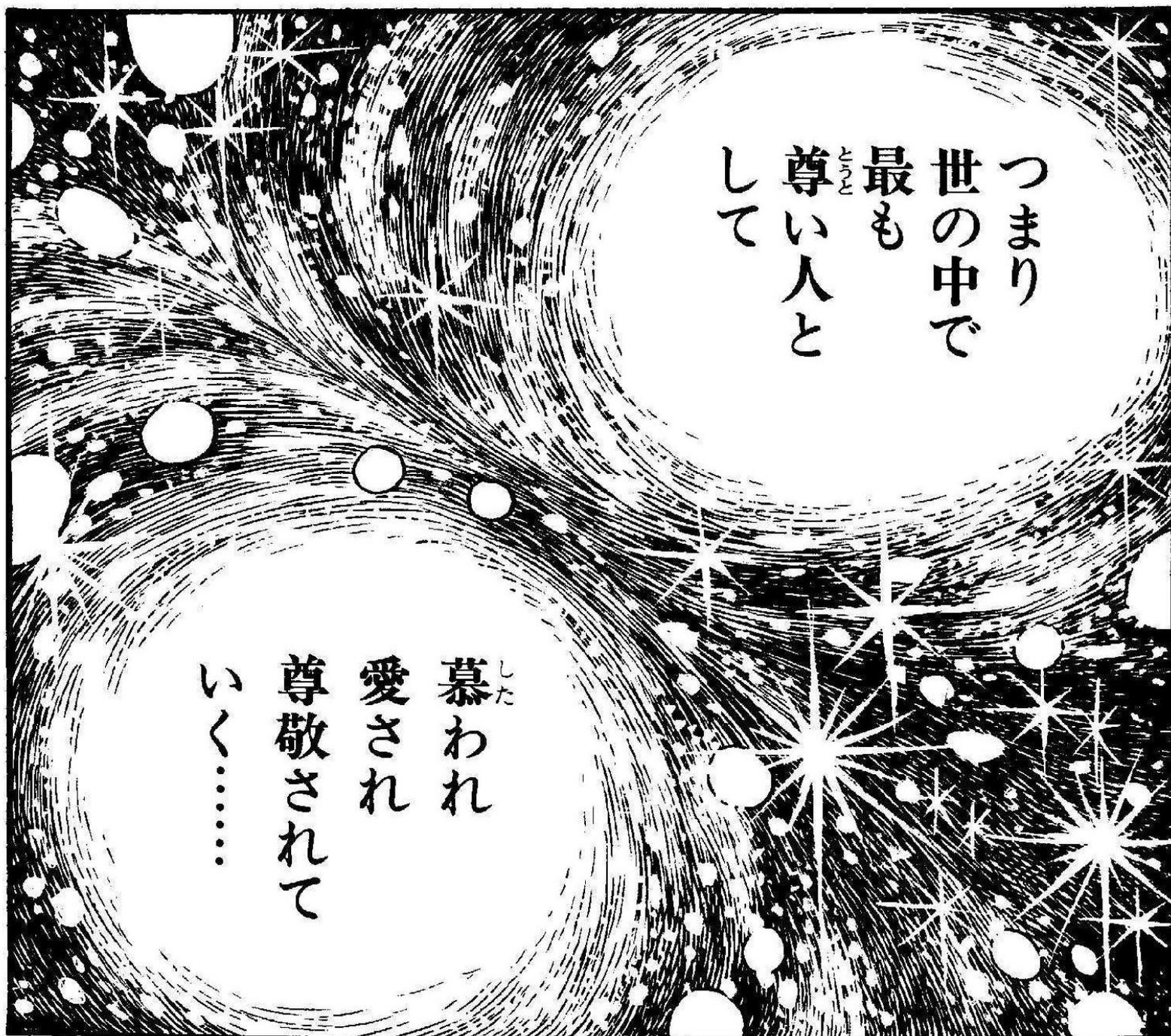


そして  
⑩番目が  
世尊

そして  
釈迦を  
世尊とも  
呼ぶのは  
知ってるよ

世は  
世の中

尊とは  
尊い



つまり  
世の中で  
最も  
尊い人と  
して

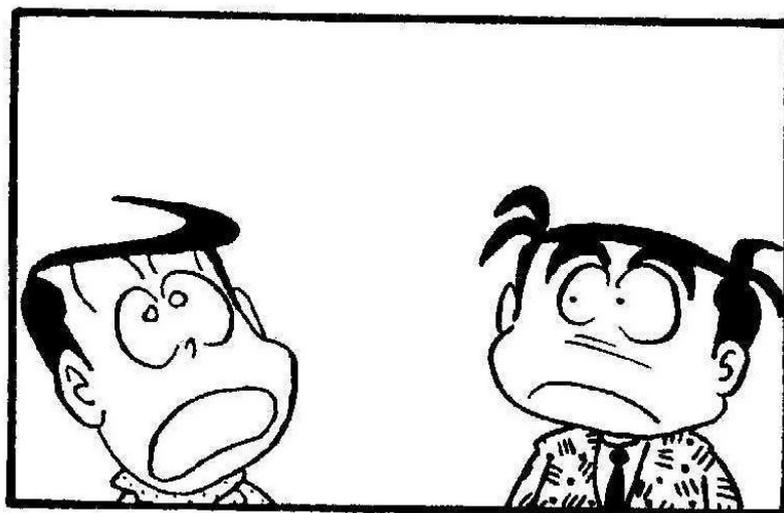
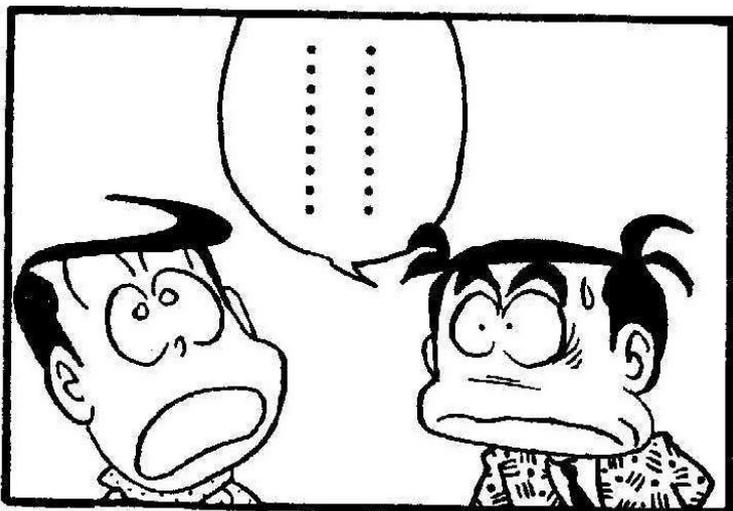
慕われ  
愛され  
尊敬されて  
いく……

世間の英雄と  
いう意味で

「世<sup>せ</sup>雄<sup>おう</sup>」とも  
います

それは  
人々を  
根底から  
慈<sup>いっく</sup>しみ

救いきる  
力を  
もっている  
からです





以上で  
仏の境界の  
ごく一端

「十号」の  
説明を  
おわります



一端って  
こと  
ないでしょー

どう  
考えても  
全部  
だよ

これより  
上なんて  
あるわきや  
ないよ

うーん  
ぼくにも  
この先なんて  
想像できないん  
だけとお



第六章  
(89頁)

それは  
ともかく  
仏典に  
よると

釈尊の  
説いた  
最高の  
尊い  
教えである  
法華経の  
功力によって

これまで決して  
成仏できないと  
告げられていた  
二乗の人々にも

未来の  
成仏を  
約束され

十号を  
授けられ  
歡喜に  
うちふるえる  
エピソードが  
あります



やっぱり  
十号が  
最高  
なんだ

ところが  
末法の  
御本仏で  
ある

日蓮大聖人の  
あらわさ  
れた



この  
御本尊の  
右肩には

向かって  
左側だ  
けれど

そこに  
このように  
したため  
られて  
いるのです

え……？



# 有供養者福過十号

つまり

この

三大秘法の  
御本尊に

若し供養

するもの

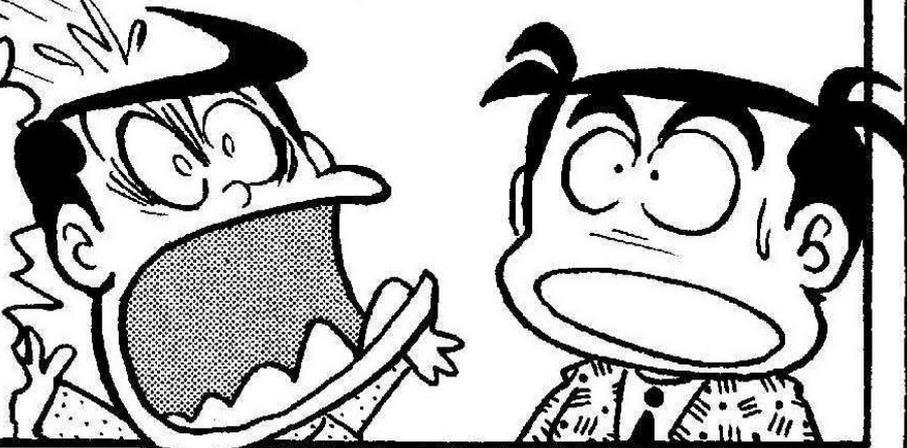
有れば

信心の  
誠を  
尽くす者は

福(功德)

十号に過ぐ...と

えっ



釈尊の説く

十号より

はるかに

すぐれた

功德が

いただける

.....

境涯が

まっっているぞと

約束されて

いるのです

わあ

すごすぎて

やっぱり

わかんないよ



でも  
わかったで  
しょ

仏といっても  
こんな  
人間ばなれした  
金ピカの  
へんてこなものでは  
ないということでは  
す

うーん  
たしかに  
そうだけ  
ど……

池田先生は  
こんなふう  
に述べられた  
ことがあるよ

- 仏の生命を  
体現した人も、  
一見すれば、  
ごく平凡な  
常識人に  
みえるでしょう
- 誠実で、  
責任感が旺盛おうせいで、また、  
信念の人であり、  
友好的な態度を示し、  
思考が柔軟で、  
慈悲じひと英知と創造性に  
富んでいる
- もつとも人間らしい  
人間の姿——  
である

うーん  
そうか  
……

なんなの  
さつきから  
だけど  
だけどって

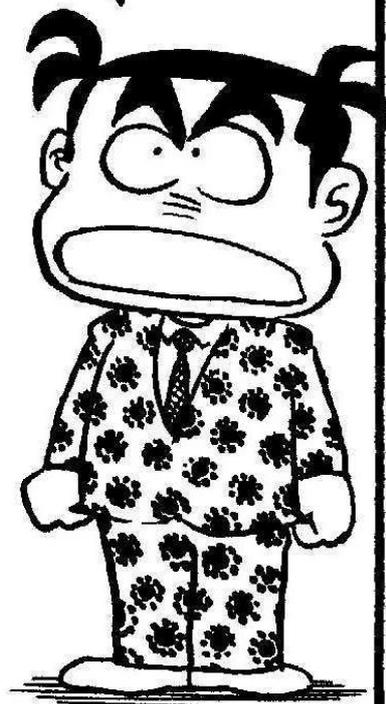
仏の  
生命の  
なにが  
気に入ら  
ないの

仏の十号の  
すごい人格を  
聞いてあきらめ  
ちゃった

一生かかっても  
そんなレベルにたどり  
つけるわけないもん



それは  
違い  
ます



君は  
二乗じじょうの話の  
ときにも  
そんなコト  
言ってたね

あの時  
言いそこねた  
楽しい話を  
これから  
しましょうね

えっ



長い長い  
気の遠くなるような  
年月をかけて

少しずつ  
仏界に  
近づいて  
いこうと  
いうのが

仏界



法華経が  
説かれる前の  
低い教え  
(爾前経にぜんきやう)に  
示りされている  
歴劫修行りやくこうしゆぎやう  
という  
修行法です

君は  
仏法を  
こういう  
イメージで  
とらえている  
みたいだね

そう  
思ってたけど  
……

そんな  
めんどくさい  
信心なら  
私たちは  
やりませんっ

わがまま  
なんだね

日蓮大聖人が  
否定されて  
いるのです

ですから  
末法の御本仏  
日蓮大聖人は

三世十方の  
あらゆる仏を  
生みだした  
根本法で  
ある

南無妙法蓮華経を  
万人のために  
御本尊として  
あらわして  
くださったのです

す…  
すると  
どうなんの？

つまり  
のつけから  
この妙法を  
手にして

正しい  
人生街道を  
歩んで  
いこうと  
いうのが  
この信心です

南無妙法蓮華経

わしつ  
まったく  
逆なんだ



信心した  
その日から  
仏の生命に  
なっちゃう  
の〜？

短絡的たんらくてきに  
とらえ  
られても  
困るけど  
……

生活の根底が  
仏界という  
最高の軌道に  
ピタツと  
のるのです

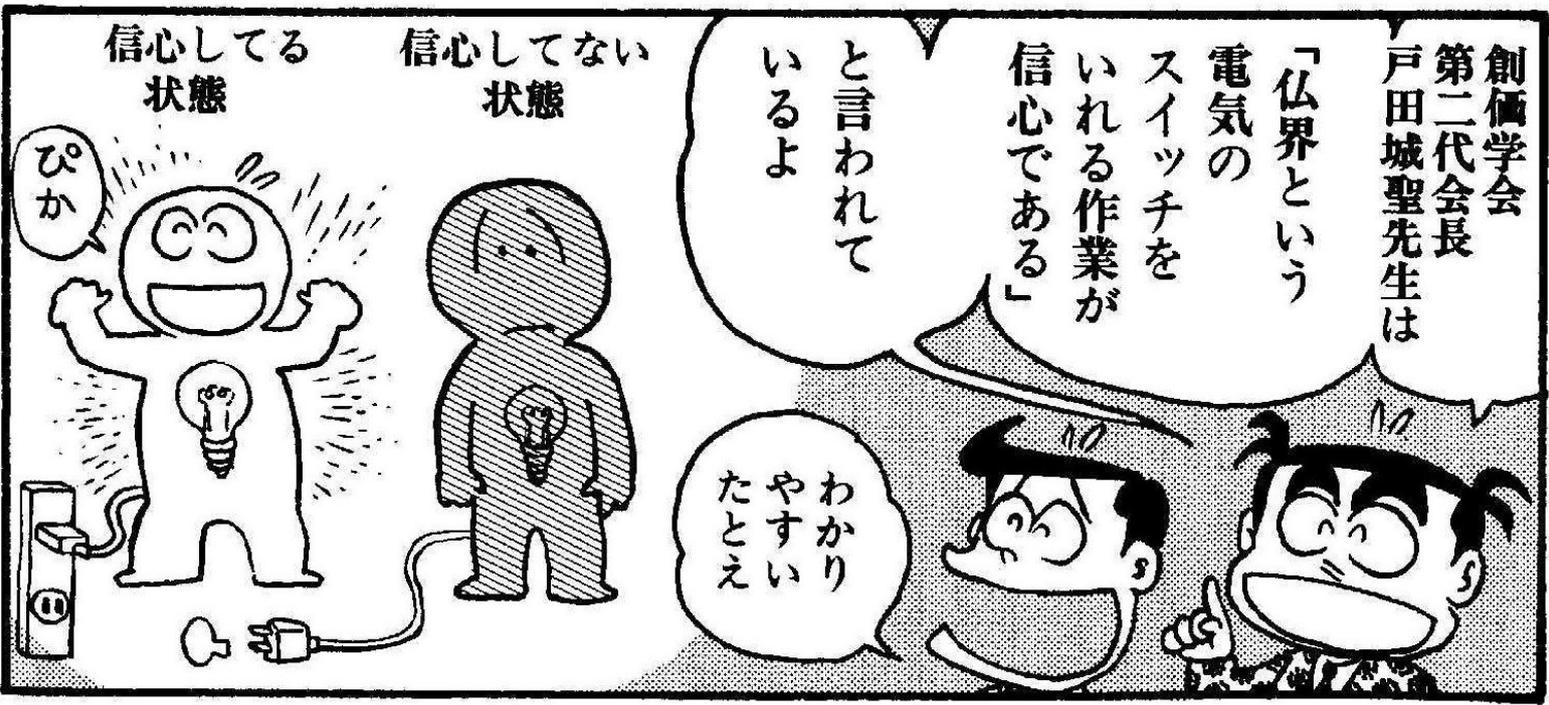


これまで  
くりかえし  
言ってる  
ように

もともと  
私たちの  
生命の  
奥底おくていには  
仏界が  
厳然と  
そなわって  
いる!!

それを  
ひきだすのが  
この信心なんだ

そうそう  
思いました



創価学会  
第二代会長  
戸田城聖先生は

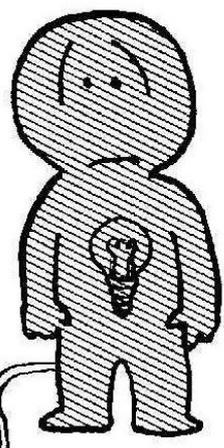
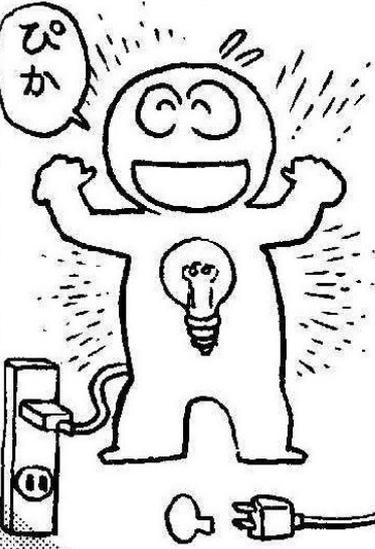
「仏界という  
電気の  
スイッチを  
いれる作業が  
信心である」

と言われて  
いるよ

信心してない  
状態

信心してる  
状態

わかり  
やすい  
たとえ



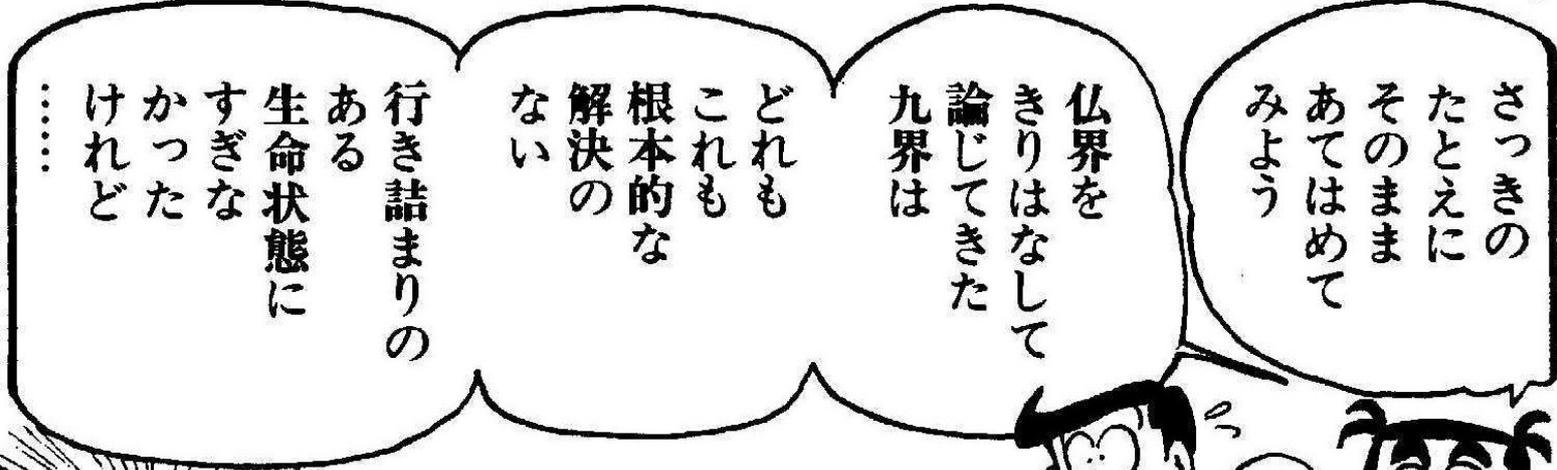


さあ  
こうなると

これまで  
述べてきた

十界論が  
まったく  
かわって  
くるよ  
!!

そーそー  
それについて  
聞きた  
かった!!



さつきの  
たとえに  
そのまま  
あてはめて  
みよう

仏界を  
きりはなして  
論じてきた  
九界は

どれも  
これも  
根本的な  
解決の  
ない

行き詰まりの

ある  
生命状態に

すぎな  
かった  
けれど  
...



ここに  
仏界という  
電流が流れた  
とき

九界  
すべてが

何と

仏界の

働きに

アワーペー  
止揚

されて

しまうの

です!!

えーっ

信じ

られない!!

地獄や  
修羅界  
まで?!

例えば  
この仏法を  
知らない  
菩薩の生命は

与える  
ものに  
限りが  
あつて  
不公平に  
なつたり

もらつた  
側が  
無氣力に  
なるなど  
さまざま  
落とし穴が  
ありました



これは  
くわしく  
勉強  
したよね

せつかくの  
立派な  
おこないが  
……

かわいそう  
と  
いうほかは  
なかつた  
……

この信仰を  
根底にした  
菩薩の  
ふるまいとは

行き詰まりの  
ない  
最高の  
法を  
人々に  
教えてあげる  
ことです

これを  
仏法では  
地涌の菩薩と  
いいます



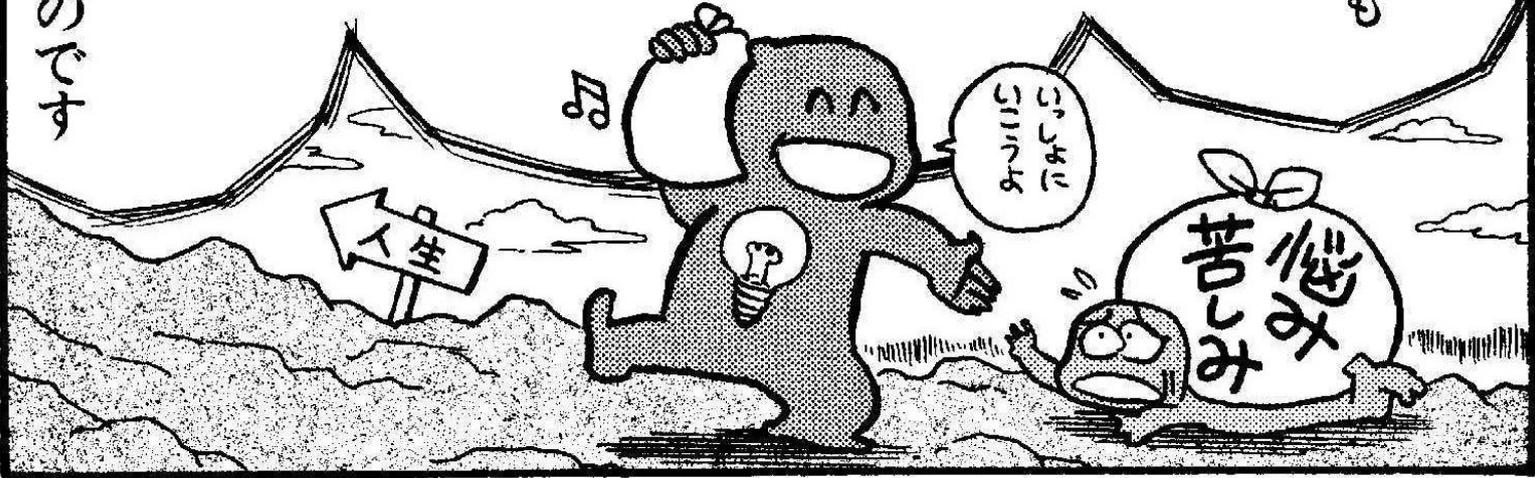
目からおちる  
ウロコ

はあ  
~~~~~

「法」は  
いくら与えても  
なくなる  
ということ  
ありません

この仏法を  
受持した人は  
いかなる  
困難をも  
のりこえる  
偉大な  
生命力が  
わきあがっ  
て  
きます

与える側も  
もらう側も  
ともに幸福  
になってい  
けるので  
す



この仏法は  
どんな財宝  
よりも  
尊いと  
いうのは  
そういう  
わけです

なる  
ほど…



次に仏の  
餓鬼界  
とは

仏さまも  
おなかが  
すく

それも  
あるかも  
しれませんが

より  
大切な  
面は



さつきの  
一コマを  
見れば  
わかる  
と思うよ

欲望が  
なんにも  
なくなっ  
たら  
生ける  
屍です

仏が  
心から  
願うこと  
は  
すべての  
人が  
最高の  
境涯に  
達する  
こと  
です

わあ…  
利己主義  
の  
欲望  
じゃ  
ない  
んだ



また、  
釈尊も  
日蓮大聖人も  
仏であるが  
ゆえに  
迫害もされ  
弾圧を受け  
難にあつて  
います

その姿は  
はた目には  
地獄界に  
見えるかも  
しれません

しかし  
ゆうぜんとして  
その難に  
立ち向か  
われ



一切に  
勝利して  
仏の実証を  
示す――

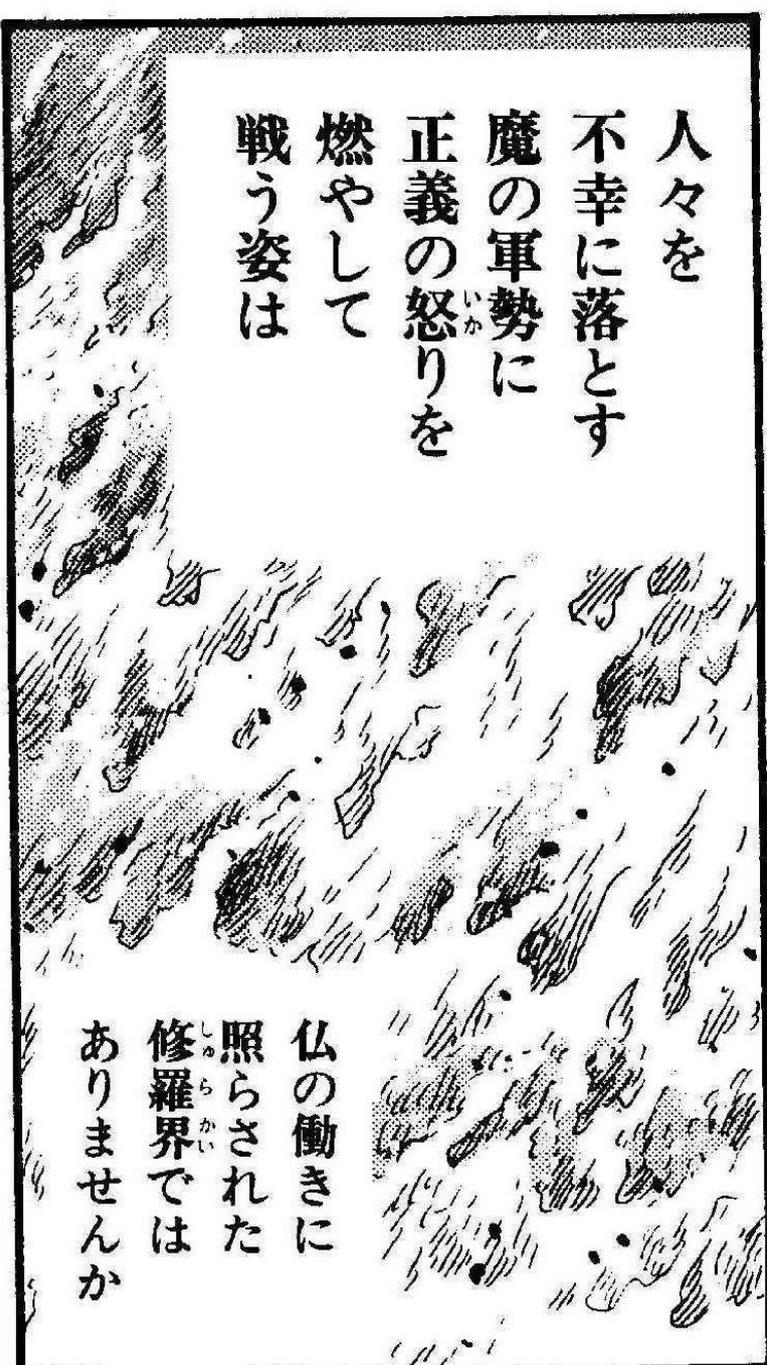
地獄界に  
見えながら  
地獄の苦しみでは  
ないのです

すごい  
なあ



人々を  
不幸に落とす  
魔の軍勢に  
正義の怒りを  
燃やして  
戦う姿は

仏の働きに  
照らされた  
修羅界では  
ありませんか



もちろん  
私たちが  
信心したから  
とって

こんなスゴイ  
仏の行動が  
はじまる  
わけでは  
ありません

社会の中で  
生活を営む  
私たちは  
次元も  
使命も  
違います

あー  
よかったです

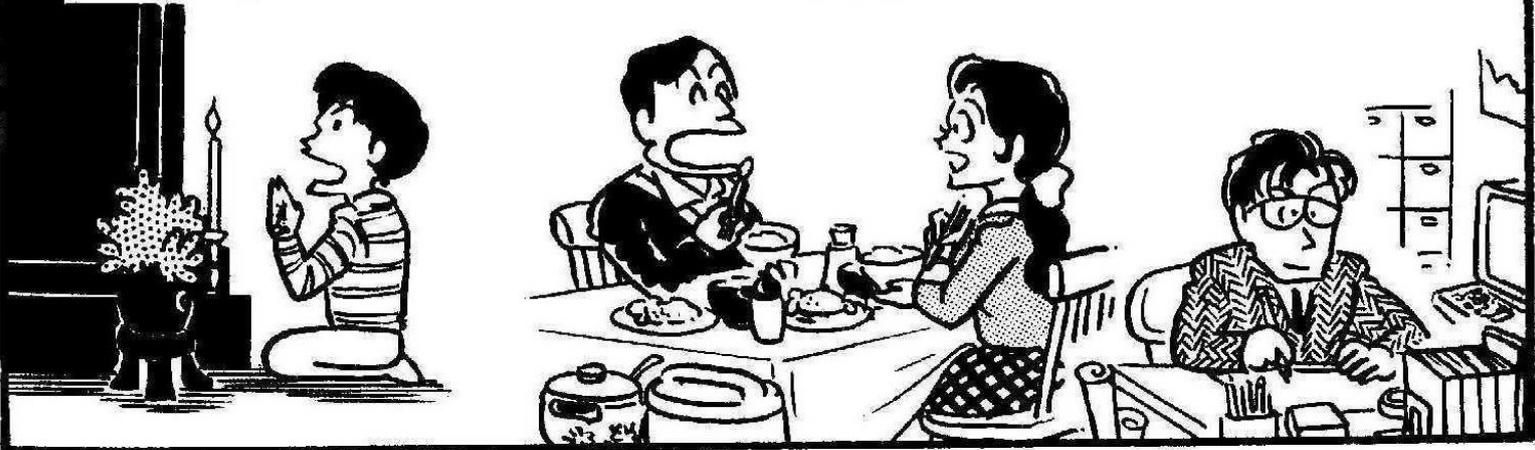
いつさいの

生活は  
凡夫<sup>ぼんぷ</sup>

そのままの  
姿であり  
行動です

多かれ  
少なかれ  
悩みも  
あるで  
しょう

しかし  
この信仰が  
根底に  
あるので



知らず  
知らずの  
うちに

仕事や  
人間関係が  
うまく  
いくように  
なったり

困難な  
ことにも  
前向きに  
立ち向かえる  
ように  
なったり

そして  
知恵がわき  
人生が  
どんどん  
ひらけて  
いき……

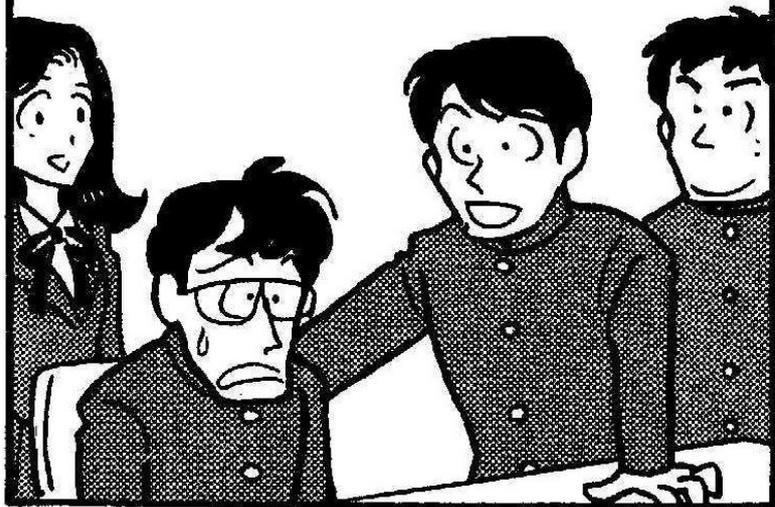


例えば  
物ごとの  
本質を  
正しく  
見抜ける  
力がつき



悩める  
友には  
心からの  
はげましと

根本的な  
アドバイスを  
してあげられる  
ようになり



たとえ  
大きな  
試練の時  
がきても

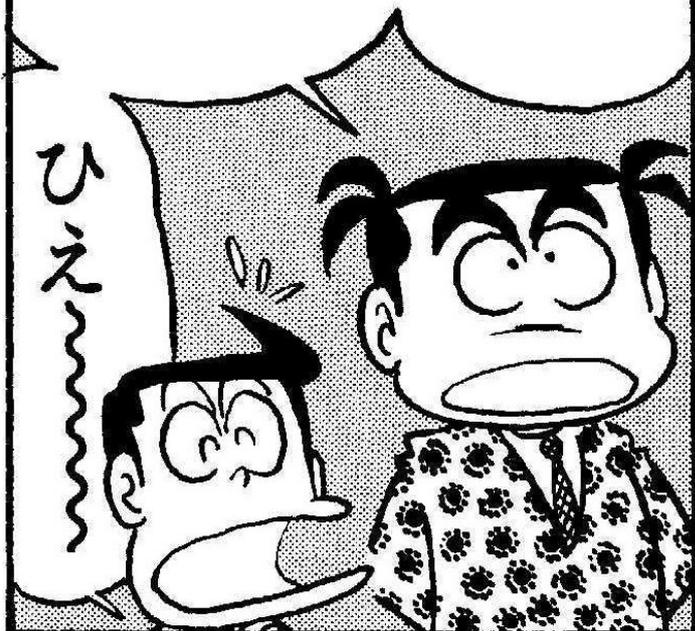
よし、  
宿命転換の  
チャンスだ

見事に  
乗りこえて  
この仏法の  
正しさを  
身をもって  
証明するぞ!!



どんな  
逆境をも  
はね返せる

勇気と  
生命力が  
いつしか  
そなわって  
いる



ひえ

そして  
気がついた  
時には

自分でも

思っても

みなかった

大歡喜の

人生を

送っていた

ことを

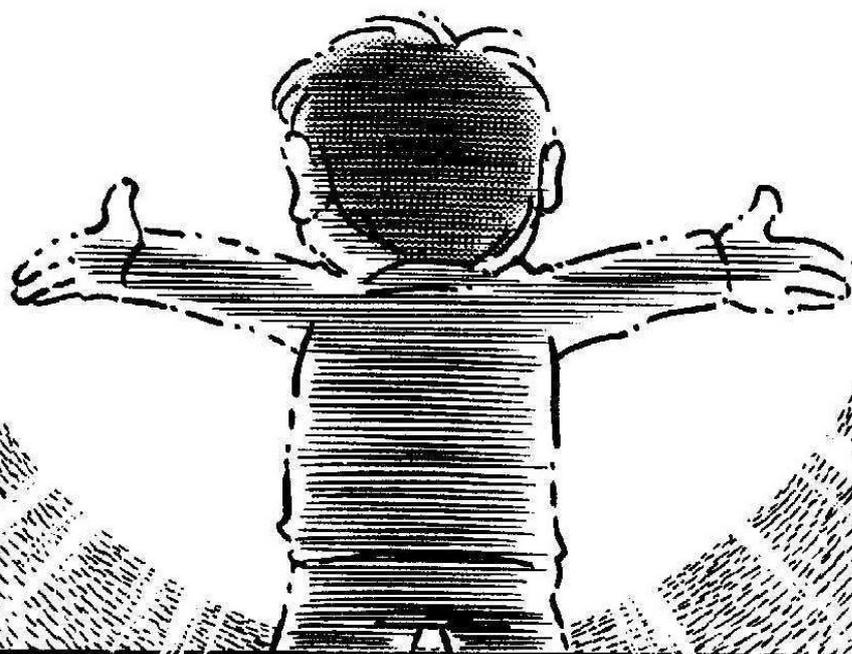
知り

心から感謝し

満足できる

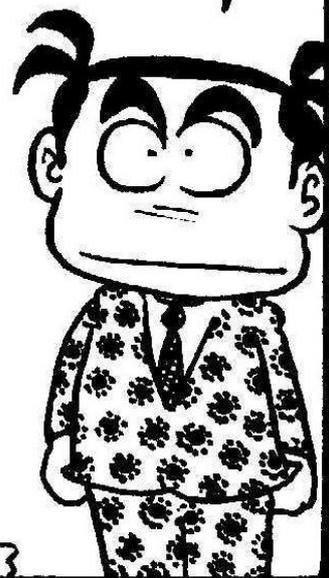
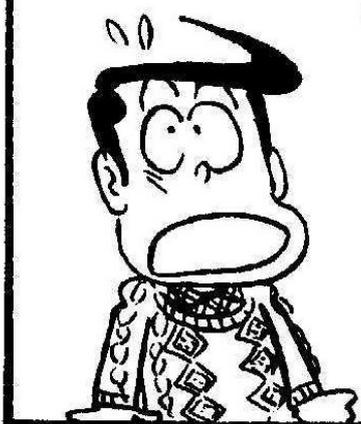
時が

くる



これが  
信心をまじめに  
貫いた人が  
体験する……

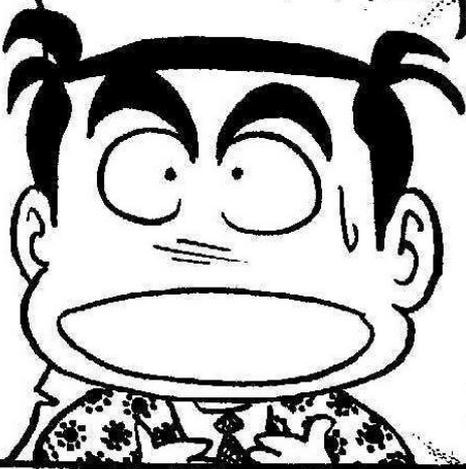
まあ  
アウトライン  
です



一切の生活  
行動は  
九界の形を  
とりながら

生命の  
奥底からは  
仏界が  
ふつつつと  
わきあがって  
くる……

九界そく即そく仏界とも  
即身成そくしんじょうぶつ仏とも  
いう姿です



南無妙法

蓮華經と

唱え奉る

時は

十界同時に

成仏するなり

御義口伝下

(御書七九八ページ)

御本仏

日蓮

大聖人が

はつきりと

このように

述べられて

います

それと逆に  
この仏法を  
知らない  
九界の人々は

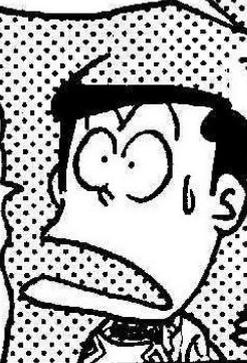
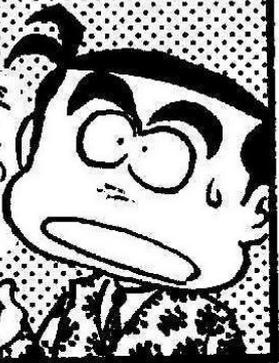
あらゆる

人生は

空しいものに

なってしまうとも

おおせです



よく  
わかんない  
けど  
こわそう……

九界の衆生は一念の無明の

眠の中に於て生死の夢に

溺れて……… (中略)

冥きより冥きに入る

三世諸仏総勘文教相廃立

(御書 五六〇ページ)

ぼくが  
このマンガの  
一番最初に

生きがい

ある

信仰を

つかんだと

いうのは

このこと

なのです



わあ~~~~

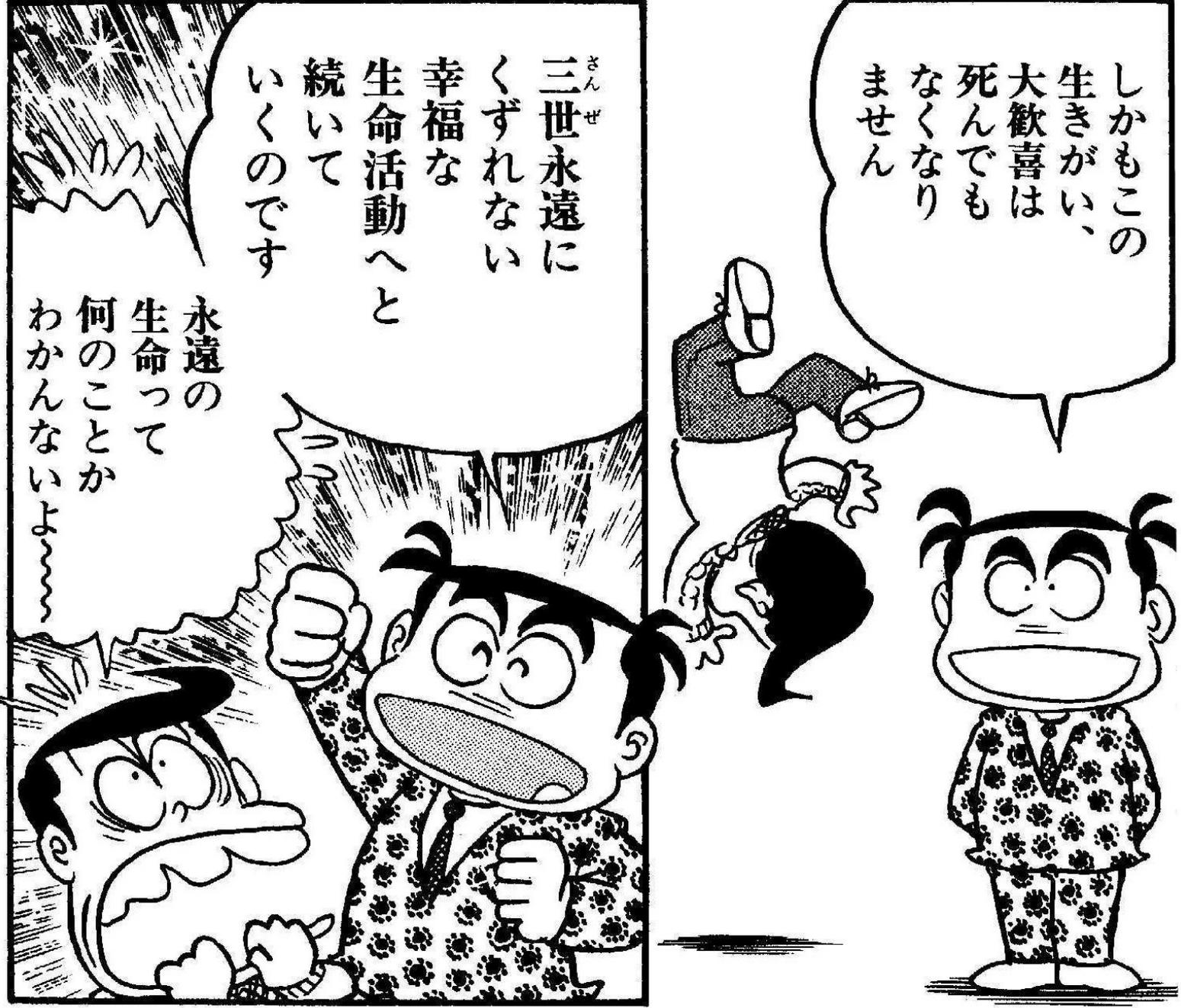
そうだった

のか~~~~

しかもこの  
生きがい、  
大歓喜は  
死んでも  
なくなり  
ません

三世<sup>さんぜ</sup>永遠に  
くずれない  
幸福な  
生命活動へと  
続いて  
いくのです

永遠の  
生命って  
何のことか  
わかんないよ



そうか  
まだ  
話して  
なかつたん  
だね

それに  
ついでには  
別の機会に  
勉強する  
ことにして、  
十界論については、  
ひとまず  
終わりに  
しましょう

わあ  
たのしみ  
だな

仏法の  
基本  
なのに

仏法って  
奥が  
深そう

